

5  
6

明治三十七年三月刊行

明治三十六年 三艦濠洲航海報告

軍艦嚴島、松島及橋立

水路部

319-55

明治三十六年三艦濠洲航海報告

此記事ハ常備艦隊松島橋立ノ三艦カ明治三十六年二月十五日横須賀  
港ヲ發シ支那海ヲ經テ濠洲沿海及朝鮮南西部ヲ巡航シ同年八月二十七日  
横須賀港ニ歸着シタル遠洋航海報告ナリ此報告書中東叢島ヲ除ク外第一  
區ニ屬スル記事ハ現行水路誌材料ニ採用シタルヲ以テ此ニ之ヲ省略シ其  
他ノ全部ヲ採録シ且便宜上該三艦ノ各記事ヲ合本トシテ刊行シ各航跡圖  
ヲ集メテ之ヲ巻尾ニ付スト云爾

明治三十六年十二月

水路部



軍艦巖島航海報告

明治  
37 3 28  
内交

軍艦嚴島航海報告

凡例

一本艦ハ松島橋立ト共ニ常備艦隊練習枝隊トシテ三十六年二月海軍少尉候補生實地練習ノ爲メ支那海東部叢島濠洲及韓國沿岸巡航ノ命ヲ受ケ二月十五日横須賀出艦香港新嘉坡バタビヤフリーマントルガスコインテレレドメルボルンホバートシドニータウンズビル木曜島アムボイナイサベラカピテオロンガボ仁川馬山浦鎮海灣ノ諸港回航ノ末同年八月二十七日横須賀ニ歸着セリ本報告ハ此巡航中ノ概況ヲ摘録シタルモノナリ

一帝國軍艦ノ屢々航海セン處及ヒ水路誌水路報道及航海報告等ニ詳細記載アル事項ハ單ニ補記ヲナスニ止メタリ

一各地發着航泊其他碇泊中ノ天候石炭淡水糧食使用時辰及禮砲ノ如キハ記事ニ載セス別ニ表トシテ卷尾ニ附シ一覽ニ便ナラシム

凡例

一本報告中氣壓ハ時溫度ハ華氏ヲ用ヒ方位ノ稱呼ハ海流ノ外總テ磁針ニ取ル

一附録ニハ濠洲南西岸アルパニー港視察記事ヲ載ス

明治三十六年九月

殿島航海長 海軍大尉 高橋雄一  
同從屬 海軍中尉 井上猪之吉

### 軍艦殿島航海報告

明治三十六年二月十五日横須賀出港同月二十四日香港ニ着三月一日香港出港同九日新嘉坡着同十五日出港同十八日パタビヤ着同二十三日出港

自パタビヤ至フリーマントル

#### 航路

三月二十三日午前八時出港エンクワイザン島トアルクマール島ノ間ヲ過キタンダ礁及ジャンク礁ノ北東方ヨリベイヤン島ノ南方ヲ經テパビ島ノ南方ニ出テトツパ島ノ東方ヲ過キンールトウエー島ノ東方水道ヲ經テプリンセス水道ヲ航過シ印度洋ニ出テ二十五日正午クリスマス島ノ東方三十哩(同島ハ見エス)ノ地ヲ過キ濠洲西岸ハウトマン岩ノ西方ニ向ヒタルニ翌二十六日颶風ノ來襲ニ遇ヒ殆ント同緯度ニテ東方ニ變移スルコト五十哩餘此夜松島橋立ト失シ單獨豫定航路ニ就キ南緯二十四度十分東經百十一度三十三分ノ地ヨリハウトマン岩ノ東方ニ向ヒデールビク水道ヲ

自パタビヤ至フリーマントル

航過シゲージロードニ向ヒ三日午後零時三十分ロツトネスト島ノ中央燈  
臺ヲ認メ午後四時ゲージロードニ投錨ス

錨 位  
ロツトネスト島中央燈臺 北六九度西  
アーサー、ヘッド燈臺 北七九度東

### 風候及天候

ジャバ島ノ北岸ニ於テハ偏西風其力一乃至二天候半晴ス。シヤバ海峡ニ於テハ南西風其力二、ブリンセス島ヲ過キテヨリ西風其力二漸クシヤバ島ヲ遠カルニ從ヒ南西風ニ變シ爾後南西ノ西乃至南々西其力二乃至三、天候半晴ニシテ屢々驟雨ノ來襲ニ逢ヒ艦體ノ縦動稍大ナリ出港以來晴雨計ハ依然トシテ常規ニ從ヒ日々昇降セシト雖次第々々ニ其最高點低下シ最低點モ亦低落シ來タリ印度洋ノ「サイクロン」或ハ來タルニアラスヤト思ハシメタリ而シテ二十六日午前八時二九七五ニ昇リシモ其後遂ニ下降ノミニテ午後四時以後ニ至ルモ上昇セス益々下降セリ

二十五日夕陽將サニ没セントスルトキ天空悽愴熱人ヲ臘マス日没後ニ到リ太陽ノ上方ニ於テ稍大ナル半徑ヲ有スル黄色雲ヲ認メタルモ風向殆ント不變ニシテ「サイクロン」ノ來襲ナルヤ或ハ單ニ天候惡シキ爲メナルヤ判知スル能ハス然レトモ兎ニ角天候不穩ノ兆ト認定セリ然ルニ二十六日夕ニ至リ遂ニ「サイクロン」ニ襲ハレ本航海中ニ於ケル一大事變ヲ殘シ去レリ

### 自二十六日至二十八日印度洋ニ於ケル「サイクロン」

二十六日午前四時風向南西ノ南其力三、天候晴雨計二九七一一ナリシカ五時ニ至リ風向西南西ニ變シ一天陰曇爾來暗々トシテ晴レス午前八時晴雨計二九七五ニテ本日ノ最高ヲ示シ九時ニハ降りテ二九七四トナリ次テ下降ス此時ヨリ風力少シク強大トナリ「スウェル」モ艦ノ動搖モ亦從ツテ増大ス午後一時ヨリ降雨加ハリ午後四時風力愈々強ク晴雨計愈々降り二九七五九漸ク颶風ナルヘント認ムルニ至リシト雖風向尙依然トシテ西南西ニ定

マリ前數日來吹キ續キタルモノト大差ナカリシハ多少疑問ノ餘地ヲ存セ  
シメタリ四時半移動物ノ固縛ヲ嚴ニシ旗信ニ依リ開距離ニ備ヘテ航進ス  
此頃ヨリ天候密濛ニシテ信號ノ了解甚タ困難ヲ極ム五時四十分旗信ニ依  
リ南イ西ニ變針風ヲ右舷艦首ニ受ケテ航進ス七時三十分旗信ニ依リ左舷  
ニ回頭シテ旗艦ノ通跡ヲ進ム然レトモ風力強クシテ舵ノ効用充分ナラス  
機關ヲ應用シテ漸ク回頭セシモ八時六分遂ニ前續艦ノ燈光ヲ失セリ依リ  
テ回頭反航ノ際認メタル旗艦ノ行動及ヒ颶風逃避ノ最良針路ニ察ミ北西  
ニ定針ス九時十五分北々西ノ方向ニ當リ燈光見ユルヲ以テ北々西ニ變針  
セシモ直ニ再ヒ燈光ヲ失シタリ此時艦ノ橫動頗ル大ニシテ風下ニ傾クコ  
ト三十七度風上二十五度ニ及フ十一時四十分前續艦會合ノ目的ヲ以テ北  
イ西ニ變針ス此頃風力最モ強盛ニシテ其力八乃至九ニ達ス十一時五十分  
以後風ノ爲メ舵ノ効用頗ル惡シキヲ以テ機關ノ助ヲ得テ漸ク針路ヲ保チ  
タリ此頃ヨリ風候西ニ變ス二十七日午前四時晴雨計最モ低ク二九三八ニ

本艦ト颶風ト關係位置ヲ示ス航跡圖

本圖ハ颶風圈内航行中  
本艦ノ位置ヲ颶風トノ關  
係位置ヲ以テ示スモノニシ  
テ左ノ諸項ヲ考察シテ調  
整シタルモノナリ

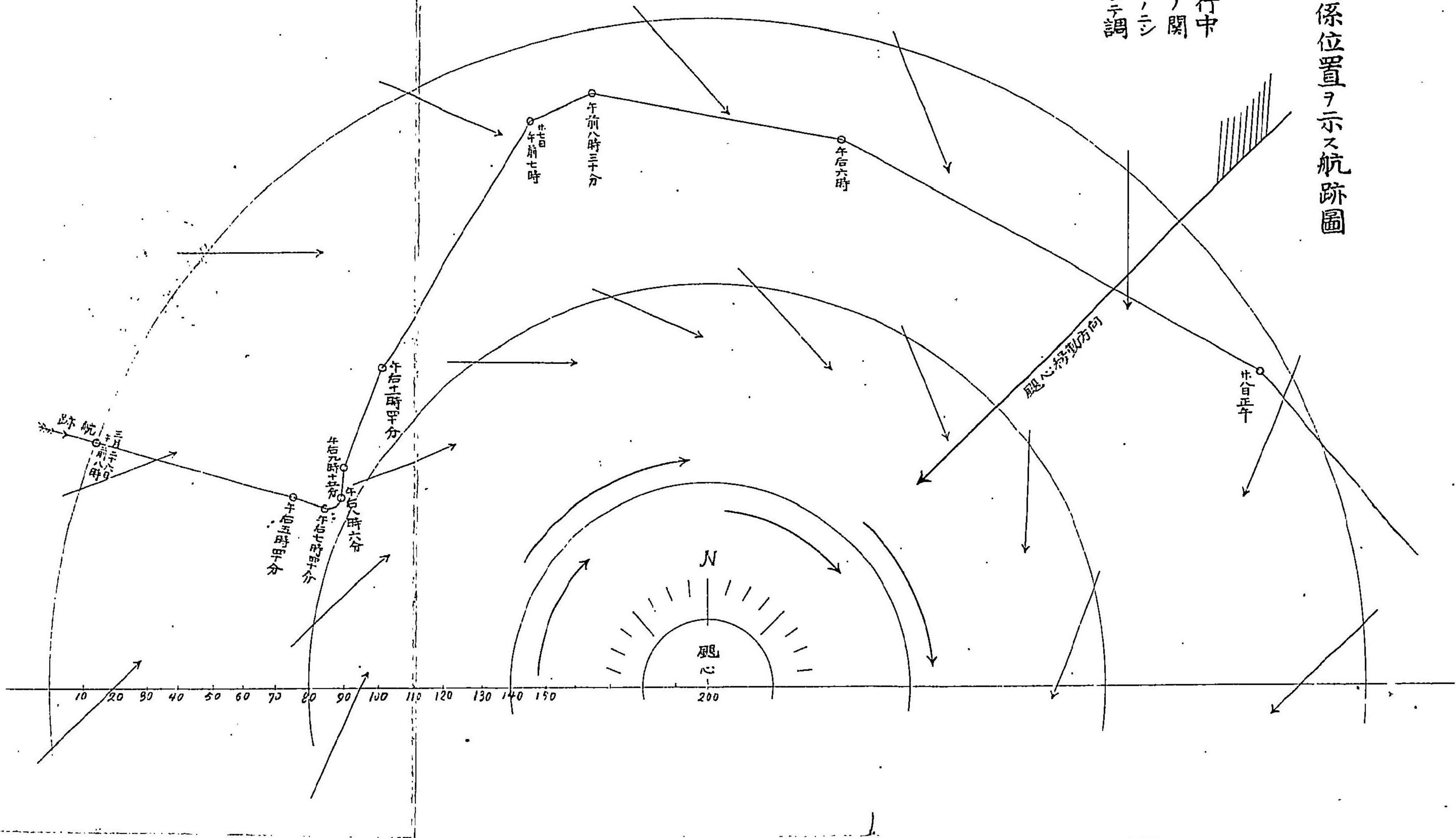
一 南半球低緯度ニ發  
生スル颶風ノ中心移動  
方向ハ實際ニ於テ南西  
方ニ直進ストノ説ハ從  
南西トシ其速カ一時間  
ニ漚乃至十漚ト説ハ平  
均ヲ取リテ六漚トス

二 颶風圈ノ直徑ヲ四百漚  
トシ(颶風圈ニ入りタル時  
廿八日正午ノ位置ト颶風  
ノ移動距離トニ依リ  
算定ス)

三 廿六日午前八時ヨリ廿  
七日正午迄風壓ノ毎  
時ニ漚トス(廿七日正午  
天測ノ結果ヲ参照シテ)

四 廿七日正午ヨリ廿八日正午  
迄ノ風壓ノ單ニ毎時  
一漚ノ速カラ加フ

本圖ハ天測ノ艦位風  
向ノ變化等ト對照  
スルニ大ナル誤差ナキ  
ヲ以テ見テ其真ニ近  
キモノナリト思考ス

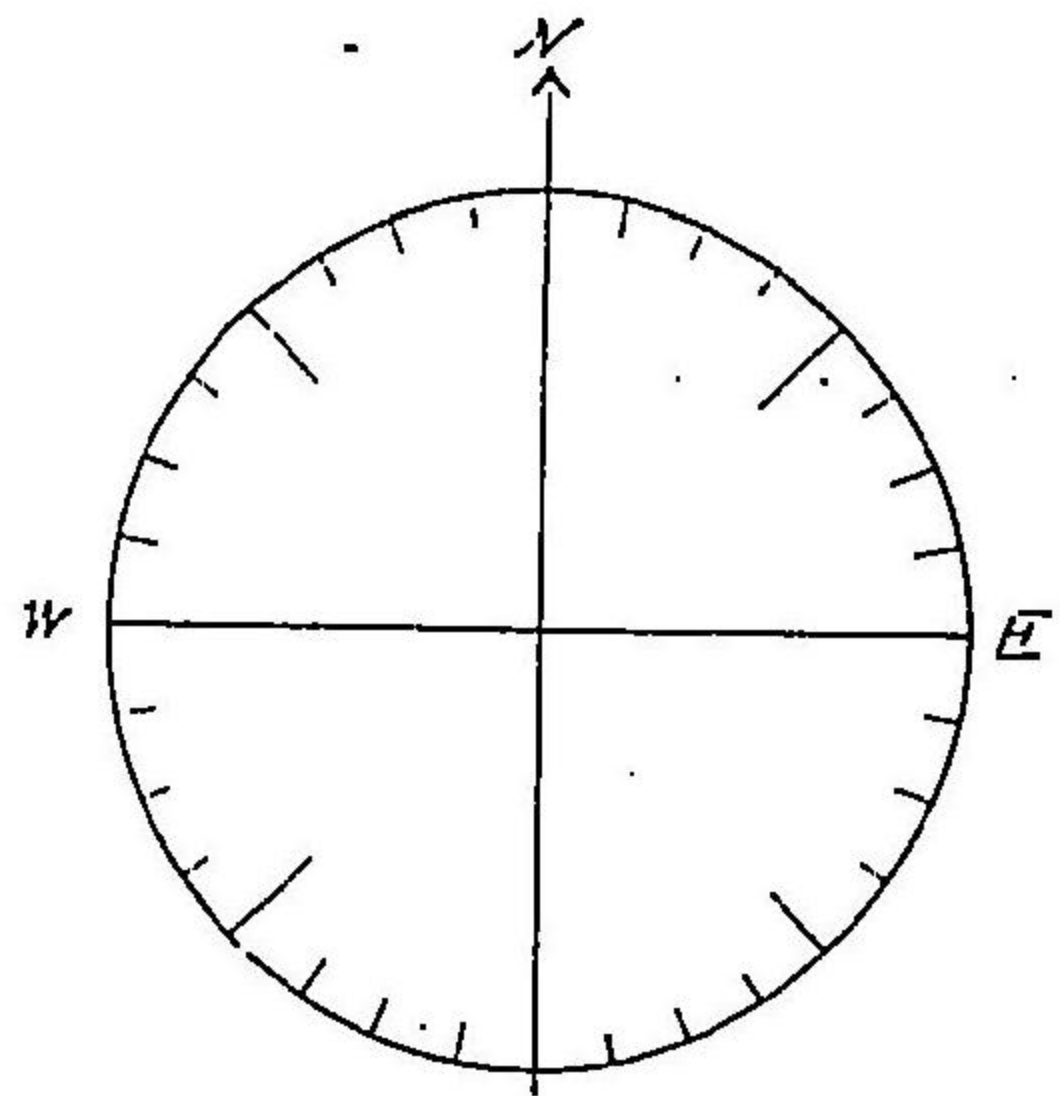




颶風中本艦航跡圖

108°E

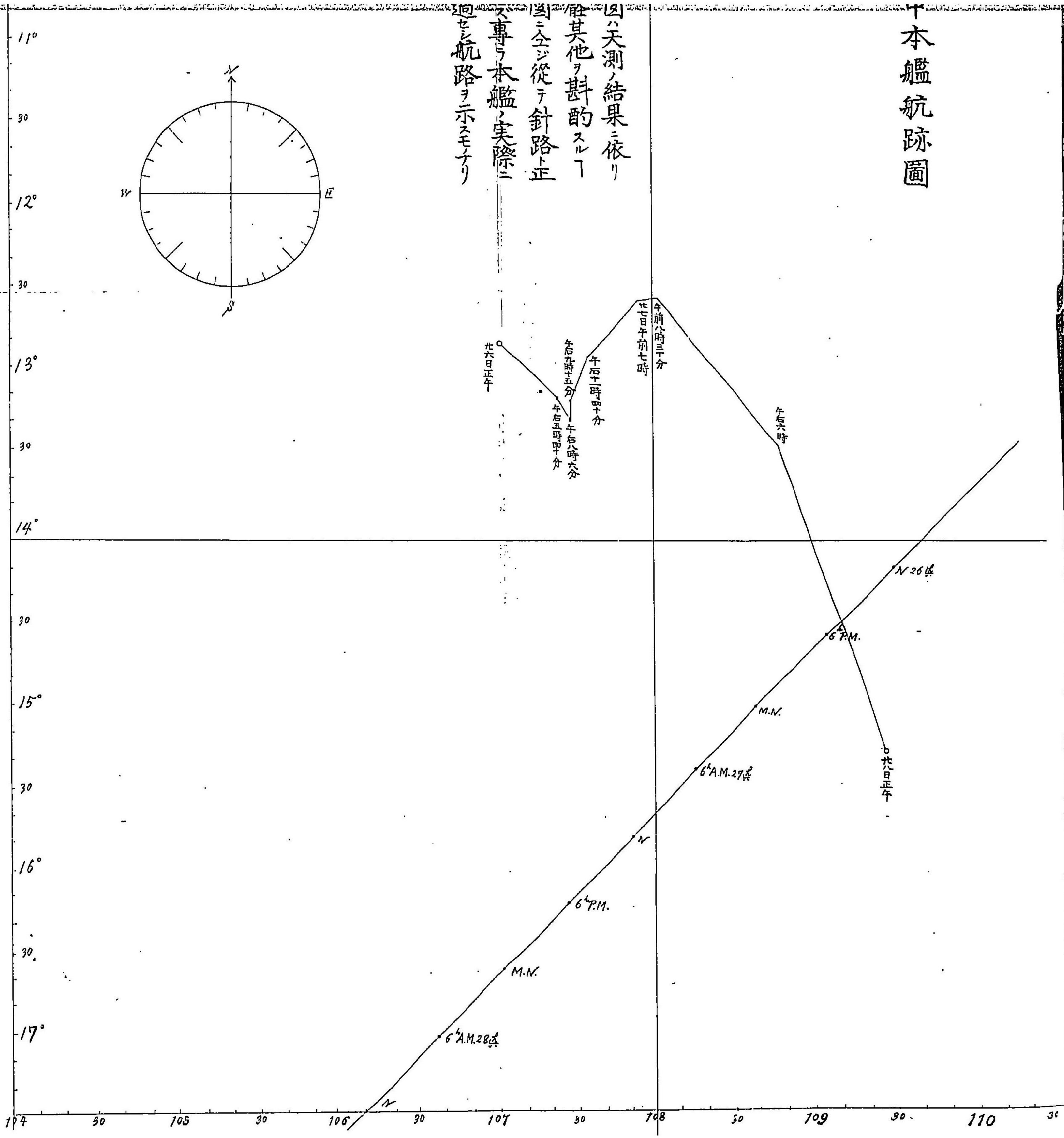
本圖ハ天測ノ結果ニ依リ  
風歴其他ヲ斟酌スル  
前圖ニ全ジ從テ針路ト正  
合セズ專ラ本艦ノ實際ニ  
通過セシ航路ヲ示スモノナリ



104°E  
70  
11°  
30  
12°  
30

日本艦航跡圖

因天測ノ結果ニ依リ  
 餘其他ヲ斟酌スル  
 圖ニシテ從テ針路ヲ正  
 專ラ本艦ノ實際ニ  
 對シテ航路ヲ示スモノナリ



降ル以後漸次上昇シ降雨次第ニ息ミ午前六時風向西北西ニ變シ晴雨計又好況ニ向ヒシヲ以テ午前七時針路ヲ東イ北ニ變シ八時頃ヨリ風向北西ニ變シ同三十分前續艦ト會合センカ爲メ且ツハ目的地タルフリーマントルノ方向ニ進航センカ爲メ針路ヲ南東ニ變ス十一時四十分頃風向北々西ニ變シ午後五時頃風向北イ西ニ變シタルヲ以テ六時南々東ニ變針シ雲間漸ク星ヲ認メ得ルニ至ル八時風向北ニ變シ風力漸次衰フ此時既ニ四乃至五同十八分南イ東ニ變針正子ノ頃ヨリ風向北々東ニ變ス

二十七日午前四時以來晴雨計再ヒ常規ニ歸リ日々ノ昇降ヲナシツ、漸次上昇シ二十八日午前十時ニハ二九、六八トナレリ此頃風向北東イ北ニ變シ午後四時北東、八時北東イ東ニ變シ風力大ニ衰へ三乃至四トナル十時晴雨計二九、七四ニ昇リ天候殆ント回復ス

「セーラス、ボツケツト、ブツク」印度洋南半球熱帶地方ニ於テ晴雨計平日ノ状態ヨリ十分ノ一吋降ル時ハ颶風ノ前兆ニシテ四時ヨリ十時迄ノ間ニ

上昇セサルハ既ニ大氣ニ變異アルモノナレハ航海者宜シク注意スヘシ  
ト今回ノ實驗實ニ之ニ符合ス

航 泊 日 誌 寫

日 時	緯 度	經 度	風 向	風 力	晴 雨 計	寒 暖 計	天 候	陰 陽 比
十六日 2 AM			SWS	3	29.75	84	OC	10
4 "			WSW	3	29.71	83	BC	2
6 "	12°-12'S	106°-41'E	"	3	29.73	83	OC	10
8 "			"	3	29.75	84	"	10
10 "			"	3-4	29.73	84	"	10
12(E4) 2 PM	12-5'S	106-51'E	"	3-4	29.68	83	"	10
4 "			"	4-5	29.62	83	OCR	10
6 "			"	4-5	29.58	83	"	10
8 "	13-10'S	107-22'E	"	6-7	29.51	80	OCQR	10
			"	6-7	29.44	79	OCQ	10

八

10 "			"	7-8	29.44	78	"	10
12 "	13-4'S	107-30'E	"	8	29.44	78	"	10
二 十七日 2 AM			W	7	29.42	77	OCQR	10
4 "			"	7	29.38	76	"	10
6 "	12-35'S	107-53'E	WNW	7	29.44	80	OCQ	10
8 "			"	7	29.54	81	"	10
10 "			NW	6-7	29.58	82	"	10
12(E4) 2 PM	12-50'S	108-15'E	NNW	7	29.51	83	"	10
4 "			"	6	29.51	84	"	10
6 "	13-30'S	108-50'E	NW	6-7	29.54	84	"	10
8 "			"	6	29.58	84	BC	2
10 "			N	4-5	29.61	84	"	8
12 "	14-3'S	109-5'E	"	4-5	29.62	84	"	8
二 十八日 2 AM			NNE	5	29.58	85	"	7

自マニラ至フリーモントル 印度洋ニ於ケル「サイトロン」

九

日 時	緯 度	經 度	風 向	風 力	晴 雨 計	寒 暖 計	天 候	陰 陽 時 比
4 AM	14—34S	109—20E	NNE	5	29.58	84	BC	8
6 "			"	5	29.62	84	"	7
8 "			"	4—5	29.66	85	"	7
10 "			"	4	29.68	85	"	8
12(E4)	15—18S	109—27E	NEbN	4	29.67	85	"	9
2 PM			"	4	29.64	84	"	8
4 "			"	4	29.64	84	"	8
6 "	16—3S	109—28E	NNE	3—4	29.66	84	"	6
8 "			"	3—4	29.71	84	"	6
10 "			NEbE	3—4	29.74	84	"	2
12 "			"	4	29.74	84	"	2

フリーマントル到着後新聞ニ依リ得タル情報ニ依レハ  
四月三日コロンボヨリ入港セシオリエント、バシフィック線汽船「オルバ」ハ南

緯十六度九分東經百度二十二分ノ地ニ於テ「サイクロン」ニ會シ同四日夕コロンボヨリ入港セシ太平洋海底電線検査船「アイレス」ハ南緯十七度東經百度附近ノ地ニ於テ「サイクロン」ノ中心附近ヲ經過セリ之ニ依テ考察スルニ今回ノ颶風ハ約南西イ西ノ方向ニ一時間約五六哩ノ速力ヲ以テ行進シタルモノナルヲ知ルヘシ

其後二十九日正午ニ至ル迄風向北東乃至北々東ナリシカ此日午後風向次第ニ南ニ移リ其力又衰ヘ九時頃ヨリ風向南東ニ定リ其力一乃至二天候快晴トナレリ午後十時ノ艦位南緯二十度東經百十度即チ颶風ノ擾亂漸ク去リ南東貿易風ノ迎吹ヲ受ケタルモノト信セラレ三十日午前十時頃ヨリ風力漸次増加シテ三トナリ同日午後八時(約南緯二十二度三十分)風向南イ東ニ變シゲージロードニ至ル迄殆ント變化ナカリキ

之ヲ一言ニスレハジャバ近海ニ於テハ西風ヲ感受シ南緯十三度東經百七度三十分附近ニテ颶風ニ會シ南緯二十度東經百十度附近ヨリ南東貿易風

ヲ感シ漸次南下シテ濠洲西岸ニ近ツクニ從ヒ南風ニ會セリ  
濠洲西岸ノ天候ハ概ニ晴天ニシテ時々驟雨ノ來襲アリ

### 海流

ジャバ北岸ニ於テハ一時間四分三湮乃至半湮ノ東流ヲ感シスンダ海峽ニ  
近ツクニ從ヒ益々強大トナリセントニコラス角ヲ回ルトキニ於テハ最も  
強盛ニシテ約四湮ノ逆流(偏東)ヲ受ケンールトウエー島ノ東方ヲ過キタル  
後少シク衰ヘテ二湮弱(偏東)トナリ其後次第ニ衰ヘプリンセス水道ニ於テ  
ハ一湮強ノ偏東逆流ヲ受ケタリ之ニ依テ之ヲ視ルトキハスンダ海峽ニ於  
テ印度洋ヨリ流入スル北流ハ狹水道ニ向フニ從ヒ其速力ヲ増シジャバ島  
北西端ヲ激シク洗フテジャバ海ニ入り著シク速力ヲ減シ其一部ハ同島ノ  
西方北岸ニ沿フテ東流スルモノト信セラルスンダ海峽ヲ出テ、一晝夜約  
二十二湮ノ東流ヲ受ケタリ之レ當時西風速吹シジャバ南岸ノ東流ヲ強カ  
ラシメタルニ依ルナラン

濠洲西岸ニ於テハ一晝夜約三十湮ノ北流ヲ感シチールピンク水道北方ニ  
於テハ甚シク不規則ナル海流ヲ感シタリ蓋シ颶風ノ影響ニ依リ當時濠洲  
西岸一體ニ海流ノ常規ヲ攪亂セラレ居リシモノ、如シ

### 濠洲西岸

此海岸ハ一帶ニ卑低ニシテ目標トナルヘキ顯著ナルモノ殆ントナシト云  
フモ不可ナシ本艦ノ信シテ以テ位置ヲ測ルニ供セシハ唯シャーク灣外側  
エデルラントノ北西端、ステーブ角、チャンピオン灣ノ北方約十六七湮ナル  
キングス、テイブル、ヒル、チャンピオン灣ノ諸燈臺及ロット子スト島ノ燈臺  
ノミナリ

此海岸一體ニ印度洋ノ「スウエル」ヲ受ケ艦體動搖大約十度特ニチャンピョ  
ン灣以南ニ於テ強烈ナリ風向概テ南イ東乃至南イ西ニシテ其力三乃至五  
但時アリテハ殆ント無風ニ近キ軟風トナルコトアリシモ其間長カラス然  
レトモ本艦ノ遭遇セシ風候ハ「サイクロン」ノ爲メフリーマントル附近モ其

影響ヲ被リ天候惡シク南西方ノ風強吹セル時ナリ好天ニ於テハ海陸兩風ハ交互ニ順序正シク吹クモノ、如シ

フリーマントル

フリーマントル港ハ近來西濠洲ニ採金事業ノ盛ナルニ從ヒ著シク進歩シタルモノニシテスワン河ノ兩岸ヨリ遠ク海中ニ防波堤ヲ築クコト北ハ一千六百六碼南ハ七百十七碼以テ印度洋ノ荒波ヲ防キ岩石ヲ破碎シテ深ク港内ヲ浚濬シ大船巨船モ安全ニ繫泊シ得ヘキ濠洲西岸唯一ノ良港ナリフリーマントルハ人口約二萬ヲ有スル新進ノ一市ニシテ西濠洲ノ首府バリスハ其東方十二哩ニアリ汽車及汽船ノ往來甚頻繁ナリ思フニ西濠洲ハ益々繁盛スヘク從テフリーマントルハ愈々盛大トナルナラン

水深

最大低潮而下三十呎ニシテ其兩側ニ「ドルフィン」ヲ置キ之ニ燈光ヲ點シ出入ニ便セシム

棧橋

南岸一面ノ「ブーフ」之ヲビクトリア、クエート呼ヒ北岸ノモノヲノース、グエート云フ大船巨船ト雖接着スルヲ妨ケス又別ニ北岸ヨリ一ノ突堤アリ之ニ六百噸ヲ引揚ケ得可キ「スリツ」ヲ有ス

北岸ヨリ三個ノ突出棧橋ヲ築クヘキ豫定ナルモ現今ハ一個竣工シアルノミ

繫船浮標

三個アリ共ニ七百五十呎ノ間隔ヲ以テ河ノ中流ニ位ス此等ノ浮標ハ二個ノ螺旋針ヲ河床ニ螺入スルコト十五呎之ニ四吋ノ錨鎖ヲ繫キ更ニ該錨鎖ニ同大ノ錨鎖ヲ以テ浮標ヲ繫キタルモノニシテ頗ル強固ナリ

本艦ハ四月四日入港ノトキ中央浮標ニ繫留シ其後ガスコインニ赴キ歸港ノ後ハ北岸ノ「ス、クエー」ニ繫留セリ此時橋立ハ中央浮標松島ハ南岸ビクトリア、クエーニ繫留セリ

最港口ニ近キ浮標ハP.O.汽船會社汽船ノ常繫浮標ニシテ常ニ「メー」ルノ爲メ準備シ置カレ最上流ノモノハ當時其上流僅ニ三百三十呎ノ間浚渫セラレタルノミナルヲ以テ大船ヲ繫留シテ自由ニ振り回ラシムルコトヲ得ス此等浮標ニ繫留中ハ特ニ港長ノ請求アルトキノ外ハ艦尾ヲ繫クヲ要セザリキ

築堤及其他ノ工事

北堤ハ全ク竣工シテ英國海軍海圖一七〇〇號ニアル十八呎淺灘ノ位置迄延長セラレフリーマントル市ノ北西方ニ當ル部分ニハ高堤ヲ築キ之ニ鐵柵ヲ設ケ洋風ヲ防キ港内ヲ保護ス其他工事ノ現況ハ當港圖ニ詳ナルヲ以テ此ニ之ヲ贅セス

燈臺及目標

フリーマントル燈臺ヲ廢シ其舊臺上ニ報時球ヲ設ケタリ  
通號ゲージロードライト稱スル燈臺ヲ新設シ千九百二年八月二十三日

ヨリ點燈セリ即チ左ノ如シ

位 置 東經百十五度四十七分五秒  
南緯三十二度七分四十五秒  
等 級 一等

照明區域 自南四四度東至南三六度東間  
自南三六度東至南二八度東間  
自南二八度東至南一六度東間  
紅光  
白光  
綠光

高 サ 最高潮面ヨリ百二十三呎  
燈 種 明暗燈(暗三秒明二十七秒)  
光達距離 十七哩

此燈臺ハ夜間ハ頗ル便利ニシテ遠ク二十哩ヨリ望見シ得ヘシト雖晝間ハ其林間ニ設立セラレアルカ爲メ頗ル認識シ難シ  
フリーマントル報時球臺ノ根ニ不動綠色燈ヲ設ケ千九百二年八月二十三  
日ヨリ點燈ス  
北堤端ニ不動白色燈南堤端及オーシアンゼツチー端ニ不動紅色燈ヲ備フ



海岸ニ一大烟突アリテ遠距離ヨリ視易ク好目標タリ其概位左ノ如シ

位 置 (東經百十五度四十五分五十七秒 南緯三十二度四分四十三秒)

フリーマントル北岸印度洋ニ面シタル部ニ長キ倉庫アリ外洋ヨリ遠望スレハ白砂ノ長堤カト疑ハレ頗ル好目標タリ

報時信號及標準時

舊アーサー、ヘツド燈臺上ニアリ其外觀香港ノモノニ似タリパース天文臺ヨリ毎日日曜日及祭日ヲ除ク西濠洲標準時(東經百二十度ノ平時)ノ零時五十五分ニ全揚シ同一時零分零秒ニ落下セシム之ト同時ニ同所ヨリ號砲ヲ發ス

禮砲

答砲スヘキ砲臺ナシ依テ之ヲ行ハス

淡水

港務部ノ曳船ハ即チ水船ニシテ水罐及唧筒ヲ備ヘ大ニ便利ナリピクトリア、クエーニ在リテハクエーニ沿フテ水管ヲ布キ所々ニ「ホーズ、コンチクシヨン」及ヒ瓣ヲ設ク汽艇ハ前記曳船ヨリ給水セラルヘシ

水道ノ本源ハ遠クパースノ東方マングーニアアリテ此水道ニ大ナル資本ヲ投シ遠ク三百餘哩ヲ隔ツルカルグーリー金鑛地迄導キツ、アリ

水先人及水先料

水先人ハ汽船ニ乗シテロットネスト島附近ヲ遊戈スルモノトフリーマントル港務部ニ居リテ專ラ河港ノ出入ニ任スルモノト二種アリ船舶ゲージロードニ向ヒ來ルトキハ遊戈水先人ハ水先旗(自悉)ヲ掲ケ其側ニ來ルヲ例トス(夜間ハ「ブルワーク」附近ニテ閃光ヲ發ス)若シ之ヲ呼ハントスルトキハ萬國船舶信號「T」又ハ要招水先旗或ハ「ジャツキ」ヲ揚クヘシ  
本艦ノ入港スルヤ港務長及港内水先人來リ河港内ニ導ケリ軍艦ハ水先料及一切ノ港稅ヲ支拂ハス本艦ハ但心付トシテ水先人ニ二磅ヲ與ヘタリ

港務部

フリーマントルノ港務長ハ西濠洲諸港ノ港務長ニシテ他諸港ノ港務長ヲ支配シ命ヲ受ケ水路告示ヲ發行ス  
海圖ハ港務部ヨリ購求シ得可ク水路告示ハ貰受クルコトヲ得港則ハ港務部ヨリ贈リ來レリ今其概要ヲ左ニ摘記ス

信號

入港ノ船舶アルトキハロツト子スト島水先人屯所ニテ發見次第電話ヲ以テ通知ス(晴天ノ日ニハ二十五哩ノ距離ニ於テ發見シ得ヘント云フ)然ルトキハアーサー、ヘッド信號竿ニ信號ヲ揚ケテ之ヲ報ス  
ユニオンジャックノ下ニ黒球ハ英國軍艦右ノ外萬國信號旗ヲ左ノ如ク使用ス

- A 河港
- B 喜望峯殖民地
- F 舊東方殖民地
- H 三艘

- J 二艘
- K マウリチアス
- M 英本國
- N 倫敦
- R 新嘉坡及支那
- T 印度
- V 亞米利加
- W 歐羅巴

S 旗一旗ハ荒天ニ付キ第二錨ヲ投下シ錨鎖ヲ延ハスヘシ  
信號法

ロツト子スト島水先人屯所ニテ入港スル汽船ヲ發見スルトキハ橋頭ニ黒球(帆船ノトキハ青旗)ヲ揚ケ又南若クハ北ノ桁端ニ青旗ヲ揚ケテ其來ル方向ヲ示ス  
水先人乗艦セハ桁端ノ青旗ヲ撤シ「リ」グヲ識認セハ橋頭ノ青旗ヲ撤シ其「リ」グヲ現ハス旗旗ヲ揚ケ若シ之ヲ揚ケサレハ西濠洲ノミヲ航スル沿岸航路船トス  
入港船舶ノ艘數及其出發地等ノ信號ハ橋頭ニ揚ク

南北ヨリ二艘以上入港スルトキハ北方ヨリ來ルモノヲ橋頭ノ上方ニ揚ク  
入港ノ汽船ハ識別次第黒球ノ下ニ其會社ノ旗ヲ連掲ス又之ニA旗ヲ連掲  
スルトキハ河港ニ入港スヘキヲ示ス

汽船ノ一ンゼツチニ繫留スルトキハ其會社ノ旗ノ下ニ前記ノ二三四等  
ノ旗ヲ桁端ニ連掲ス其南北ニ從テ何レノ側ナルヤヲ示ス但第一繫留所ト  
ハ南北トモ最外ノモノヲ云ヒ漸次内方ニ番號ヲ附ス

曳船呼ヒニハPN「ライタ」呼ヒニハJFIヲ揚クヘシ

夜間信號

橋頭ニ白燈一個若シクハ其以上 汽船

桁端ニ青燈 外國船

同 紅燈 郵船

同 白燈 沿岸航路船

船舶ニ於テ五呎ノ間隔ヲ以テ二白燈ヲ橋頭桁端若クハ「ビーキ」ニ揚クルト

キハ水上警察官ヲ要招スルノ信號タリ

河港内ニハ塵芥ヲ捨ツヘカラス港務部ニ要求スルトキハ塵芥船ヲ借入ル  
ノコトヲ得可シ本艦ハ一隻ヲ借入レ常ニ艦側又ハ陸岸ニ繫留シ置キ必要  
ノ時塵芥ヲ積ミ港外北堤ノ北方ニ本艦小蒸氣艇ニテ曳行シ投捨セリ  
河港ニ於テハ釣ノ外網其他ノ漁業ヲ許サス

交通

定期船ハ左ノ如ク出入ス

「ビー、アンド、オー」會社線 シドニー、歐洲間 二週間ニ一回

東洋郵船 同右 同右

「アデレード」汽船會社線 シドニー、フリーマントル間同右

同右 濠洲北西岸ノ諸港 三週間ニ一回

濠洲共同汽船航海會社線 同右 同右

「マツクレース、マカルカン」會社線 同右 同右

フリーマントル

「アルフレッド、ホルト」線 新嘉坡フリーマントル間(濠洲西岸各港ニ寄港ス)三週間一回  
「北獨逸ロイド」會社線 シドニー、歐洲間 同右  
佛國郵船 一箇月一回

鐵道ハパースヲ經テ南ハアルバニー、ブンバリーニ東ハ遠ククルガルデ  
一金鐵地ニ北ハゼラルドトン及キウニ達シ交通頗ル頻繁ナリ

郵便電信

世界ノ各地ニ通ス其電報料左ノ如シ名宛ハ凡テ語數ニ算入ス

- 西濠洲各地へ 十六語以内 六片乃至九片 遠近ニ依リ
- 右同 十六語以上一語ニ付 一片
- 濠洲各地へ 十六語以内 一志
- 右同 十六語以上一語ニ付 一片
- 歐洲へ 一語ニ付 三志
- 日本へ 一語ニ付 四志三片

電信局ハ毎日午前九時ヨリ午後八時迄受信スルモ日曜日祭日ハ一切休業ナリ

二倍ノ電報料ヲ支拂フトキハ迅速送信スルコトヲ得

パース

パースハフリーマントルヨリスワン河ヲ溯ルコト十二哩ニシテ遠スヘキ  
西濠洲ノ首府ニシテスワン河ヲ抱キテ建設セラレ風光頗ル明媚ナリ  
人口現時三萬餘ニ過キスト雖附近金鐵地ノ發達ト共ニ益々繁盛ニ赴キ數  
年ナラスシテ十萬餘ノ人口ヲ有スルニ至ルヘシ  
パース、フリーマントル間ニ汽艇ノ交通アリスワン河ヲ上下ス  
該河ハ風景絶佳ニシテ兩岸多數ノ遊樂場アリ  
左ニパース天文臺ヨリ得タル氣象觀測表ヲ附ス以テパース及フリーマン  
トルノ氣候一般ヲ知ルニ便ス

西澤首府パー天文臺観測千九百一年氣象表

二十六年

項目	月												年
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
最高	30.199	30.196	30.285	30.431	30.472	30.514	30.706	30.382	30.398	30.483	30.213	30.180	30.706
最低	29.791	29.660	29.678	29.914	29.678	29.593	29.642	29.315	29.762	29.748	29.843	29.711	29.593
平均	29.904	29.928	30.026	30.080	30.116	30.107	30.214	30.111	30.137	30.105	30.047	29.952	30.066
平均	84.3	84.7	81.6	77.7	68.1	63.3	63.0	63.8	65.6	70.8	75.9	78.0	73.1
平均	63.7	63.4	6.11	58.7	53.0	49.0	46.0	48.7	52.4	54.1	56.6	59.0	55.5
平均	74.0	74.0	71.4	68.2	60.6	56.2	54.5	56.2	59.0	62.4	66.2	68.5	64.3
平均	104.8	103.1	98.7	94.2	81.6	72.0	72.8	72.7	79.6	81.7	101.0	101.4	104.8
平均	51.1	55.6	51.1	42.9	41.9	41.3	39.2	40.1	42.4	43.5	49.8	50.7	39.2
平均	20.6	21.3	20.5	19.0	15.1	14.3	17.0	15.1	13.2	16.7	19.3	19.0	17.6
平均	SE	ESE	ESE	E	NNE	ENE	NE	ENE	ENE	SE	SE	S	E
平均	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
平均	SW	SS	SW	SSW	W	SSE	NNE	WSW	WSW	SW	SW	SW	SW
平均	4	4	3	2	2	2	2	3	3	3	4	4	3
平均	26	28	34	52	60	49	31	50	72	54	38	40	41
平均	16	24	31	51	53	48	41	57	65	38	30	32	40
平均	0.13	0.01	1.59	0.45	7.33	7.17	8.00	6.05	2.75	1.66	0.40	0.52	36.75

フリーマントル、ガスコイン間

四月十四日司令官ノ命ニ依リ炭水ヲ満載シシヤーク灣ナルガスコインニ  
向ヒ午後六時フリーマントル出港十七日午前九時到着直ニ兩艦ニ炭水ヲ  
補給シ十九日午前八時同地出港他ノ二艦ト共ニフリーマントルニ歸航シ  
二十一日午後十時ゲージロードニ投錨ス

航路

往航ニハロット子スト島バツサース角燈臺ノ東北東五哩ノ所ヨリハウト  
マン岩ノ西方ニ向ヒ其外方二十五哩ヲ航シシヤーク灣外デルク、ハルトグ  
島ノ北角インスクリブシヨン岬ノ西ノ南ニ南二十四哩ノ地ニ向航シジエ  
ラグラフ水道ヲ經テガスコイン錨地ニ至ル復航ニハナチユラリスト水道  
ヲ經テ沿航シデルビンク水道ヲ經テゲージロードニ歸港スナチユラリ  
スト水道ハ海水清澄ニシテ海底ノ色ニ依リ淺堆アルニ非サルヤヲ疑ハシ  
ムルコトアリ

フリーマントル、ガスコイン間

二十七

風向、天候及海流

前航海ノ實驗ニ微スレハ毎日風潮ノ爲メ二十哩乃至三十哩ノ北流ヲ感受スヘク從テ往航ニアリテハ少ナクトモ海流ノ航程ヲ助クルモノアルヘシト信セリ然ルニ實際ニ於テハ風潮ノ状態大ニ變リ風向偏西不定ニシテ風力一乃至二時々全ク無風ニ近キコトアリ海流ハ却テ十哩乃至十四哩ノ南流ヲ感シタリ復航ニアリテハ風向偏南不定ニシテ風力一乃至二海流殆ントナシ之ニ依テ之ヲ見レハ濠洲西岸ノ海流ハ甚タ不規則ニシテ大ニ流行風ノ爲メニ左右セラル、ヲ知ルヘク而シテゲージロードノ北方デールビシク水道マテノ間ハ疑モナク向岸流存スルヲ以テ大ナル注意ヲナサ、レハ多岩ナル陸岸ニ押流サル、ノ恐アリ  
天候殆ント晴天ノミニテ只十四日フリーマントル出港後直ニ數回大驟雨ノ來襲ヲ受ケシノミ陸風連吹ノ間ハ天候殊ニ晴快ニシテ一點ノ雲影ヲ認メサルヲ常トス

ガスコイン、ロード

茫漠タル海灣ニシテ瀕岸淺ク風起ルトキハ浪高ク交通頗ル不便ナリ當時幸ニ天候良好ニシテ南東ノ微風其力二乃至三ニ達セシコトアリナリシモ松島及ヒ橋立ニ炭水ヲ供給スルニ稍困難ヲ感シタリ

本艦碇泊位置

パツページ島燈臺ノ北八三度西三哩八鐘ノ地

棧橋

英國海軍海圖第七一二號ニ記載シアルカーナボン棧橋ハ已ニ腐朽用ニ堪エサルヲ以テ修理ヲ加エス其橋端ナル燈光モ千九百二年三月以來點燈ヲ停止セリ

同海圖ニ記載シアルパツページ島燈臺下ヨリ突出セル計畫棧橋(チャール)材ニテ製シ堪久ノ計ヲナセリハ已ニ落成シ其橋端ニ近キ燈竿ニ一紅燈ヲ點ス

此新棧橋ヨリカーナボンニ通スル馬車鐵道アリ橋端ナル電話所ニヨリカーナボンヨリ馬車ヲ呼ビ得可シ若シ夜間等ニテ橋端ナル電話所ヲ使用シ得サルトキハバツベージ島燈臺ノ番人ニ依頼スヘシ

濠洲西岸航船ハ此新棧橋ニ横着ス

カーナボン

新棧橋ニ上陸シ鐵道馬車ニ乗ルトキハバツベージ島ヲ横斷シ對岸ニ病院アル所ヨリガスコイン河ニ架セル橋ヲ渡リカーナボン村ニ達ス英國海軍海圖第七一二號ノガスコイン即チ是ナリ

茫々タル曠野點々タル家屋之レ實ニカーナボンノ全景ナリ村ハ人口僅ニ三百餘白沙遠ク速リ牧羊至ル所ニ散在シ一見有利ノ地ナラサルカ如シト雖牧羊盛ニ行ハレ近頃又附近ニ金鑛ヲ發見セル由ニテ村民ハ數年ナラスシテ大市トナルヘシト云ヒ非常ノ好果ヲ期シ居レリ此地雨少ナク從テ果

菜ノ産出甚タ少ナキヲ以テ艦船ニ供給スルコト能ハス淡水ハカーナボンノ北方ガスコイン河ノ南岸ニ在ル井風車ヲ附シ頗ル顯著ナリヨリ得ラルヘシト雖之ヲ艦船ニ供給スルノ方法ナキヲ以テ特ニ馬車ニテカーナボンニ持來リ鐵道馬車ニテ棧橋ニ送り艦船ノ端舟ニ移載セサルヘカラス從テ一日十五噸以上ノ淡水ヲ積載スルハ非常ニ困難ナルヘシ

カーナボンノ村民ハ冬季ノ雨水ヲ貯ヘ飲料ニ供ス

郵便電信

世界各地ニ通ス

交通

「アデレード」汽船會社線及ヒ新嘉坡「フリーマントル」線ノ汽船每週一回交互ニ出入ス

石炭

得ルコト能ハス

自フリーマントル至アデレード

航路

四月三十日午前十一時出港 ロット子スト島ノ北方ヲ回リ同島西端ノ西南西六哩ノ地ヨリナチユラスト岬ノ北西イ西二十七哩ノ地ニ向進シ夫レヨリリーウキン岬ヲ周リクリツフィー頭ノ南イ西三十七哩ノ地ニ至リインベスチゲートル海峡ニ直進シ五月七日午後六時セマホア泊地ニ投錨ス

錨位  
ウオンガ、シヨール燈臺 南九度三〇分西  
ラルグス灣棧橋端 南四五度四〇分東

天候及風候

キングジョージサウンドヲ過クル迄ハ一乃至二ノ偏南風ニシテ夫レヨリ以東ハ常ニ三内外ノ偏北風ヲ受ケインベスチゲートル海峡ニ於テハ偏東ノ輕風ヲ感受セリ

天候ハ濠洲西岸航行中全ク快晴ニシテ一點ノ雲ナカリシモ有名ナルリー

ウキン岬ヲ平穩ニ回行セシ後ハ概テ半晴ニシテ晴雨計三〇、一〇乃至三〇、三六ノ間ヲ昇降シ東航スルニ從ヒ漸次下降セリ而シテ其日差〇、一〇乃至〇、〇四ナリ

海流

海流ハ元來弱シト雖連日吹き續キタル前記偏北風ノ爲メ表面流ヲ起シ風壓ト相合シテ毎日風下ノ方位即チ南方ニ十二哩乃至十五哩流移セラレタルヲ驗セリ

南子プケユン島頂ノ燈臺

建設中ナリシ該燈臺ハ已ニ成功點火シアリ連閃白光ニシテ五十秒間ニ三閃光ヲ發ス鐵造紅塗ニシテ海面上百七十九呎光達二十哩ナリ

アデレード港

錨地

セマホア泊地ニ二個ノ棧橋アリ北方ノモノヲラルグス灣棧橋ト稱シ南方

アデレード港



ノモノヲセマホア棧橋ト云フ共ニ水深少ニシテ大船ヲ繫留スルニ足ラス  
吃水二十二呎以内ノ船舶ハ何時ニテモ内港即チポート、アデレードニ入ル  
ヲ得可ク大船ハセマホア泊地ニ錨泊スヘシ千九百年ニポート、アデレード  
ニ入港セシ最大船ハ六千二百二十四噸長サ四百九十呎吃水二十六呎ナリシ  
ト云フ

ポート、アデレード河口ニ新ニ外港ヲ築キ大船ノ錨泊ヲ安全ナラシムルノ  
計畫成リ已ニ工事ニ着手シ居レリ三年ノ後ニハ竣工スヘシト云フ

セマホア泊地ハ廣漠タル海面ニシテ東方ノ外遮蔽ナク風波強キトキハ艦  
體動搖シ陸岸トノ交通甚不便ナリ

上陸所

ラルグス灣棧橋又ハセマホア棧橋ニ上陸スヘシ共ニ其内端ニ於テポート、  
アデレード及アデレードニ通スル鐵道停車場ヲ有シ共ニ汽車ノ往來頻繁  
ナリ

禮砲

此地砲臺二個アリ一ハラルグス灣砲臺ト稱シラルグス灣棧橋ノ北方約一  
哩ナル砂山ノ背後ニアリ二門ノ後裝砲ト五門ノ舊式輕砲ヲ有スト云フ一  
ハグレン、ヒル砲臺ト稱シ甚シク舊式ノモノニシテセマホア棧橋ノ南方砂  
山ノ背後ニアリ共ニ泊地ヨリ見分ケ難シ

禮砲及答砲ハラルグス灣砲臺ニ於テ施行ス

燈臺ノ改造

從來ポート、アデレード河口ニ在リシ回轉燈ヲ撤去シ其臺ハ今尙存在シ居  
レリ更ニウオンガ、シヨールノ外端ニ近ク舊ベル、ブイノ東南東九六〇碼水  
深十七呎ノ所ニ毎三十秒ニ一白閃光ヲ發スル光達十七哩ノ鐵塔燈臺ヲ建  
設シベル、ブイハ撤去セラレタリ而シテポート、アデレード河口ノ水道ヲ表  
示スル爲メ紅黒二浮標ヲ置キ其紅色浮標ニ明暗燈ヲ附セリ

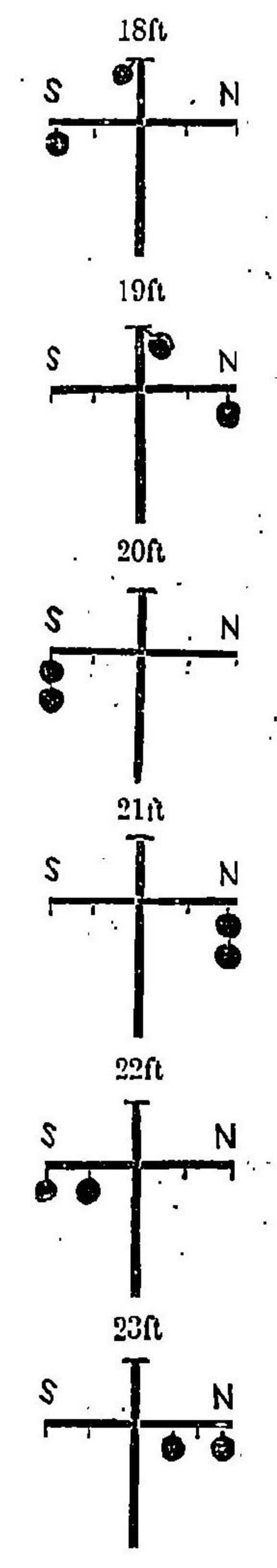
港則拔萃

アデレード港

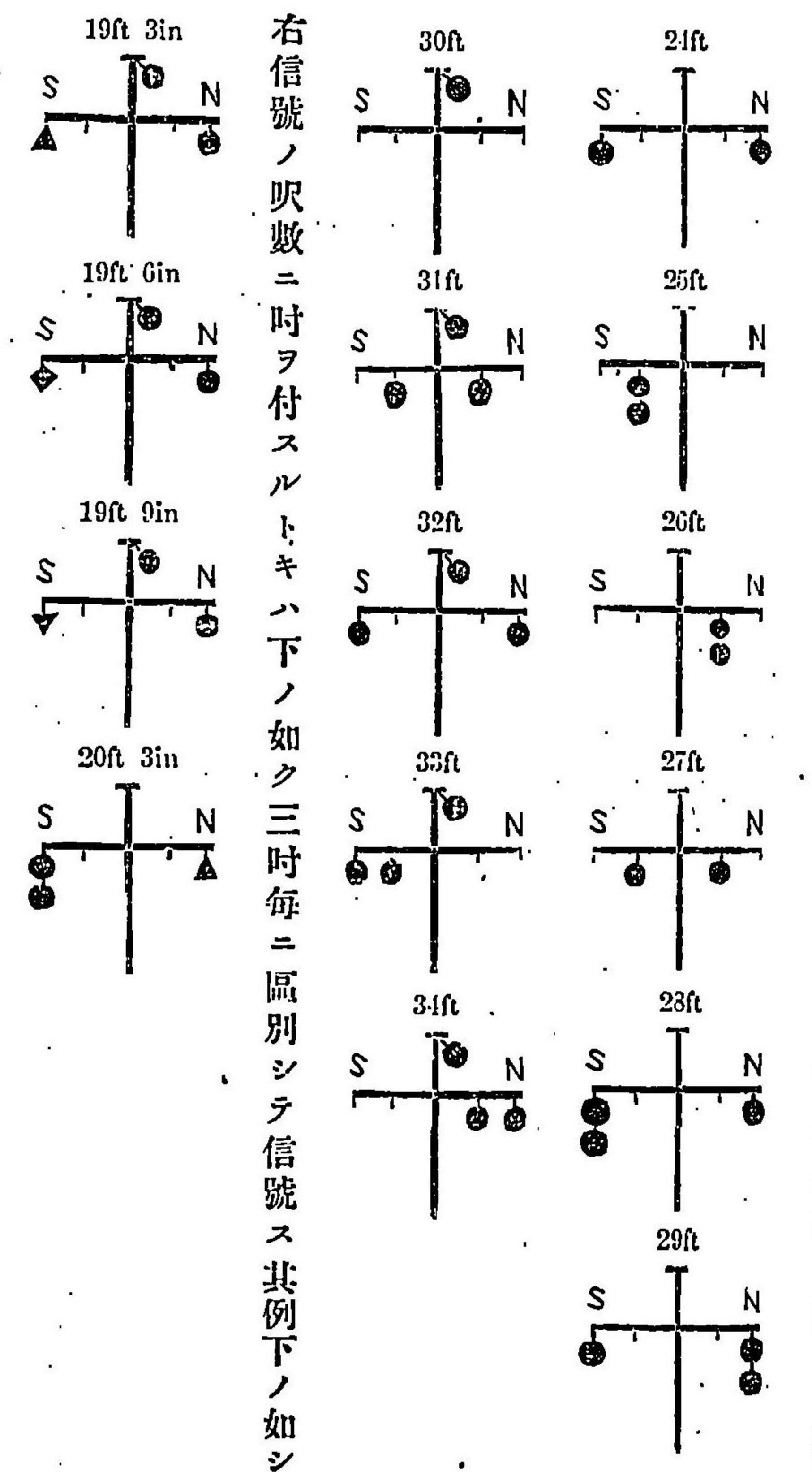
ポート、アデレード即チ内港ニ於テ一切ノ發砲ヲ禁ス  
 南濠洲各泊地又ハ港灣ニ投錨スルモノハ必ス浮標ヲ附スヘシ  
 セマホア棧橋端ノ西方十哩以内ノ地ニ「バラスト」等ヲ捨ツヘカラス  
 ポート、アデレード河内ヲ通行スル船舶ハ必ス四哩以下ノ速度ニテ緩行ス  
 ヘシ

**潮高信號**

セマホア棧橋ノ直ニ内側ニ於テポート、アデレード港務部ノ派出所アリ(水  
 先人一人常ニ之ニ住ス)其橋桁ヨリポート、アデレード河通路ノ最淺水深ヲ  
 信號スルコト左ノ如シ



右信號ノ呎數ニ時ヲ付スルトキハ下ノ如ク三吋毎ニ區別シテ信號ス其例下ノ如シ



高潮 桁端ノ何レナルヲ問ハス外方ニ在ル球下ニ赤方旗ヲ加フ  
 但二十四呎信號ノトキハ橋頭ニ赤旗ヲ揚ク

### 船舶出入信號

低潮 前記赤方旗ノ代ニ青方旗ヲ用フ  
ボールド岬燈臺セマホア信號所及ボールドアデレード信號所等ニ於テ船舶ノ出入ヲ信號スルコト左ノ如シ

- 船又ハ「パーク」 赤球ノ下ニB旗
- 「ブリッグ」 赤球ノ下ニC旗
- 「スクーナー」 赤球ノ下ニD旗
- 汽船 赤球ノ下ニE旗
- 沿岸航路船 赤球ノ下ニG旗
- 英國軍艦 赤球ノ下ニ英國艦首旗
- 外國軍艦 赤球ノ下ニ紅白橫線數條ノ方旗
- 暴風警報 赤球ヲ檣頭ニ揚ケ青色燕尾旗ヲ加揚ス
- 水先人呼ビ 赤球ヲ檣頭ニ揚ケ水先人旗即チ白紅橫

稅關用「プロテクトル」 線ノ方旗ヲ加揚ス

右 同「ガバナ」マスグレーブ 艦首旗ヲ加ヘテ揚ク

浚渫船作業中ハ左ノ信號ヲナス 赤球ノ下ニ青色英國商船旗

信號 晝間 夜間

注意シテ航行セヨ 青色旗 白燈ノ下ニ紅燈間隔二呎

入港船ハ浚渫船ヲ右舷ニ 見テ航行セヨ 赤球 白燈ノ下ニ綠燈間隔二呎

出港船ハ浚渫船ヲ左舷ニ 見テ航行セヨ 白燈ノ下ニ綠燈間隔二呎

入港船ハ浚渫船ヲ右舷ニ 見テ航行セヨ 白燈ノ下ニ綠燈間隔二呎

出港船ハ浚渫船ヲ左舷ニ 見テ航行セヨ 白燈ノ下ニ綠燈間隔二呎

浚渫船運轉自由ナラス 青色燕尾旗 (中央ニ白旗ニ有スル) 二紅燈連揚 (間隔二呎)

右ノ外浚渫船ハ日没ヨリ日出迄一個ノ碇泊燈ヲ揚ク

報時信號

アデレード港

セマホア棧橋内側ノ潮高信號ト同所ニ在ル報時球ハ地方標準時午後零時五十五分ニ半揚シ同五十七分ニ全揚午後一時(綠威平時十五時三十分)アデレード天文臺ヨリ電氣裝置ニ依リ落下セシム若シ誤リアリタルトキハ一時十五分ニ再ヒ之ヲ全揚シ十分間ノ後之ヲ徐下シ午後二時更ニ報時信號ヲ行フ

ポート、アデレード鐵工場

官業ニシテ職工二百六十人ヲ使用シ重ニ水道用鐵管ノ製造及船舶ノ修理ニ従事シ設備モ又頗ル完備セリ

船渠

此地一ノ乾船渠ナシ嘗テ計畫セシモノアリシモ中途ニシテ中止セリ「スリッパ」五個アリ左ノ如シ

- |                                  |        |          |                   |
|----------------------------------|--------|----------|-------------------|
| (1) Jenkins'                     | 長 140呎 | 揚上力 500噸 | 記事                |
| (2) Adelaide steam tug Co. 130 " |        | 500 "    |                   |
| (3) H, C, Fletchers'             | 250 "  | 33呎      | 10噸起重器ヲ有シ諸種ノ修理ヲナス |

- |                            |      |       |
|----------------------------|------|-------|
| (4) Taylors' (A. S. T. Co) | 70 " | 300 " |
| (5) Moores'                | 65 " | 200 " |

軍艦

ポート、アデレードニ南濠洲砲艦「プロテクトル」在泊シアリ同艦々長ハ南濠洲海軍々務ヲ總轄シ陸上ノ海軍官廳ニ於テ其事務ヲ取扱フ艦隊ハ該艦ト訪問ノ交換ヲナセリ

曳船會社

「アデレード、ステーム、タグ」會社ハ曳船救難唧筒、潜水器、ライター、水船等ヲ有シ其事業ニ従事ス曳船ヲ呼フニハ前橋ニ國旗ヲ掲揚スヘク「ライター」ヲ呼フニハ萬國船舶信號旗Hヲ揚クヘシ

交通

鐵道ハメルボルン、シドニーニ通シ洲内縦横ニ貫通シ今ヤダルウキン港ニ向ヒ其北線ヲ伸長シツ、アリ

汽船交通ノ重要ナルモノ左ノ如シ

「ビー、オー」會社線 } ロンドン 濠洲間二週間一回寄港

「オーレント」會社線

「メツセンヂヤ」マリタイムス會社線 佛國ヲ經テロンドンニ行クモノ毎月一回

「ホワイト、スター」會社線 喜望峰及リパーブールニ行クモノ毎月一回

濠洲共同汽船航海會社線

「アデレード」汽船會社線

濠洲諸港間

「ホワード、スミス」線

「マツクレース、マカルカン」線

右ノ外ニ「ガ」フ線、北獨逸、ロイド線ノ歐洲濠洲間航路船モ又此地ニ寄港ス

郵便電信

郵便ハメルボルン、シドニー又ハブリスベン迄汽車ニテ發送シ夫レヨリ便

宜日本ニ送附セララル

電信ハ政府線ト會社線トノニアリ該會社ハ千九百二年二月フリーマントルヨリセマホアノ南方ナルグレネルグニ水底電線ヲ布設シ英國ヨリノ電報ハ此線又ハダルウキン港ヲ經テ來着スト云フ其電報料左ノ如シ

日本へ 一語ニ付 四志三片

歐洲へ 同 三志

暹羅へ 同 五志三片

支那へ 同 四志乃至五志七片

朝鮮へ 同 六志九片

菲律賓へ 同 四志十片乃至五志三片

政府ニ屬スルモノハ濠洲各地間ニ交通スルモノニシテ其料金左ノ如シ

南濠洲内 十語以内一志 十語以上一語ニ付一片

西濠洲及新南威斯 十語以内二志 十語以上一語ニ付二片

アテレード港

タスマニア洲及  
クウインズランド洲  
新西蘭

十語以内三志 十語以上一語ニ付三片

一語ニ付 六片

水先人及水先料

本艦ハ水先人ヲ備ハス(但政府ノ厚意ニテ水先人乗艦セシモ之ヲ使用セサ  
リシ)軍艦ハ水先料ヲ支拂フコトナシ

海圖販賣所

ボート、アデレードナルマリナーズ、ポールド又ハデウィット町ノソーテル商店  
ニテ販賣ス

領事

帝國名譽領事ハジエー、エル、バーソン氏ニシテアデレード市、ステート、バン  
ク、チャムバーニアリ

アデレード

アデレードハ南濠洲ノ首府ニシテセマホア棧橋ヨリ九哩半、ボート、アデレ

ードヨリ七哩半アリ人口十六萬餘街衢清潔ニシテ四面周ラスニ、レザーズ、  
グラウンドヲ以テシ風光明媚氣候溫良人情敦厚實ニ愛スヘキノ地タリ  
此地天文臺アリ其驗測セル氣象表ニ依リ本地ノ氣候ヲ摘録スルコト左ノ  
如シ

アデレード港

アデレード天文臺観測氣象表(年々ノ平均)

項 月	平均氣壓	温 度				天 候			風 候		平均雨量吋
		最高平均	最低平均	平均	九十度以上日數	晴天日數	曇天日數	雨天日數	平均方向	最多ク吹	
一	29.96	87.7	62	74.5	12	6	0	5	S27°W	SW S	0.829
二	30.00	86.6	61.9	73.5	11	15	0	0	S 8°E	SE SW	0.748
三	30.19	81.9	59.5	70.3	8	8	3	7	S11°W	SW SE	1.230
四	30.17	74.0	55.0	64.1	1	2	4	12	S35°W	SW S	1.577
五	30.15	65.2	50.1	57.2	0	2	6	13	N55°W	NE N W	3.108
六	30.15	60.5	46.7	53.2	0	1	6	16	S35°W	N SW W	2.632
七	30.19	59.0	44.6	51.3	0	5	4	16	N 0°W	N NE W	2.571
八	30.16	62.5	45.7	53.7	0	2	5	21	N13°W	N NE W	2.244
九	30.10	66.7	47.5	56.8	0	1	5	15	N55°W	W SW NE N	1.855
十	30.05	73.0	51.2	61.8	2	5	3	11	S73 W	SW W N S	1.706
十一	30.02	78.0	54.6	66.4	5	5	4	8	S25°W	SW S W	0.985
十二	29.97	83.6	58.5	70.6	9	10	4	6	S25°W	SW S	0.852
年	30.09	73.3	53.1	63.2	48	62	44	130			20.436

晴天トハ終日BC1以下ナルモノ

曇天トハ終日BC9以上ナルモノ

自アデレード至メルボルン

航路

五月十三日午前十一時出港バツクスティア海峡ヤタラ淺灘ノ南方水道ヲ出テマルガレット、プロツク礁燈臺沖ニ至リ夫レヨリ沿航シテバンクス岬燈臺ノ南西八哩、ネルソン岬ノ南々西六哩オットウエー岬ノ南々東七哩ノ地ヲ經テフイリツプ灣口ニ向フ此途グイチエーン灣沖以南及ポートランド灣沖以東ニ於テ兩日ニ亘リ艦砲射撃ヲ施行シ十六日未明フイリツプ灣口ニ至リ水先人ヲ乗セ灣内ニ入り南水道ヲ經テホブソン灣ニ入港シ正午投錨セリ

錨 地 ウイリアムス、タウンノ「ブレイク、ウオーター」棧橋端  
燈船 北七〇度西  
南一五度西

風候及天候

バツクスティア海峡ヲ出ル迄ハ一乃至二ノ追風ニシテ其後ハ方向定マラサル弱キ偏北風トナリネルソン岬ヲ過キテヨリ偏東風其力ニニ變セリ

自アデレード至メルボルン

天候概々曇ニシテ晴雨計三〇、三一乃至三〇、一七ノ間ヲ昇降シ朝夕ノ差〇、  
〇六乃至〇、〇四ナリ温度ハ六十度内外ニシテ晝夜ノ差甚少ナリ

### 海流及潮流

グイチエーン灣迄ハ弱キ北東流ヲ感シ其後ハ殆ント流潮ヲ感受セサリシ  
モオットウエー岬以北ニ於テ一時間四分三ノ割合ヲ以テ西方ニ流移セラ  
レタリ之レ蓋シ漲潮流ノ勢ナルヘシ  
フイリツプ灣口ノ潮流ハ殆ント計算通り變化スルモノ、如シ本艦ハ當時  
漲潮流ノ末期ニ於テ灣内ニ進入スルノ豫算ナリシモ少シク航行遅延セル  
爲メ灣口ニ於テ水先人乗艦中潮流變化シ落潮流トナレリ然ルニ斯ル僅少  
ナル時刻ノ遲滞ナルニモ關ハラス落潮流ノ勢力劇甚ニシテ操縦容易ナラ  
サリキ思フニ此灣口ハ潮時ヲ見順潮ニ乗シテ出入スヘキモノナラン

### メルボルン

ヤーラ河ハ上遊三百呎下遊二百呎ノ幅ヲ有スル運河ニ浚漑セラレ三ヶ月

ノ後ニハ二十五呎低潮面ヨリノ水深ニ成功スヘシ其上流グインズ橋ニ近  
ク、ピクトリア、ドックト稱スル繫船池アリ水深二十五呎面積九十九、エーク  
ルニシテ四圍盡クウオーフヲ築キ倉庫ヲ建ツ我郵船會社ノ船舶ハ皆ヤー  
ラ河ニ入り、グインズ橋下ニ繫留ス  
ヤーラ河ノ流勢ハ二節ヲ超ルコトナシト云フ而シテ入口ノ「ブレーク、ウオ  
ーター」ノ卑低ナルハ可成速ニ河水ヲ溢出セシメ以テ其流勢ヲ強カラシメ  
サル爲ナリト云フ

### 船渠

ウイリアムス、タウンニ在ル「アルフレット」乾船渠ハ長四百七十呎渠口ノ幅  
八十呎水深二十六呎半ニシテ「ステム」ヲ容ルヘキ部分ハ別ニ之ヲ穿テ大船  
ヲシテ入渠スルコトヲ得セシム

「パテント、スリツプ」三個アリ其最大ナルモノハ四百噸ヲ揚ケ得ヘシ

ヤーラ河ニ在ル「ジー、エス、リユーク、エンド、ソン」會社乾船渠ハ長サ四百八十



メルボルン天文臺観測氣象表

メルボルン

項 月	平均氣壓 32°F	温 度			天 候 平均 雲量	降 雨 日 數	風 候 一九〇一年			雨 量 時 平均
		最高平均 一九〇一年	最低平均 一九〇一年	平 均			最 多 吹 方 向	最 多 速 度	平均 時 速	
一	29.83	75.6	51.6	66.2	5.1	7	S SW W	10.7 12.4 11.0	1.91	
二	29.89	80.7	57.5	66.1	5.1	7	S SE SW	10.3 4.8 10.3	1.72	
三	29.97	75.5	54.5	63.8	5.5	8	S SE W N	8.8 5.5 10.6 10.4	2.06	
四	30.03	66.4	49.5	58.6	5.8	10	S SW N	7.0 12.4 9.0	2.48	
五	30.02	62.6	48.1	53.2	6.5	12	N W	10.5 8.6	2.16	
六	29.99	53.4	40.7	49.7	6.6	13	N W	11.6 8.9	2.03	
七	30.02	52.2	39.8	47.6	6.3	15	N SW W	9.9 6.9 7.5	1.87	
八	29.98	56.8	44.1	50.4	6.3	14	N SE W SW	9.0 9.3 5.3 4.6	1.81	
九	29.92	63.7	48.5	53.1	6.1	14	N NW W	13.0 11.3 11.4	2.30	
十	29.88	65.8	48.6	56.6	6.0	13	W S N	10.2 7.8 9.9	2.75	
十一	29.87	76.1	53.8	60.4	5.9	10	S N SW	9.0 10.9 8.9	2.28	
十二	29.82	76.4	54.3	63.7	5.5	9	S SW W	11.1 12.4 11.7	2.20	
年	29.92			57.5		133			25.55	

千九百一年ト特記セルモノハ外ハ凡テ四十五六箇年間ノ平均ナリ

五十一

呎渠口ノ幅五十呎水深十五呎半、ライト、オール、エンド、ソク、會社乾船渠ハ長  
 ツ三百三十呎渠口ノ幅四十六呎水深十七呎ニシテ此外八百噸ヲ引揚ケ得  
 ヘキ浮船渠一個アリ  
 氣候  
 當時天候曇リ勝チニシテ降雨時ニ至リ北乃至西ノ風恒吹シ海上平靜ナラ  
 ス蓋シ此季節ニ於ケル當地ノ常態ナルヘシ  
 左表ハ當地ノ氣象ノ一般ヲ概括シタルモノナリ

五十

港則拔萃

入港ノ船舶ハ其國旗ト青旗ヲ連掲シ檢疫官ノ來船ヲ待ツヘシ  
外國軍艦ノ乘員ハビクトリア洲政府ノ許可ヲ得ルニ非サレハ該洲ノ港灣  
ニ上陸スルヲ禁ス

探海燈ノ使用海岸線ノ測量ヲ禁ス

甲板上ニ於テ「タル」等ヲ焚キ其他救難信號ノ諸燈火及青燈ヲ現スコトヲ  
禁ス

水上警察呼ヒハフリーマントルニ同シ

領事館

帝國領事館ハCollin町四百六十七番ニアリ當時ノ名譽領事ハ當市ニ於テ知  
名ノ富豪ニシテ且陸軍少佐タルサー、マルカム、マカーカンナリ

自メルボルン至ホバート

航路

五月二十四日午前十時出港南水道ヲ經テ灣口ニ向フ當時南西風強吹シ降  
雨ヲ交ヘ晴雨計三〇、一〇ナリシモ灣外波高ク天空暗黒ニシテ前方展望シ  
難ク斷雲飛行シテ頗ル不安心ノ天候ナリシカハ灣口内檢疫所附近ニ假泊  
スルコト、セリ

ウイルーナー灣ノ沖(ボート)シ一棧橋端ノ燈臺ヲ西南ニキング角ヲ南六一  
度東ニ望ム處ニ投錨シ止マルコト二晝夜然ルニ風向依然南西乃至南々西  
風力四乃至五ニシテ時々驟雨來襲シ晴雨計ハ殆ント三〇、一〇ヲ中心トシ  
テ輕ク昇降シ別ニ大ナル異狀ナキヲ以テ二十六日午後五時出港灣口ヲ出  
テシヤンク岬ノ南西四浬ノ地點ヲ經テ直ニバンクス海峽ヲ通過シサラマ  
ンデル岩ノ外方ヨリタスマニアノ東岸ヲ沿航シテストーミー灣ニ向ヒデ  
ルウイント河ヲ溯リ二十九日午前八時ホバートニ入港ス

錨位 ニューソーフ東端ノ南七四度東五鏈ノ地

タスマニア

タスマニアハ濠洲本島ノ沿岸ニ比スレハ頗ル高山多ク從テ遠距離ヨリ望見シ得ヘント雖概テ山頂平坦ニシテ疊複シ其何レナルヤヲ識別スルニ頗ル困難ナルヲ以テ初航者ハ山嶺ヲ目標トスルコト殆ント容易ノ業ニアラス

風候及天候

フイリツブ灣口ヲ出ルヤ風向南々西風力五乃至六ニシテ波濤頗ル高ク艦ノ動搖又甚タシク天候險惡ノ模様アリシモ能ク遠距離ヲ望見シ得ヘカリシ同夜正子ノ頃ヨリ風向左旋シ風力漸ク衰ヘ天候恢復セリバンクス海峽ヲ出テ再ヒ風向右旋シテ南乃至西南西トナリ風力少シク増加セシモ夕刻ニ至リ急ニ衰ヘテ殆ント無風トナリ曇天ニ變セリ晴雨計三〇、一〇乃至三〇、二〇日差〇、〇五内外ニシテ寒暖計五十度乃至五十五度ナリ本艦ホートンシ碇泊中ホバートハ非常ノ惡天ナリシト云フ

潮流及海流

バス海峡ニ於テ輕キ東流ヲ感シタルノミ蓋シ潮流ナルヘシ

ホバート

ホバートハ去ル明治十五年我軍艦龍驤寄港シタル以來二十年ニシテ昨年比叡金剛ノ二艦寄港シ續テ本年練習艦隊入港シタル者ナリタスマニアハ元ト農業ノ地ニシテ商工業上ノ關係少ナキカ爲メ漸次衰微ノ兆アリ港内モ亦何トナク淋シク物價ノ如キハ果實及野菜類ヲ除キテハ非常ニ高價ナルノミナラス濠洲ニ於ケル避暑地トシテ人情モ亦輕薄ナリ

デルウイント河ノ流勢

流勢頗ル強ク二湮乃至四湮ニ達ス

禮砲

クインス砲臺ニ於テ施行ス

交通

歐洲ニハP.O汽船會社線及「オーレント」會社線ノ汽船二週間ニ一回トール

ス海峽經由ノモノハ四週間ニ一回「アルビオン」會社線及新西蘭「シツピング」會社線モ又其航海毎ニ寄港ス

メルボルン及シドニーへハ每週一回定期汽船ノ往復アリ尙シドニーへハ十日毎ニ一回「ハツダーバーカー」會社汽船「メルボルン」へハ二週間ニ一回濠洲共同汽船航海會社汽船ノ交通アリ  
鐵道ハ北方ランセストンヨリタスマニアノ北岸ニ出テホバート及ランセストンヨリハ多數ノ枝線敷設セラル

郵便電信

郵便ハメルボルン及シドニーヲ經由シテ東西南北ニ遞送ス

電信ハ世界ノ各地ニ通ス其料金左ノ如シ

濠洲内ハ最初ノ三語一志一片半其以上十六語迄ハ一語ニ付キ半片ヲ増シ十六語以上ハ一語ニ付キ一片半ヲ加フ

但電報ハ凡テ名宛ヲモ科料シ至急電報料ハ二倍トス

本邦へハ

一語ニ付キ

四志三片

香港へハ

同

四志一片

倫敦へハ

同

三志

新嘉坡へハ

同

四志四片

報時信號

マルグレーブ砲臺信號所ノ旗竿ニ於テ地方標準時(綠威平時ノ十四時零分零秒)ノ午後零時五十分ニ報時球ヲ半揚シ同五十五分ニ全揚シ同一時ホバート天文臺ヨリ落下セシメ同時ニクインズ砲臺ヨリ號砲ヲ發ス若シ信號ヲ誤リタルトキハ旗竿頭ニ一時間白旗ヲ揚ク

淡水

水質善良ナル水道鐵管ヨリ多量ノ供給ヲナシ得ヘシト雖供給方法甚備ハラス從テ多量ノ水ヲ一時ニ得ントスルハ困難ナリ

港則拔萃

港内ニテハ汽笛ヲ鳴スヘカラス若シ衝突豫防規則ニ依リ必要ナルトキハ短聲ヲ以テスヘシ

信號旗及信號法

船舶ヲ發見シタルトキハ東方ナレハ(28)旗ヲ、ミツド、チヤンテルナレハ(29)旗ヲ、檣頭ニ揚ク、リヅヲ識別スルニ至レハ旗ヲ撤シテ球ヲ桁ニ揚ク

右第一 (市街ヨリ見テ) 「バーク」

右第二 同 「ブリッヅ」

左第三 同 「パイクンタイン」  
「フリケンタイン」  
「トツプスルスクリーナー」  
「ハ赤黒目塗」  
「フオール、エンド、アフト、スクリーナー」  
「ハ黒球」

左第四 同 汽船

其出帆地ヲ識別スルニ至レハ球ヲ卸シテ前記ノ區別旗ヲ揚ク

同「リヅ」ノ船同方向ヨリ二艘以上入港スルトキハ赤條アル白旗ヲ以上ノ旗ノ下ニ連揚ス

ロー、ヘッドニ於テメルボルンヨリ入港ノ船舶アルヲ發見シタルトキハ赤

旗シドニーヨリナルトキハ青旗アデレードヨリナルトキハ赤白縦線ノ旗ヲ揚ク

自ホバート至シドニー

航路

六月二日午前八時出港タスマン半島ヲ回リビラー岬ノ東四哩ノ地ヨリシユーテン島ソネラツト岬ノ東方九哩ノ地ヲ經ガボ燈臺ノ東方五哩ノ地ニ向ヒ夫レヨリバーベンデキユラー頭ノ外方十三哩バンクス岬ノ東イ南七哩ノ地ヲ經六月五日デヤクソン港ニ進入シ正午軍艦錨地第六番浮標ニ繫留セリ

思フニ濠洲東岸南部ニ於テハ南西海流アリテ百尋界線附近最モ強キカ故ニ北行スルモノハ須ラク陸岸ニ密接シテ「カウンター、カーレント」ヲ應用スヘキモノナラン

風候及天候

自ホバート至シドニー

出港及入港當日ノ晴天ヲ除キテハ凡テ曇天ニシテ北乃至西ノ風其力二乃至三連吹シ氣温五十五度ヨリ六十五度ニ至リ晴雨計三〇、一五乃至二九、七九ナリ

### 海流

バーベンデキユラー頭ニ至ル迄ハ殆ント海流ナク僅ニ西方ニ偏流シタルノミ然レトモ該岬附近ヨリハ甚シク東南方ニ偏流セラレタルヲ驗セリ蓋シ該岬附近ハ最モ流勢強クシテ海流ノ弱キ此季節ニ於テモ大約一哩乃至一哩半ノ南流アルモノナラン

### 禮砲

マクオリ砲臺ニ於テ施行ス

### 芥船

一般ノ芥船ヲ借リタルニ毎朝午前八時ヨリ午後五時迄ノ間三艦ヲ回リ(曳船ニテ曳キ)賃金一日二磅十志ヲ支拂ヘリ

### 汽艇給水

汽艇ハガーデン島石炭庫ノ傍ナル水管ヨリ給水セリ

### 石炭

載炭力甚タ少ナリ蓋シシドニーハ濠洲中最モ載炭人夫我儘ニシテ不都合ノ場所ナリト云フ

### 閱兵式

聯邦總督ラニンソン氏ノ閱兵式アリ我艦隊ヨリモ武裝陸戰隊一大隊ヲ出セリ

### 自シドニー至タウンズビル

#### 航路

此行木曜島ニ到ルマテ橋立松島ノ二艦ハ水先人ヲ乗組セシモ本艦ハ殿艦ナル故水先人ノ必要ヲ感セス故ニ之ヲ乗艦セシメサリキ

六月十四日午前九時出港灣口ヲ出テシユガローフ角燈臺ノ外方六哩ノ地

ニ至リクローデ頭燈臺ノ外方五湮タツキンダ角燈臺ノ外方三湮スモ一キ  
岬燈臺ノ外方三湮半ノ地ヲ經テ南ソリタリ一燈臺外方一湮ノ地ニ出テ北  
ソリタリ一ノ外方一湮ヲ航シリチモンド河北頭ノ東方一湮半ノ地ヨリバ  
イロン岬ノ東方一湮半ノ地ニ出テフインガ一ノ東方五湮半ノ地ヲ過キ  
ルツクアウト角ノ外方四湮ノ地ヲ經モルトン岬ノ東方四湮ノ地ニ達シイ  
ンデアン頭ノ外方三湮半ノ地ヨリサンデー岬燈臺ノ北二五度東二十二湮  
ノ地ニ航シカブリコルン水道ニ向ヒ北礁燈臺ノ外方八湮ノ地ヲ過キ高峯  
島ノ外方ナル二十呎岩ノ外方一湮ヲ經バルシ一列島ノ東方ヨリバイ  
ンピーク島ノ南方及西方ヲ過キシントピー島ノ南西方ヨリハンマー島ノ南  
西方ヲ回リ長堆ノ東方ヨリホウイツトサンデー通路ヲ出テダブルコン島  
ノ東方ヨリエシルビー島ノ北東一湮ノ地ヲ過キパウリンダグリーン岬  
ノ外方六湮ヲ周リ六月二十日黎明クリーブランド灣ニ入り午前八時投錨  
ス

カツスル、ヒルノ北三四度東六湮三鍵ノ地  
六月二十四日本艦ハカツスル、ヒルノ北三  
五度東四湮七鍵ノ地ニ錨地ヲ變セリ

橋立乗組水先人ノ言ニ依レハカブリコルン水道北礁燈臺ノ北西方ナル千  
八百八十六年發見破浪岩ハ屢其附近ヲ通行セシモ一回モ見シコトナシト  
云フ

### 風候

南ソリタリ一ニ至ル迄西南西乃至南々東風力二乃至四其後風向漸時左轉  
シ風力又衰ヘ殆ント無風トナリシカバイロン岬附近ヨリ北西風起リイ  
ンデアン頭附近ニ至ル迄風向西北西乃至北々西風力一乃至二ニシテ該頭通  
過後ハ南々東風力二乃至三ノ風速吹セリ蓋シサンデー岬附近ヨリ南東賢  
易風域ニ入リシナリ

### 天候

天候概ネ晴ニシテ十八日午後及十九日晝間ニ於テ數回驟雨ノ來襲アリシ

ノミ晴雨計二九、九三乃至三〇、一四日差〇、一〇乃至〇、〇六ニシテ寒暖計六十度乃至七十八度ナリ

### 海流

濠洲東岸ノ海流ハ此季節ニ於テ最弱キヲ以テ殆ント海流ヲ感セス然レトモバイロン岬ヨリルック、アウト角ニ至ル間ハ海流甚強ク約二哩半ノ南流ニ會セリサンデー岬ヲ超ヘ南東貿易風ニ入ルヤ其勢力ノ爲メ大約一哩ノ北西面流ヲ感シ潮流ノ順逆ニ關セス常ニ航行ヲ早メタリ

### タウンズビル

築港内ハ本年三月初旬暴風ノ際著シク水深ヲ減シタルノミナラス港内ニ進入スヘキ水道ノ水深少ナルカ故ニ港内ニ碇泊シ得ヘキ船舶モ高潮時ニ非サレハ出入スルコトヲ得ス

碇泊中南東風連吹シ其力時ニ強弱アリ三内外ヨリ殆ント無風ノコトアリト雖概シテ浪濤高ク舷側ヲ打チ舟艇ノ接着困難ヲ感スルコト多ク且ツ陸

岸トノ距離遠キカ故ニ風潮ノ逆ナル時機ニ於テハ其交通極メテ困難ナリ此ニ於テカ松島橋立ハ載炭ノ目的ヲ果ス能ハス漸ク淡水ノミヲ搭載シバーム島チャレンヂヤ一灣ニテ石炭ヲ搭載セリ獨リ本艦ハ外人招待ノ爲メ殘留セシカ幸ニ平穩ノ日ヲ得テ載炭スルヲ得タリ

### 禮砲

當地ハ禮砲セサル地ニ編入セラレタル由ニテ我艦隊ヨリ前年ノ例ニヨリ國旗ニ對シ禮砲セシニ彼レ答砲セス政府ニ照會シタル後漸ク答砲セリ今後ハ禮砲ヲ要セサルナリ

### 淡水

「バーンス、ヒリツプ」會社ヨリ供給セシメシニ多量ノ淡水ヲ供給スルノ力アリ

### 石炭

是レ又「バーンス、ヒリツプ」會社ヨリ供給セシメタリ此地ニ三隻ノ石炭船アリ



リ皆長大ナル古船ニシテ約千噸ヲ容ル、ニ足ル此石炭船ヲ艦側ニ横附シテ載炭セリ

糧食 汽船ニテ毎日正午過キ持來レリ

兵員上陸

糧食又ハ淡水供給ノ汽艇ヲ借り上陸セシメシニ一回往復五磅ヲ支拂ヘリ當時タウンズビルハ本春颶風ノ爲メ非常ノ慘害ヲ受ケタル後ニシテ商況不振從テ諸物價高騰シ萬事金錢ヲ食ルノ風アリキ

電信

本邦ヘノ電報料一語ニ付五志七片

自タウンズビル至木曜島

航路

六月二十七日午前十時出港バーム島チャレンヂャー灣ニ向ヒスチーマー

通路ヲ經テ午後二時投錨ス

錨位 クラコア島頂(九七二) 北イ西  
タウンズビル トレー頂 東イ南

同日午後十一時三十分艦隊出港フアントム島ノ南方ヨリオルフェウス島ノ西方ヲ航シブルック群島ノ東方六哩ノ地ニ至リ北バーナード島燈臺ノ東方三哩半ノ地ヲ經ノーマンビー島ノ西方及ハイ島ノ東方ヲ過キファイツロイ島ト大陸ノ間ヲ通航ス此間風向南東風力三乃至四夫レヨリロー列島燈臺ニ向ヒ同燈臺ノ南東七哩半ノ地ヨリトレビユレーション岬ノ外方一哩ノ地ヲ經エー礁ノ西方ニ向フ此間風向正南ヨリ漸次南東ニ移リ風力又次第ニ増加シ満天暗黒ニシテ降雨加ハリ二十八日午後九時五十五分アーチャール角燈臺ヲ去ル殆ント十五六哩ノ距離ニ於テ之ヲ認メタルモ陰雨ノ爲メ直ニ之ヲ失シ前進頗ル困難ナリ(此時風力五乃至ウエリー灣ノ北方南緯十五度四十九分二十秒ニ假泊セリ)

自タウンズビル至木曜島

二十九日午前五時半假泊地ヲ發シ海圖所載ノ航路ニ依リロツキ島ノ東  
方ニ至リ右折シテシ一礁立標ノ東方一湮一鏈ノ地ニ出テ(エー)礁上ニ二個  
ノ立標アリ其南標ハシ一礁立標ノ北四〇度東四湮五鏈ニアリ北標ハ南標  
ノ北方約五鏈ニアリト畧測セリ更ニ左折シテペワドフオード岬ノ東方一  
ズ湮ノ地ヨリ三島トツイデツト島ノ間ヲ過キ海圖所載ノ雙點線航路ニ從  
ヒタートルグループ南方ノ航路ヲ探リアール礁ノ北方ニ出テ海圖所載ノ  
如ク航進シ夕暮ヨリ半速トナシ午後八時ビツボン島燈臺ノ南方ヲ過キ十  
時四十分フリンダー群島フリンダー岩ノ北西三分二湮ノ地ヨリ南五八  
度西ノ針路ニ進ミクリフ島(七六呎)ノ北端ヨリ南八二度十湮ノ地ニ至リ該  
島北端ニ向航シ距離三 $\frac{2}{3}$ 湮ノ所ニ至リ黎明パーキツト島ノ西方一湮半ノ  
地ニ達シ海圖所載ノ航路ニ準ヒ航行スバウ礁ニ至ル迄風向南東乃至南々  
東風力二乃至三以後アイ礁ノ北西ニ至ル迄風向正東風力二ナリ  
三十日午後六時アイ礁ノ西方ニ至リヤング岩東方航路ニ依リ午後八時ク

ラーク島ノ東方ヲ回リハンニバル島トツイ礁ノ中間ニ向ヒ同夜十一時ツ  
イ礁ノ南方四湮(南緯十一度四十分 東經百四十三度十三分)ニ假泊ス  
七月一日午前六時出港ハンニバル島ノ北東一湮一鏈ノ地ニ至リ北二六度  
西ニ航スルコト八湮半ニシテギルモア岩ノ東方三 $\frac{2}{3}$ 湮ノ地ニ向航シ夫レ  
ヨリテルン島ノ東方二湮半ノ地ヲ過キゼツト礁西方ナル四尋灘ノ西方ヨ  
リアルバニー岩ノ東方及北方ヲ回リミツドル岩ノ南ヲ過キアルフワ岩ノ  
南方ヲ航シボールン岩ノ北東方ニ於テ海圖所載ノ航路ニ入りブレンス、オ  
ブ、ウ、エールス水道ヲ航過シハリソン岩浮標ノ南方ヨリグート島ノ南西方  
ナル浮標ヲ回リノルマンビー、サウソドニ入り金曜島ノ東方ナル檢疫錨地  
ニ投錨ス此間風向常ニ南東ニシテ風力三ナリ  
思フニ此航路ハ水先人ヲ雇ハスシテ少シク速力ヲ早メ晝間ノミ航行スル  
ヲ上策ナリトス何トナレハ晝間ニ於テハ水先人ナキモ航行容易ナルノミ  
ナラス例令水先人アルモ風雨強烈ナル時、暗陰ナル夜間等ニ於テハ投錨ス

ルコト勿論ニシテ假リニ清明ナル夜間ノミニテ航行ヲ連続スルモ時日ニ於テ僅ニ一日ヲ短縮スルニ過キスシテ其間低キ險礁ノ上ニ短小ナル立標ヲ探見セサルヘカラサルカ故ニ其危險蓋シ鮮少ニアラサルヲ以テナリ且ツ水先人ハ其技倆ヲ示サントシテ往々危險ヲ犯スヲ憚ラス特ニ各艦別々ニ水先人ヲ乗セタルトキニ於テ然リトス

海流

當時南東貿易風ノ盛季ニシテ之カ爲メ北西ノ面流ヲ生シツ、アリ潮ノ漲落ニ依リ其力ヲ増減スト雖概ネ艦速ヲ増大シ大ニ航行ヲ早メタリ

潮流

トールス海峡ニ至ル迄其力大ナラスト雖アドルフアス水道ヨリ其力遞ニ増大シ該水道ヨリ木曜島附近一帶ノ流勢ハ實ニ強大ニシテ艦位ヲ偏移スルコト甚シク到底夜間ノ航行ヲ企ツヘカラサルモノト思考セラル

天候

出港以來南東貿易風ニ送ラレ天候曇リ勝チニシテ沾霧濃密山影遠見シ難ク時ニ降雨サヘ至リ漸ク二十九日午後ニ至リ稍晴快トナレリ晴雨計ハ三〇、一一乃至二九、八〇日差〇、一一乃至〇、〇六ニシテ北上スルニ從ヒ漸次下降セリ氣温七十三度乃至八十度ナリキ

木曜島

錨地及潮

本艦ハ橋立ト共ニ金曜島ノ東方檢疫錨地ニ於テ

カナイ島 北八八度西  
ヘルス角 南五八度三〇分東

ノ地ニ投錨セリ此錨地ハ狹隘ナルノミナラス岩底ニシテ潮流甚強ク朔望ニ於テハ十漚ニ及フト云フ碇泊當時上弦ナリシモ尙四漚半ノ流勢ヲ驗セリ  
漲潮流即チ西流ハ當時南東貿易風ニ助ケラレ其勢強クシテ且ツ長ク落潮

流ハ之ニ反シテ弱クシテ短シ當時漲潮流大約八時間半落潮流大約三時間半ニシテ憩潮時間殆ト無ク潮時ハ到底計算ニヨリテ得難キモ計算セル高潮時ニ大約三時乃至四時ヲ加フルトキハ漲潮流ノ落潮流ニ變換スル時刻ヲ得ルモノ、如シ思フニ金曜島ノ北西方ナルノルマンビーサウンド錨地最モ大船ノ滯泊ニ便ナルヘシ  
橋立ハ投錨ノ際錨ノ「アーム」破損シ他錨ヲ投シタリ  
英國測量艦「トルチ」在泊シ居レリ

電信  
本邦ヘノ電報料一語ニ付四志三片

自木曜島至アムボイナ

航路

七月五日午後二時出港グリーン丘トブラック岩ノ北端トヲ一線ニ見テブ  
一ビ島ノ北方ニ至リブラッドフート、シヨールノ南方ニ向航シ同燈船ヲ二

哩距テ航過スルコト十三哩ノ後南緯八度三十七分東經百三十五度四十九分ノ地ニ直向シ夫レヨリ更ニマノ島ノ北方ヲ通シアムボン島、スサニ、パ岬ノ南々西六哩ニ直航シ七月十日午後三時アムボイナニ投錨ス

錨位 砲臺棧橋端燈竿 正東 南七五度東

水深三十三尋底質泥

風候

風ハ終始南東貿易風連吹シ其力初メ三乃至四ナリシカ南緯六度附近ヨリ漸次減シテ一乃至二トナレリ

天候

天候概ネ曇ニシテ驟雨時々來襲シアムボイナニ近ツクニ從ヒ益々甚シ晴雨計二九、九〇乃至二九、七五氣温八十六度乃至七十九度ナリ  
海流ハ次ノ如ク検測セリ

位	置	時	日	方	向	流	程
南緯九度四十九分		七月五日午後七時三十分	六日	東	北	東	十
東經百三十九度十八分			正午	北	東	九	十
南緯八度四十八分			七日	西	北	八	十
東經百三十六度二十分			正午	北	東	八	十
南緯七度三十二分			八日	南	東	八	十
東經百三十三度三十二分			正午	東	北	八	十
南緯五度四十八分			九日	南	西	五	八
東經百三十度四十八分			正午	西	南	五	八
南緯三度五十八分			十日	南	西	五	八
東經百二十八度七十分			正午	西	南	五	八

七十四

アマボイナ

新棧橋

「バグット」會社ハ英版海圖二六一一號ニ記シアル舊砲臺市街ノ南端ヨリ海中ニ築出シタルモノノ端ヨリ棧橋ヲ建設シ其外端水深十五尋餘ニシテ船ヲ繫留スルニ足ル其位置左ノ如シ

該棧橋ノ外端中央ヨリ 石炭庫棧橋基點 南五二度西 距離七鏈半  
ワイアマミ河北方山頂(獨立樹アリ)北五〇度三〇分西

禮砲

本地知事ヨリ何故國旗ニ對スル禮砲ヲ行ハサルヤノ照會アリ依テ答フルニ本國ヨリ通知アリタル旨ヲ以テス彼レ即チ諾ス知事ニシテ之ヲ知ラストハ頗ル怪事ナリト云フヘシ

郵便電信

電信ハ未タ開通セス(郵便局長ノ談ニヨレハ凡二年ノ後ニハマツカツサヨリ海底電線ヲ布設スヘント云フ)ハマツカツサヨリ郵船ニテ遞送ス郵便局ハ港務部内ニアリ

交通

和蘭東印度汽船會社出張所アリ同會社ノ定期汽船ノ出入左ノ如シ  
バタビヤ、バンダ間(スーラバヤ、マツカツサ、アマボイナ經由)

アマボイナ

七十五

マツカツサーヨリアムボイナヲ經テニユーギニア諸港へ往復  
毎月一回往復

新嘉坡タルネート間(スーラバヤ、マツカツサー、アムボイナ經由)  
毎二箇月一回

淡水  
新棧橋及政府用棧橋トモ水道鐵管ヲ導キアレトモ政府用棧橋ノモノハ政  
府ノ特許ヲ得サレハ使用スルヲ得ス若シ其許可ヲ得タルトキハ無料ニテ  
隨意給水スルコトヲ得

水船ハ僅ニ三噸ノ水罐二個ヲ有スルモノ一隻アルノミ故ニ各艦共端舟ヲ  
使用シテ運搬セリ水管ノ給水力ハ約十分間ニ一噸ナリ

石炭  
海圖記載ノ石炭庫ニ濠洲炭及日本炭ヲ貯藏シアルコト約七千噸ナリト稱

本邦人  
一探貝業者アリ自家ノ漁船及本邦漁夫ヲ使用シセレベス附近ニ於テ探貝  
セントス  
當地支那人多ク商業ノ大部ハ彼等ノ手中ニ在リ

港務部  
土人ノ港務長ニシテ土人ノ水先人アルモノ、如シ

内港  
二三ノ鍾測ヲ試ミシニ其入口及内部トモ海圖ト差違ナキモノト認ム  
内港ハ實ニ天然ノ良港ニシテ四面山ヲ周ラシ風波全ク靜平ナリ  
附近ノ土人ハ吾人ニ同情ヲ表シ或ハ蘭國旗ヲ撤シテ旭日旗ヲ揚クルヲ欲

アムボイナ

七十七

スル旨ヲ言フモノアリ

自アムボイナ至イサベラ

航路

七月十三日午前六時出港アラン角ノ南方ヨリブーロ海峡ヲ經バンカ、パツ  
 セージヲ通過シバシラン海峡北方水道ニ直進セシニバンカ、パツセージ航  
 過後松島機關故障アリ依テ速力ヲ緩メ徐行セシモバシラン海峡航過困難  
 ナルヲ以テ十七日午後三時途ニ該海峡東口ナルマラニバ島東側ニ假泊シ  
 翌十八日午前七時本艦ハバシラン海峡北方水道ヲ經テ同日午後一時イサ  
 ベラ、ロードニ投錨シ松島ノ來着ヲ待テリ

バンカ、パツセージハ夜間通行セルニセレベス東岸及バンカ島ハ初航者ニ  
 在テハ容易ニ明識シ難シト雖ピアロ島ノ千二百四十五呎山ノミハ極メテ  
 顯著ナル尖峯ニシテ遠距離ヨリ認ムルコトヲ得タリ

バシラン島東端マタナル山ハ薩摩ノ開聞岳ニ似タル頗ル顯著ナル高峯ニ

シテ當時濃氣地平ニ充塞セシモ本艦ハ第一ニ此山ヲ認メタリ  
 マラニバ島ハ僅少ノ人家ヲ有シ樹木繁茂ス其東方錨地ハ推薦スヘキ泊地  
 ニアラヌ

本艦ノ碇泊位置左ノ如シ

錨位  
 マラニバ島頂 西ノ南  
 タルナルタン島 北二三度東 水深十三尋底質泥

風候及天候

ブーロ海峡ヨリバンカ、パツセージヲ過キ北緯四度附近ニ至ル迄風向正南  
 乃至南東(南東風)ニシテ風力一乃至二ナリシカ其後漸次衰へ途ニ北西ノ變  
 向至輕風トナリ天候概ネ半晴ニシテ晴雨計二九七六乃至二九八六寒暖計  
 八十九度乃至八十一度驟雨屢々來リ地平又沾霧多ク山影ノ發見及天測ニ  
 困難ヲ感シタリ

海流及潮流

自アムボイナ至イサベラ

モルツカ、バツセージニ在リテハ弱キ偏西流ニ會シバンカ、バツセージノ南方ヨリ該バツセージヲ過キ數時間ノ間偏東流ニ會セリ依テ海流圖等ニ示スカ如クセレベス海ハ偏東流ニ會スヘシト想像セシニ事實ハ全ク豫想ニ反シ稍強キ偏西流(西方ニ七八哩)ヲ感受シマラニバ島錨地ニ至ル迄遂ニ偏東流ニ會セサリキ蓋シバシラン海峽ハ當時漲潮ナリシヲ以テ該海峽附近ハ右漲潮流ノ爲メ西方ニ偏移セラレシナラン

アムボイナ港口アラン角トワカシフ角トノ間ニテ陸岸ヨリ約二哩ノ外方ニ於テ劇シキ激湍ヲ見タリブロー海峽モ又激湍アリバシラン海峽ノ潮時ハ水路誌記載ノ通り改正精算セシモ實際ト符合セス流勢或ハ高潮時ト同時ニ變化セサルニ依ルナラント思考ス

イサベラ

素ト西班牙ノ要港タリシモノニシテ現今米國又之ニ多少ノ設備ヲナシ以テ當地方ノ要港トナサントスルモノ、如シ然レトモ現時ハ僅々九十六人

ノ海兵ヲ駐在セシムルノミニテ一モ防備ノ施セルナシ舊砲臺ハ駐在隊指揮官當時ノ指揮官ハ海兵大尉ナリノ住所トナリ舊海軍營所ハ海兵駐屯所トナリ水上ニ建設セル病院ハ今尙現存ス

錨地

本艦ハイサベラ、ロードニ投錨セリ其位置左ノ如シ

マラムイ島頂

北四三度東

ランビニガン島頂

南七六度西

イサベラ港内ハ稍狹隘ナレトモ水深適度ニシテ錨搔善ク潮流四節ノ強キニ及フコトアリト雖能ク四方ノ風ヲ遮リ一ノ良要港タルニ足ル當時米國測量砲艦「アルベ」在泊シ居レリ

石炭

海兵駐在所ノ對岸マラムイ島ニ石炭庫アリ約二千噸ヲ貯ヘ得可シ當時米國炭無烟炭ナリト云フ及濠洲炭ヲ貯藏スト云フ米國官憲ニ依頼スルトキ

イサベラ



ハ一噸二十餘圓ニテ米國炭ヲ讓リ受ケ得ヘシト聞ク  
炭庫ヨリ一ノ短キ棧橋突出ス小艦ハ之ニ横附シテ載炭シ得ヘシ大艦ハ碇  
泊ノ儘載炭シ得ルモ其設備ハ未タ備ハラヌ

淡水

パシヤン河ヲ上ルコト少許舊砲臺ノ直下ニ於テ其右岸ニ貯水所アリ官有  
ニシテ二十餘噸ヲ貯フルニ足ル其水源ハ背後ノ山間ヨリ水管ニテ導クモ  
ノニシテ多量ノ水ヲ供給シ得可シ然レトモ水船ノ備ナク只一隻ノ小水船  
アリテ官用ヲ充タスノミ  
本艦ハ米國官憲ノ許可ヲ得端舟ヲ使用シ汲水セシニ其業甚タ容易ニシテ  
端舟ハ貯水所ノ直側ニ横附シ短小ナル「ホーヅ」ヲ以テ迅速ニ積入ル、コト  
ヲ得タリ

供給品

甚稀ナリ僅ニ鶏及少量ノ野菜ヲ得タルノミ從テ海兵等ノ糧食ハ毎日一汽

艇ヲサムボアングニ往復セシメ該地ヨリ購買スト云フ官憲ニ依頼スルト  
キハ該艇ニ便乗スルコトヲ得可ク又該艇ヲ借入ル、コトヲモ得ヘシ  
別紙附圖第四ハ當時在泊中ナリシ米國測量艦ヨリ得タルモノニシテ立標  
ノ位置其他見聞セルモノヲ附記セリ以テ港内ノ景況ヲ知ルヲ得可シ

電信

此地電信ナシ少シク以前ニハサムボアングト電話ヲ通セシ由ナレトモ、  
シラン海峡海底ニ布設セル電線ハ破綻シ易ク現時之ヲ引上ケタリト云フ  
サムボアングニハ陸軍用電信アリ馬尼刺ニ通ス本艦ハ右軍用電信ニ依頼  
シ諸種ノ電報ヲナセリ

氣候

此地海陸兩風輕吹シ馬尼刺ニ比スレハ遙ニ清涼ニシテ健康ニ適スト云フ  
本艦滯泊中ハ晴天ニシテ風波ナク時ニ驟雨一過シテ涼風爽然タリ  
サムボアングハ陸軍根據地ニシテ陸軍少將之カ指揮官タリ該地ニ於テ濠

洲炭一噸約二十五圓及糧食ヲ得可シト雖淡水ハ其質惡シク飲用ニ適セス  
ト云フ

自イサベラ至カビテ

### 航路

七月二十日午後三時出港ミンダナオ島カランダラ角ノ西方五湮ノ地ヨリバ  
ネー島バニユアン角ノ西方六湮ノ地ニ向航シ夫レヨリバツトバタン島ノ  
西方ヲ過キ海圖所載ノ航路ニ準ヒミンドロ島ノ東方ヲ航シバード島北方  
水道ヲ經テマリカパン島ノ南方ヲ過キサンチアゴ岬ヲ周リフオルチエン  
島ノ東方ヨリカバロ島ノ南ニ至リ二十三日午前八時カビテニ投錨ス

錨位 サングレール角燈臺ノ北八〇度東五五鏈ノ地

### 風候及天候

風ハ偏北ノ輕風連吹シ天候概テ曇ニシテ地平沾霧多ク空間ノ何レニカ絶  
ヘス驟雨電雷アリ空中電波ハ常ニ無線電信機ニ感セリ晴雨計二九八三乃

至二九七〇寒暖計八十七度乃至八十二度ナリ

### 海流及潮流

海流ノ影響殆ントナシ

バード島海峽ノ高潮時ハ馬尼刺ニ同シトノ記事ニ依リ算出シ落潮ノ末期  
ニ於テ通航セシニ差シタル相違ナキモノ、如ク殆ント潮流ヲ感セサリキ  
カビテ

當時馬尼刺ハ流行病盛ナリトノコトニテカビテニ碇泊セシカ幸ヒ馬尼刺  
ノ惡疫モ少カリシヲ以テ糧食炭水トモ馬尼刺ヨリ購求セリ但飲料水ハカ  
ビテヨリ供給セシメタリ

### 禮砲

國旗ニ對スル禮砲ニハ米國旗艦レンホー答砲セリ

### 交通

鐵道ノ交通ナシ汽船ハ毎日四回馬尼刺ニ往復シ別ニ港務部ヨリ毎日二回

官用汽船ノ往來アリ

自カビテ至オロンガボ

七月二十七日午前四時カビテ出港仁川ニ向フ然ルニ前日(二十六日)來天候陰曇ニシテ不穩ノ兆アリシカ午後六時ニ至リ警報アリ呂宋島北西部ニ低氣壓アリ益々降下ス故ニ警報信號第二ヲ揚クト依テ萬一天候惡兆ヲ示サハスビク港内ニ避難スヘキ豫定ヲ以テ出港セシニ出港スルヤ忽チニシテ滿天尙黒トナリ風ハ南西ノ輕風ナリシモ隨風大風屢襲來シ往々咫尺ヲ辨セス晴雨計ハ前數日ト大差ナシ(微少ノ上昇アリ)ト雖前程甚不安ナルヲ以テ遂ニスビク灣ニ入り同日正午オロンガボ港ニ投錨ス

錨

位  
ベクエナ島ノ南端トカラ克蘭角ト一線  
リベラ角トヲラキユ(百四十八呎山)ト一線

オロンガボ港

少シク狹隘ナルヤノ嫌ヒアリト雖全ク風波ヲ遮リ水深適度ニシテ實ニ天

然ノ良港タリ米國海軍此處ニ軍港ヲ置カントス蓋シ故アルナリ當時米國海兵一大隊四百八十人此地ニ駐屯シカビテノ海軍長官ノ令下ニ屬ス木造砲艦一隻アリテ毎週二回カビテニ往復シ以テ郵便及糧食等ヲ辨ス  
浮標及立標ハ海軍海圖五二一號ノ如シト雖マヤンガ島南東方ニ在リシ浮標ハ再ヒ設置セラレタルモノ、如ク存在セリ  
港口グラント島上ノ燈臺ハ樹間ニ設置セラレアルヲ以テ頗ル識別シ難シ内港ハ極メテ安全ニシテ本艦碇泊所ニ比シ風波更ニ靜平ナリ從テ米國砲艦ハ常ニ内港ニ入り其棧橋ニ接着ス内港内ニ一隻ノ古キ沈船アリ船體高ク水面ニ出ツ

電信

馬尼刺ニ通スル軍用電信アリト雖電柱ノ短小不完全ナルト林間ノ樹木ヲ電柱ニ應用シアル等ノ爲メ屢々風雨ノ爲メ切斷セラレ不通トナルコトアリ

然ラナルモ中繼所多キ爲メ馬尼刺へ送信スルニ三時間ヲ要スルコトアリ  
ト云フ

入港當時電信不通(オロンガボスピク間不通)ナリシヲ以テ米國官用汽船ヲ  
借リスビクニ赴キ電報セリ一兩日後スピク間ノ電信通セシモ碇泊中二三  
回不通トナリシコトアリ

禮砲

答砲スルモノナシ故ニ施行セス

淡水及石炭

共ニ未タ艦船ニ供給スルノ設備ナシ

糧食

オロンガボ(土人ノ村落)ニテハ少量ノ鶏卵及野菜ヲ得ヘキノミ

碇泊中ノ天候

連日南西風恒吹シ其力二乃至五漂雨四寒時々驟風雨ヲ交へ斷雲急走シ天

空暗澹タリ馬尼刺ヨリ一回警報電報ヲ受領セリ曰ク低氣壓ハ太平洋ニ在  
リ漸次呂宋島東岸ニ向テ徐進ス恐ラクハ北緯十七度ト十八度ノ間ニ於テ  
呂宋島ヲ横過スルナラン風ハ南西ニシテ驟風雨強烈ナリ呂宋島ノ氣壓ハ  
降下スト

晴雨計ハ朝夕ノ昇降ヲナセシモ漸次下降シ三十日午後四時二九・五八ニ達  
シ夫レヨリ徐々上昇セリ二十九日及三十日ハ天候最モ惡シク驟風雨ノ回  
數甚多カリシヲ以テ三十一日及八月一日ニ於テハ海面ノ皮水淡薄トナリ  
雜用水ニ供スルニトヲ得タリ思フニ二十九日若シクハ三十日ニ於テ颶心  
呂宋島北部ヲ横斷セシナラン

八月一日ニ至リ風力稍衰へ晴雨計徐昇シ下層雲漸ク高ク時ニ一片ノ青空  
ヲ見ルコトアリ天候回復ノ兆アルヲ以テ翌二日出港ノ事トナレリ  
八月二日出港同十日仁川着同十五日出港同十七日馬山浦着同二十日出港  
同二十一日吳着同二十四日出港同二十七日橫須賀ニ歸着ス

發着航泊一覽表

地名	投錨	拔錨	航走時數	航行里程	碇泊時數
横須賀	月日時分 二、四、一、五三	月日時分 二、五、一、二五	日時分 九、四、〇	一八三	日時分 四、〇、一、九
香港	三、九、八、六	三、一、五、五八	七、三、二	一四五	五、二、五
新嘉坡	三、六、五、五〇	三、七、六、二二	一、八、五	二七六	〇、一、三
パンナカ海峽内	三、八、三、一六	三、三、八、三七	一、六、四	二七四	四、七、二
タンジョンプリオク	四、三、四、二	四、四、五、三五	二、五、五	五五	一、一、三
フリーマントル	四、七、九、七	四、九、八、二	二、三、五	四七	二、三、五
ガスコイン	四、二、二、〇、五	四、〇、一、〇、五八	七、五、四	二八三	八、二、三、四
フリーマントル	五、七、五、五	五、三、一、一、五	三、〇、五	五三	五、一、六、五
アデレード	五、六、〇、二、六	五、四、九、四、五	〇、四、五、四	三七	七、二、一、九
メルボルン					

發着航泊一覽表

ポートシー	五、四、二、三	五、三、四、五	二、五、一、四	四二	二、二、三、〇
ホバート	五、二、九、八、二、四	六、二、九、八、〇	三、三、三	六三	三、三、三、六
シドニー	六、五、四、一、三、三	六、四、四、九、五	五、三、三	一〇九	八、二、三、三
クワンズビル	六、二、〇、七、四、一	六、二、七、四、〇	〇、四、一、八	七	七、二、一、九
パチャーレンチャー島	六、二、七、二、三	六、二、七、二、三	〇、三、八	一七五	〇、九、一、七
ウエーアリー灣	六、六、一、〇、三、五	六、二、九、五、三、七	一、七、三、八	三三	〇、七、二
礁南方	六、三、〇、二、一、五	七、一、前、六、〇	〇、一、四、七	一〇四	〇、六、五、五
木曜島	七、一、後、六、一、六	七、五、後、一、五、八	五、二、五、七	九五	三、一、九、四
アマボイナ	七、二、〇、三、二、八	七、三、前、五、五、五	四、九、二、九	七五	二、四、二、七
マンラニン海峽	七、七、後、三、〇	七、八、前、七、〇	〇、五、五、六	三七	〇、〇、六、〇
イサベラ	七、八、後、〇、四、七	七、二、〇、後、三、二、五	二、六、二、九	五三	二、二、三、八
カピテ	七、三、前、七、七、四	七、七、前、三、五、六	〇、八、一、九	六	三、〇、〇、二
オロングガボ	七、七、後、〇、一、五	八、二、後、四、五、五	六、四、二、六	一四四	六、四、四、〇

地名	投	錨	航走時數	航行里程	碇泊時數
仁川入口南	八、九、七、四、三	八、〇、四、七、二	〇、八、五、四	七、六	〇、三、一、九
濟物浦	八、〇、四、二	八、五、一、〇、〇	一、三、六	三、三	四、一、八、〇
馬山浦	八、七、八、一、七	八、一、八、四、五、七	〇、二、〇	一、五	〇、一、〇、四、〇
鎮海	八、月十八日午前七時着	八、二、〇、三、五、二	〇、二、〇	一、五	一、五、〇、九
鎮海灣内大砲及水雷發射ノ爲航走セシ時間及里程			一、四、〇	一、五	
吳	八、二、一、六、八	八、四、一、八、〇、五	一、二、二、六	三、〇	二、三、四、七
三津ヶ濱	八、四、七、二	八、五、四、五、七	〇、八、七	三、六	〇、一、一、五、五
横須賀	八、二、七、八、一、九		二、三、三	四、八、八	
合計			八、八、四、四、九	一、七、〇、七	一、〇、一、一、〇、三、三

九十二

備考⊕ハ假泊ヲ示ス

碇泊地天候一覽表

碇泊地名	碇泊時日	平均氣壓	平均溫度	記	事
香港	自二月二十四日 至三月一日	三〇・二八	七	七	六
新嘉坡	自三月九日 至三月十五日	二九・八二	八・五	八	八
タンジョンアリガク	自三月十八日 至三月二十三日	二九・八四	八・五	八	八
フリーマントル	自三月廿三日 至三月廿九日	二九・九九	七	七	七
ガスコイン	自四月十七日 至四月十九日	二九・九二	七	七	七
アデレード	自五月十三日 至五月十七日	三〇・三三	五	五	五
メルボルン	自五月十六日 至五月二十四日	二九・八七	五	五	五
ホバート	自五月二十九日 至六月二日	三〇・三三	四	四	四
シドニー	自六月五日 至六月十四日	二九・八六	三	三	三
タウンズビル	自六月二十七日 至六月二十七日	三〇・〇八	七	七	七

碇泊地天候一覽表

九十三

天氣晴朗ニシテ北東風多シ  
 北東ノ弱風恒吹シ驟雨多カラズ海上静ナリ  
 早朝霧起ルコトアリシモ暫時ニシテ晴ル  
 偏西風連吹天陰驟雨展至シ  
 偏東風ノ時ハ天氣特ニ晴朗ニシ  
 降雨ナシ  
 偏西風ノ時ハ天氣好カラサル  
 例トス偏北風ノ時ハ特ニ惡シ  
 天氣晴朗ニシテ偏南風連吹ス  
 天氣晴朗ニシテ偏南風多シ然レトモ風力少シク加  
 ルトキハ波浪高シ  
 北乃至西ノ風連吹シ其力時ニ強弱アリ  
 天候曇リ勝チニシテ降雨時ニ至ル  
 天氣晴朗北西風多ク時々降雪アリ  
 天氣半晴ニシテ本艦入港前強西風約一  
 偏西ノ輕風多シ(週間猛吹セリト云フ)  
 天氣晴朗風候南東輕風最多シ

地名	数量	炭種	單價	平均溫度		記	事
				晝	夜		
木曜島	自七月一日至七月五日	二九六六	八二	八〇	南東風恒吹シ其力二乃至三天氣晴朗ナリ		
アマボイナ	自七月十三日至七月十八日	二九六〇	八三	八二	風少ク驟雨屢至リ清霧絶ヘス		
イサベラ	自七月二十日至七月二十三日	二九六三	八五	八二	北風多ク驟雨屢至ル		
カビテ	自七月二十七日至七月三十日	二九七二	八六	八五	天候陰曇驟雨屢至リ南西輕風最多シ		
オロンガボ	自八月二日至八月十五日	二九七〇	八五	八三	避難中ニ付キ本文ニ詳記セリ		
濟物浦	自八月十五日至八月二十七日	二九八四	八四	八〇	南四及北東風流行シ前者ハ強吹セリ 晴天少ク雨天及曇天多シ		
馬山浦及鎮海灣	自八月二十七日	二九八六	八四	八二	天氣晴朗ニシテ南西至輕風及無風ナリ		

搭載石炭一覽表

地名	数量	炭種	單價	炭性	搭載方法	供給者
新嘉坡	二二三	田川	二二七〇	同	右	同
フリーマン	五〇四	澳洲「ニュー、カッスル」炭及全「サウザン」炭	二九六六 二八〇	蒸發力強 發煙 稍薄 燃焼 容易	内地ニ同シ但ケツバル港ノ極橋又ハ泊地ニ於テ搭載スルコトヲ得本船ニ付約八九噸間一此港七隻ノ炭船アリ四隻ハ「アテレード」汽船會社ノモノニシテ三隻ハ「マカラン」會社ノモノナリ共ニ千噸以上ヲ時ノ之ヲ燃焼ニ接シテ使用シ約一〇キロ入レノ籠ヲ昇降シテ一時間約三十噸ヲ積込ム（輸入口一箇所ニ付キ）舷側ニ突出セル大砲ヲ按クテ要ス	「アテレード」汽船會社支店
シドニー	二四三 二〇八	澳洲「ペランビー」炭 新西蘭「ウエスト、ポート」炭	一四〇 三七〇	「ニュー、カッスル」炭ト大同小異 燃焼力稍強 粉炭ノ混入多 テ膠著チ生ス	運搬船ハ自ラ汽走シ來ルモノト二種アリ 搭載力一時約十噸 搭載方法「フリーマント」大砲ヲ按クテ要ス	「パインズ」ヒ 「リッブル」會社
メルボルン	二五一	「ニュー、カッスル」炭	二〇	前記「ニュー、カッスル」炭ノモノニ	フリーマント同シ 搭載力一時約十二噸許 大砲ヲ按クテ要ス	「マケラレー、エン ド、マカーカン」會社

搭載石炭一覽表

地名	数量	炭種	炭性質	炭搭載方法	炭供給者
カビテ	三五九店	汎	普通海軍用炭ニシテ但シ炭質多シ	約三十噸積ノ土人船多ク使用ス然レトモ其形長キニ過キニ後以上土人ハ皆トカス	三井物産會社支店
ルクウンスビ	一二〇噸	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
タクウンスビ	一二〇噸	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店

搭載淡水一覽表

地名	数量	炭種	炭性質	炭搭載方法	炭供給者
タンジョン	二二八	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
フリーマ	八二七	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
アテリード	一七三	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
メルホルン	一一六	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
ホバート	七〇	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
シドニー	四四六	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
タクウンス	二〇四	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
ナムボイ	二二三	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
イサベラ	一三〇	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店
カビテ	二二三	炭	右	大砲ヲ抜クヲ要ス	三井物産會社支店

搭載淡水一覽表

備考 單ニ水船ト稱スルハ唧筒ヲ備ヘス推進機ヲ有セサルヲ意味ス





地名	使用標準時	使用平時ノ經度
タンジヨンプリオク	東經百二十度(八時)ノ平時	東經七時七分三十二秒五
フリーマントル		
ガスコイン	同 右	東經百四十二度三十分(九時三十分)ノ平時
アデレード		
メルボルン	東經百五十度(十時)ノ平時	其地ノ經度
ホバート		
シドニー	東經百二十度(八時)ノ平時	其地ノ經度
タウンズビル		
木曜島	東經百二十度(八時)ノ平時	其地ノ經度
アムボイナ		
イサベラ	東經百二十度(八時)ノ平時	其地ノ經度
カビテ		

地名	受禮者	禮砲數	答砲者	記事
オロンガボ	英國々旗 大守ブレッキ	二二 一七	陸上海軍營所	
仁川	英國々旗 上村司令官	二二 一七	ロンニング砲臺	訪問ノ爲上陸ノ際カンニング砲臺ヨリ施行
馬山浦	英國々旗 大守スウエンラナム	二二 一七	ウエルコムスト砲臺	此地未タ禮砲及答砲ヲナスヘキ砲臺ナシ
鎮海灣	英國々旗 上村司令官	二二 一七	ラルグス砲臺	訪問ノ爲上陸ノ際ラルグス砲臺ヨリ施行

重ナル禮砲一覽表



附

錄

アルバニー

プリンセス、ローヤル港ハ四方陸ヲ周ラシ港口狹シト雖出入容易ナルノミナラス水深適度ニシテ港内多數ノ大船巨船ヲ容ル、ニ足リ實ニ濠洲有數ノ良港ナリ特ニ現時港内ヲ浚渫シ深水區域ヲ増大シ居ルヲ以テ其竣功ノ曉ニハ疑ヒモナク濠洲二三ノ良港トナルヘシ

浚渫區域

港口ハ七百呎ノ水道ニ擴張セラレ其水深三十呎以下ナル處ナク「タウン、ゼツチー」ニ赴クヘキ水道ハ其幅四百呎ニシテ水深二十三呎以下ノ處ナク「ゼツチー」ノ附近ハ其幅六百呎ナリ

港口ニ近キボツセツション角ノ北三〇度東約三鏈半ニアル三十呎堆ハ三十五呎ニ浚渫セラレタリ

其他港内ヲ浚渫シ大ニ錨地ヲ増大セリ

浚渫工事ハ大半出來シ東方區域ハ現時已ニ竣功シ居レリ西方半部ハ本年

中ニ竣功ノ豫定ナリト云フ  
棧橋及立標、燈光等

「タウン、ゼツチー」ノ橋端ハ少シク變更セラレ二個ノ紅光燈ハ棧橋ノ各側ニ一個宛設置セラレ外端ノモノハ北側ニアリテ内端ノモノハ南側ニアリ此二燈ヲ一線ニ見ルトキハ安全ニ「タウン、ゼツチー」ニ向進スルコトヲ得ヘシ「レール、ウエイ、ゼツチー」ハ當時「ジャーラー」樹ヲ用ヒ修理ヲナシ居レリ然レトモ船舶ノ接着ヲ妨ケス

港ノ南岸スチエツルツ、ヘツドヨリ長キ木造棧橋ヲ築出セリ  
港ノ東岸ナル檢疫所ヨリ長サ約百五十米突木造棧橋ヲ築出ヒリ港ノ北岸「コール、ゼツチー」ハ已ニ破損シテ全ク用ヲナサス

港口最東及最西ノ挂燈立標ハ新航路水道ノ兩側迄轉位セラレタリ  
針路法  
港口ノ二白色挂燈立標ヲ一線ニ見テ進航シ之ニ近ツキタルトキ紅色挂燈

立標ト白色挂燈立標トノ間ヲ通過シ港内ニ入ルヘシ淺瀬區域ハ當時種々ノ着色浮標ニ依リテ指表セラレ居レリ竣功後ハ更ニ方法ヲ設ケテ其區域ヲ明示スルナルヘシ

砲臺

アデレード山上ニ砲臺アリ禮砲及答砲ヲナス

石炭

當港ニ六隻ノ石炭船アリ三隻ハ「アデレード汽船會社」ノ所有ニシテ三隻ハ「マックレーズ、マカーカン」會社ノ所有ナリ共ニ合シテ約四五千噸ヲ常時「石炭ハ」ニユ一、カツスル炭ニシテ其價時ニ從ヒ多少ノ變化アリト雖大抵一噸二十五志乃至三十志ナリト云フ

載炭力ハ一時間大約二十五噸ニシテ至急ヲ要スルトキハ一時間五十噸ヲ積載シ得ヘシト云フ  
市民ノ期待スル處ニ依レハ港ノ北岸ニ於テ海岸ヲ去ル數哩ノ岡丘附近ニ

於テ石炭鑛ヲ發見シ得ヘキ望アリト云フ  
海軍石炭庫ハ未タ設立セラレス唯南岸ニ設置セラル、ノ設畫アリト云フ  
ノミ而シテ當時海軍ニ石炭ヲ供給スルモノハ、マツクレース、マカーカン會  
社ナリト云フ

淡水

「ダウソ、ゼツチー」及「レール、ウエイ、ゼツチー」ニハ水管ヲ導キ艦船ニ供給スル  
ニ便ス其供給力「ダウソ、ゼツチー」ニ在テハ一時間十二噸「レール、ウエイ、ゼツ  
チー」ニ在テハ一時間五噸トス蓋シ水管ノ敷設日久シク内部已ニ腐朽シ三  
時ノ水管實際一吋位ノ用ヲナスノミナルヲ以テナリ而シテ此等水管ノ本  
源ハメルビル山ノ背後及クラレンス山ノ北東方ニ在リト云フ  
右ノ外港ノ對岸フレンチ、マンズ灣トノ狭部ニ於テ淡水アリ水船ヲ以テ艦  
船ニ供給ス其供給力ハ六箇月間旱魃ノ後ト雖尙一日二百噸ヲ供給シ得ヘ  
シト云フ水船ハ三艘アリ各百五十噸ヲ容レ得ヘシ

價格「ゼツチー」ニ於テハ一噸二志半碇泊艦船ニ供給スルトキハ一噸三志三  
百噸未滿ノトキハ四志ナリト云フ

以上記載ノ水ハ良水ナリト稱スレトモ其色ヨリ察スルトキハ到底飲料ニ  
堪ヘサルカ如シ市民ハ水道ノ水ヲ好マス各其家根ヨリ雨水ヲ貯蓄シ飲料  
及雜用ニ供ス(當地ノ雨量ハ平均一箇年三十五吋ナリ)

糧食

殆ント辨セサルモノナシ價格ハ調査スルノ邊ナカリシモフリーマントル  
ヨリ高價ナラサルヘシト思考ス

交通

フリーマントル港ノ未タ築港セサルヤ當港ハ西濠洲唯一ノ大汽船寄港地  
ナリシヲ以テ歐洲及東洋ニ交通スル凡テノ汽船ハ一トシテ之ニ寄港セサ  
ルモノナカリシモ今ヤフリーマントルニ壓倒セラレ汽船ノ大半ハ其寄港  
ヲ止メタリト雖尙當地ニ寄港スル會社汽船少カラス其重ナルモノハ如左

外國線

「アバーデン」白星汽船會社  
 「リバープール」白星汽船會社  
 「ランド」青錨會社  
 英領印度汽船航海會社  
 「ガーフ」線

内國線

「アデレード」汽船會社  
 濠洲共同汽船航海會社  
 「マツクレース、マカーカン」會社  
 等ナリ  
 然レトモ港内寂寥到底フリーマントルノ類ニアラス當時只四隻ノ帆船及  
 一隻ノ汽船(ガーフ、ライン)入港シアリシノミ

鐵道ハ北方バースニ通シ從テバースニ通スル諸鐵道ニ聯絡ス而シテ西方  
 ハ三十八哩デンマークニ通ス然レトモ此線路ハ必要ノトキニアラサレハ  
 運轉セスト云フバーストノ交通回數ハ一日只一回ニシテ日曜日ハ全ク運  
 轉セス

郵便電信

郵便電信局ハ税關ノ一棟ニシテ「タウン、ゼツチー」ノ直前ニアリ而シテ郵便  
 電信ノ世界各地ニ通スルコトフリーマントルト異ナルコトナク其料金モ  
 又相同シ

港務局

當地ニ港務官アリフリーマントルノ港務長ノ支配ヲ受ク

港則

全クフリーマントルノモノニ同シ

曳船



當地三隻ノ曳船汽艇アリ其一ハ五十馬力ニシテ十四海里ノ速力ヲ有ス  
修理工場

「オッフオールド」修理工場アリ輕小ナル修理ヲナスコトヲ得  
右ノ外停車場ノ西方約一哩ノ所ニ汽車用トシテ官設ノ工場アリ大ナラサ  
ル鑄物等ヲナシ得ヘシ

病院

政府ノ設立セル病院一箇所アリ

銀行

「ウエスタルン、オーストラリアン」銀行

「ユニオン、バンク、オフ、オーストラリア」

「ナシヨナル、バンク、オフ、オーストララシア」

ノ三銀行アリ

人口

當時三千六百人ニシテ本邦人ハ三人アリ皆割烹及給仕ナリト云フ

氣候

最モ適順ニシテ特ニ避暑ニ適シミッドルトン、ビーチ及オイスター港ノ如

キ最モ佳ナリト云フ

千九百一一年ニ於ケル温度表

月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	平均	最優
最高	75.3	74.8	72.6	70.2	66.9	61.0	61.8	62.4	63.9	66.6	70.8	71.1	67.1	99.5
最低	57.4	57.2	55.6	52.6	48.5	45.8	42.9	46.7	48.8	51.0	52.1	54.3	51.6	38.2

風候

冬季ハ風向西南西ヨリ南西ノ間ニシテ夏季ハ大抵東風ナリ然レトモブリ  
ンセス、ローヤル港内ニ於テハ波浪ノ爲ニ困難ヲ感セシメラル、コト殆ン  
トナシト云フ

軍艦松島航海報告

軍艦松島航海報告

凡例

一本報告ハ明治三十六年軍艦松島カ殿島及橋立二艦ト共ニ少尉候補生練習ノ爲メ東叢島及濠洲沿岸ヲ巡航セル記事ナリ  
本記事ニ記スル方位ハ凡テ磁針方位ヲ用ユ海流ノミハ眞方位ヲ用ユ  
明治三十六年九月

松島航海長 海軍大尉 關 郁郎  
同從屬將校 海軍中尉 森 永 尹

凡例

軍艦松島航海報告

明治三十六年二月十五日橫須賀出港同月二十四日香港着三月一日出港同  
九日新嘉坡着同十五日出港同十八日バタビヤ着同二十三日出港

自タンジョン、プリオク港至濠洲北西岸北西岬

三月二十三日午前七時四十分タンジョン、プリオク出港此時蘭國艦隊四隻  
皆登舷禮式ヲ行ヒシヲ以テ本艦ニ於テモ亦登舷禮式ヲ行ヘリ港口ヲ出テ  
、ヨリ外水道ヲ經テ巽他海峽ニ向フ午後零時十分バユン島燈臺ヲ北方一  
哩餘ニ見ル二時十分バビ島燈臺ヲ北方五哩ニ見ル此附近水深十餘尋ノ所  
ニ於テ數十ノ樹幹海中ニ斜立スルヲ見ル蓋シ捕魚ノ一方便ナランカ五時  
巽他海峽ニ入リトツバース島東方ノ航路ニ入ル(對景圖附圖ノ如シ)錨地出  
發以來毎時一哩弱ノ反對海流ヲ感セリ然シテ此海峽ニ入ルニ及ヒ反對海  
流益強ク五時ヨリ九時半頃ニ至ル間ハ最強流一時間四哩ヲ測レリ而シテ  
本日ノ高潮ハ午後一時十九分ナレハ七時ヨリ八時頃ノ間ハ低潮時ニシテ

九時ニ至レハ南西ノ落潮ヲ感セサルヘカラス蓋シ信風交換期ニ於テ潮候時ニ差ヲ生セルモノカ八時半第四角燈臺ニ並ヒ之ヨリブリンセス水道ニ向テ操針ス二十四日午前六時第一角燈光ニ並フ六時十分南一三度東ニ定針クリスマス島ノ東方八湮ノ地點ニ向フ七時十五分列ヲ解キ各艦羅針修正ニ着手ス然ルニ天候宜シカラス驟風雨來襲ノ虞アルヲ以テ八時修正ヲ止メ縦列ヲ制ル

航路標識 タンジョンブリオクヨリ巽他海峽外ニ至ル蘭國政府ノ航路標識ハ又完全セリ唯バユン島及バビ島燈臺ハ叢樹林ノ端ニ在リ燈光低キヲ以テ日中ハ好目標トスルニ足ラス内水道ト外水道附近ニアル十數ノ浮標ハ多クハ信ヲ措クニ足ルモノ、如シ巽他海峽ニ於ケル第一角及第四角ノ燈臺ハ晝夜共ニ最好ノ目標タリ

二十五日晴天本日正午頃クリスマス島ト殆ント同緯度ニ來リシモ南東ニ偏流セル爲メ遂ニ之ヲ見ル能ハス晴雨計モ規則ニ從テ上下シ西南西乃至

器花海島北石

Miyaki I.

Segeki I.

Mi Raja Bada

≡ トツバマス島 S66°W  
〜 トラカト山トウー山トー線 S63°W17'

巽他海峡北口

M<sup>t</sup> Karim

M<sup>t</sup> Gedek

M<sup>t</sup> Bala

Mank I.

Selak I.

トツパース島 566' 1/2

カラカア山トツパース島トツパース島線 563' 1/2

南西ノ風其力二乃至三ニ達ス

二十六日未明ヨリ亂雲空中ヲ飛行シ時々驟風雨ノ來襲アリ晴雨計漸ク下降シ午前九時二十分險惡ノ兆ヲ示ス風力漸次増加シ正午ニ至リ五乃至六ニ達ス風向依然西南西ナリ午後五時半南イ西ニ變針ス蓋シ左舷正横ニ受ケシ風ヲ少シク艦尾ニナセルナリ七時半ニ至リ晴雨計ノ降下已マス二九五〇風向依然トシテ變セス風力益増加シ天候亦益險惡ナルヲ以テ斷然サイクロント決定セリ而シテ本艦ハ右半圓ニ於テ約其中心ニ向テ航進セルモノタルノ推察ヲ以テ針路ヲ反轉シテ北々西トナサントス之レ此季節ニ於ケル「サイクロン」ノ進行方向ハ西南西ナルヲ以テナリ然レトモ風力強猛ニシテ之ヲ正横ニ受クルニ及ヒ右舷ニ傾斜スルコト三十度ニ及ヒ甚不得策ナルヲ以テ北イ東ノ針路ヲ取リ少シク回轉ヲ減セリ九時半ニ至リ橋立及巖島其位置ヲ失シ遂ニ單艦トナル暴風益其威ヲ振フ

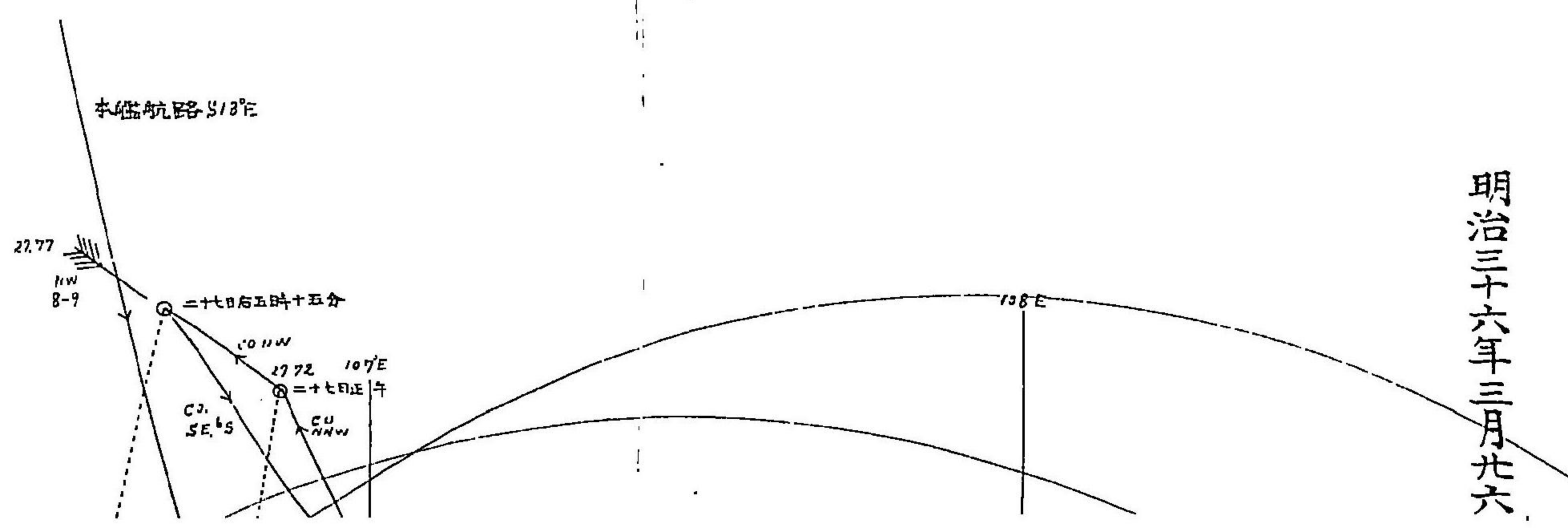
二十七日午前五時晴雨計二九六〇ノ最低ヲ示ス風力九乃至十ナリ午前六



時北々西ニ操針ス風向漸ク右旋シテ西北西トナル正午風向北西トナル同  
時針路ヲ北西トナン以テ後續二艦ノ來會ヲ俟ツ蓋シ分離後二艦共恐クハ  
北西方ノ針路ヲ持續セルナラントノ推考ヨリ出ツ夕刻ニ至リ風力漸ク六  
乃至七ニ減ス五時半途ニ二艦ニ相遇スルノ念ヲ斷チ颶心亦遙ニ西方ニ移  
レルヲ測リ針路ヲ反シテ南東トスルヤ左舷艦首ニ當リ橋立ヲ認ム依リテ  
再ヒ縱列ヲ制リ南東ヲ南ニ定針ス

二十八日未明風向正北ニシテ其力五乃至六時雨計又益、上昇シ颶風通過後  
ノ情況ヲ示ス依リテ五時半南一三度東ノ原針路ニ復ス正午南緯十四度東  
經百八度三十分附近ノ地點ニ於テ推測颶心通過ノ點ヲ經過午後ニ至リ風  
力四乃至五ニ減ス同六時汽鐘故障アリ汽機ヲ停止シテ洋上ニ漂泊ス夜ニ  
入り天候常態ニ復シ北風其力ニ未タ南東ノ恒風ヲ來サス

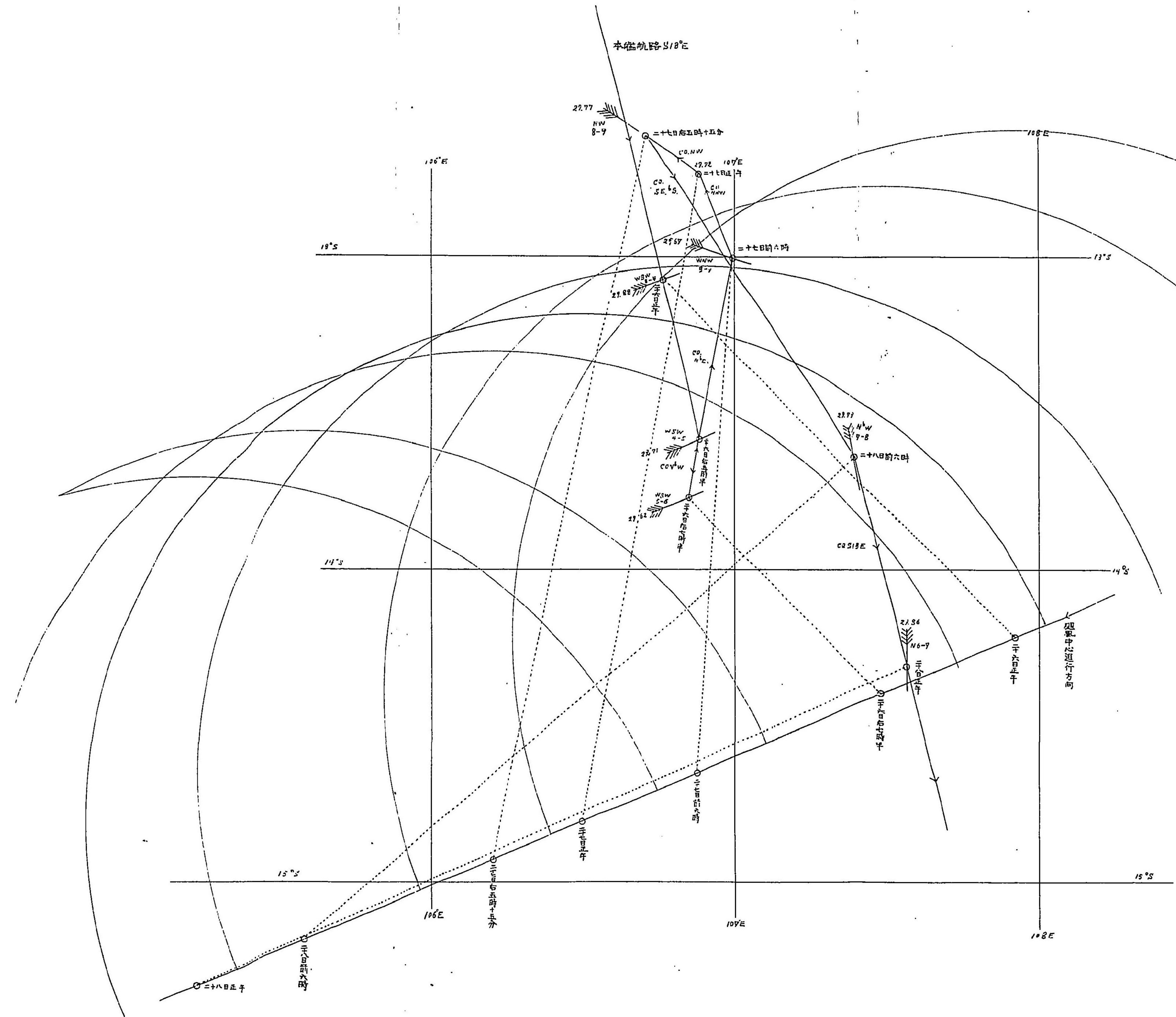
颶風記事 印度洋ニ於ケル「サイクロン」ハ十二月ヨリ四月ノ間ニ起リ颶心  
進行ノ速度ハ一時間十一哩ヨリ十四哩又百五十哩ヨリ二百哩ト云フ又颶



明治三十六年三月廿六

明治三十六年三月廿六日練習艦隊遭遇セルサイクロンノ圖

松島航海報告附圖



心ト外部トノ晴雨計ノ差ハ二吋ニシテ通常晴雨計ヨリ半吋低キトキハ既ニ颶心ヲ去ル五六十哩ナリトノ記事ニヨリ爰ニ相遇セル颶風ト本艦々位トノ關係ヲ圖ニ依リテ示ス時ハ約附圖ノ如キ航跡ヲ示スコト、ナルヘシ即チ該颶風ノ半徑ハ約百哩ニシテ颶心進行ノ速度ハ四哩弱其方向ハ西南西ナリ如此スル時ハ大概颶心ハ風ニ向テ左十點附近ニアリテ能ク其性質ニ合スルヲ見ルナリ而シテ雨量多カラヌ又雷鳴電閃ナキハ其相遇位置右半圓ナル易避半圓ニシテ象限ニ於テモ約前後ノ中央ニ在リシニ依ルヘシ今附圖ト共ニ同日自記晴雨計及寒暖計ノ示針ヲ附ス(此記事中晴雨計水銀晴雨計ヲ用ユ)

二十九日午前六時汽罐修理成リ汽機ノ回轉ヲ始ム北方ノ輕風吹キ天候晴唯暴風後ノ長濤ヲ感スルノミ

三十日天候平穩午後ニ至リ風向右廻シテ東方ヨリ漸次南ニ旋リ夜ニ入り南東ノ恒風トナル其力ニ

三十一日天候平穩風向偏南トナル  
四月一日天候晴南風少シクカヲ加フルノミ  
本艦颶風ニ相遇セル當時本艦二重底内ニ少シク異狀ヲ呈シ悉ク淡水ヲ失  
ヒ加フルニ左舷復水器ニ漏所ヲ生シタル爲メ艦水ノ補給ハ悉ク海水ヲ用  
ヒサルヲ得ス之カ爲メ艦内鹽分加ハリ遂ニ二十八日ニ至リ水管ニ異狀ヲ  
呈シ遂ニ十二時間ノ長キ漂泊中他艦ヲ用ユルノ準備ヲ終リ爾來之ニ依リ  
僅ニ航進ヲ持續セリト雖之カ爲メ石炭ノ消耗甚シク遂ニハ其缺乏ヲ生セ  
ンコトノ恐アリ且ツ航進力甚僅少ナルヲ以テ本日ヨリ橋立ヲシテ曳カシ  
ムルコトニ決シ朝來之カ準備ヲナシ十時停止鋼索線(五吋半)ヲ橋立ニ送り  
右舷錨鎖三節ヲ出シテ之ニ附シ以テ曳索トナシ午後零時十五分曳方ヲ始  
ム  
午後一時半針路ヲ南五三度東ニ定メ北西岬錨地ニ向フ蓋シ最近ノ錨地ヲ  
撰擇セルナリ

二日天候晴風力三乃至五風向偏南昨正午ヨリ百二十三哩ヲ航走ス之ニ依  
リ推算スル時ハ今後二晝夜餘ニシテシャーク灣ニ於ケルガスコイン泊地  
ニ至ルヲ得ルノ望ミアリ且ツ同地ニ至レハ炭水ヲ得ルノ望多少アルヲ以  
テ午後二時南八度東ニ變針ス  
三日天候晴風力四乃至六風向偏南ガスコインニ向テヨリ逆風ノ爲メ速力  
一乃至三即チ再ヒ最近點ニ向フノ得策ナルヲ考ヘ午前十時半南六四度東  
ニ變針而シテ本日正午位置ニヨレハ昨正午ヨリ航進力九十二哩ニシテ實  
ニ流潮ノ爲メ偏南ニ二十八哩偏セルヲ知ル依リテ一時五十分南八八度東  
ニ變針ス正午位置ヨリ北西岬ニ至ル實ニ七十五哩ナリ  
四日天候晴風力風向依然タリ午前五時南東方ニ當テ北西岬ノ陸影ヲ認ム  
之ヨリ漸次該岬ニ向テ操針ス午前十時北西岬北方ニ於テ橋立汽罐ニ故障  
ヲ生ス依リテ曳綱ヲ放チ單獨航行トナル一時二十八分左舷錨ヲ北西岬東  
方ニキスマウス灣内ニ投ス

橋立ニ曳カル、コト七十時間航程三百四哩  
颶風ニ相遇セル後風向南東トナリ恒風帯ニ入り緯度ノ高マルニ從テ其力  
ヲ増加シ陸岸ニ接近スルニ從ヒ右旋遂ニ南風トナリ時々其威ヲ逞フシ水  
路誌記載ノ如シ

### 濠洲北西岸エキスマウス灣北西岬附近記事

北西岬ハ名ノ如ク濠洲北西岸ニ在リ其東側ニ大灣ヲナシエキスマウス灣  
ト云フ灣ノ北部南緯二十一度五十四分以北ハ英版海圖三一八七號ニヨリ  
詳測シアリト雖該緯線以南ハ未タ詳細ナル海圖ナク英版海圖一〇五五號  
ニ依ルノ他ナシ而シテ本艦ノ來泊セシ所以ノモノハ一ハ復水器及汽機ノ  
修理ト他ハ罐用水ヲ得ンカ爲ナルヲ以テ英海圖一〇五五號ニ依リ望ヲク  
ブル、ウエル (Kubun Weil) 及其南側ノ水流ニ期シ之カ近傍水深十一尋ノ所ニ  
碇泊セリ然ルニ海流甚強ク海底ノ土質又宜シカラス且ツ南風アリ爲メニ  
即夜走錨艦位ヲ變スルコト北才東へ二哩ニ及へリ此地ニ碇泊スルコト四

日ヨリ十二日迄八日間一回ノ降雨ナリ日没ヨリ翌朝八時乃至十一時頃ニ  
至ル間ハ偏南風強吹シ其力四ニ達シ午後ハ概シテ風力微弱又ハ無風ナリ  
シカ十一日頃ハ此期間反テ北風ヲ感セルコトアリ然レトモ固ヨリ其力微  
弱ナリシ海流ハ圖上ニ示スモノヨリ甚強ク其最大三節半ヲ示セリ氣壓ハ  
常ニ法則ニ從テ亂ル、事最モ少カリシ

北西岬ノ陸上ニ於ケル光景ハ全ク水路誌ニ記スルモノニ異ナラス凡テ沙  
漠ノ狀況ニシテ一滴ノ水ナク探檢隊ハ常ニ無効ニ歸セリ錨地ノ南方十哩  
ニ海圖ニ示セル「ブル、エンド、スプリング」ト記セル所アレトモ陸上ハ其遠  
距離ナルト海上ニ於テハ其水路未測ナルノミナラス南風之カ妨害ヲナシ  
遂ニ探檢スルコト能ハサリシ陸上ニ於ケル草木ハ僅ノ短小ナル灌木ト稱  
大ナル柳ノ種類アルノミ全ク人跡ナク袋鼠及「エミユ」等ノ蹂躪ニ委セリ  
當時雨期ノ始メニ於テ如此ヲ見レハ降雨ノ量全ク少ナキモノナランカ然  
レトモ凹地ニ於テハ洪水等ノ痕跡アルヲ見ルニ於テハ或ル期節ニ於テハ

大雨アル時アルナラン水中ニハ魚族群ヲナシ其種類甚多シ碇泊地附近ニ於テ海蛇ヲ見ルコト多カリシ

海面上ニ記セル海底ノ質ヲ見ルトキハ珊瑚殻細沙ノミナレトモ本艦ノ拔錨ニ際シテ其錨爪ニ附着シ來レル土質ハ黃赤色ノ硬泥ニシテ最モ錨地ニ適當ナル土質ナリシ然レトモ測鉛ヲ投スル時ハ細沙ノ附着セルノミナリ而シテ本艦ノ始メ投錨スルヤ即夜二湮餘走錨セルヲ見レハ多クハ珊瑚等ニシテ諸處沙ヲ以テ覆ハレタル硬泥ナリ本艦走錨ノ際幸運ニモ是等ニ相遇セルモノナランカ本岬附近大陸及島嶼共全ク砂山ニシテ極メテ低ク測量又充分ナラス風向ニ依リ左右セラル、向岸流アリ航海者ノ最モ注意ヲ要スル所ナルヘシ夜間ニ於テ特ニ然リ汽船「サラデイン」號船長ベル氏ノ談ニ依レハ本年ニ入り南緯二十二度四十分東經百十三度四十分附近ナルフレザールアイランド近傍ニ於テ二隻ノ汽船遭難セリト又水蒸氣ノ甚多キトキニ於テハ清朗ノ月夜猶近距離ニ於テ全ク陸影ヲ見サルコトアリト云フ

五日清水取方ノ爲メ及本國並ニ嚴島へ通信ノ爲メ橋立出艦オンスローニ赴ク「ビンネース」及第一「カッター」ヲ陸岸(北西岬)ニ送り清水ヲ探究セシム橋立ムイロン島附近ニ於テ大洋汽船會社ノ汽船「サラデイン」號ニ會シ同船ヨリ本艦ニ石炭二百噸ヲ搭載スルノ約ヲナシ參謀一名之ニ乘シ入港ス直ニ本艦右舷ニ横付ケニナシ午後三時十五分石炭搭載ヲ始ム又飲料水十噸ヲ同船ヨリ搭載ス午後九時二十分風力強猛トナリ「サラデイン」號ト連結セル「ホーサー」切斷ス不得已石炭搭載ヲ中止ス搭載炭量五十九噸風力衰ヘス「サラデイン」號ヨリ來艦セル船客歸船スルコト能ハス遂ニ本艦ニ泊ス之ヨリ先キ陸上派遣隊歸艦セリト雖遂ニ水ヲ發見セス

六日午後ニ至リ「サラデイン」號ノ船客等歸船ス而シテ遂ニ石炭搭載ノ量ナク客船又永ク停止スルコト能ハサルヲ以テ午後二時「サラデイン」號出港ス

七日陸上探檢ノ爲メ「ビンネース」及兩「カッター」ヲ送ル遂ニ要領ヲ得ス

八日前日ニ異ラス

十一日軍艦橋立歸港オンスローニ於テ清水ヲ充實スルコト能ハス殿島フ  
リーマントルヨリガスコインニ回航ノ豫定ナルヲ報シ本艦及橋立共明日  
出艦ガスコインニ回航ノ爲メ橋立ヨリ罐水二十噸ヲ本艦ニ搭載ス

自エキスマウス灣至ガスコイン泊地 吃水 前十七呎六吋  
後二十二呎二吋半

十二日午前五時二分出艦正午ニ至ル間風向偏南ニシテ其力一乃至二午後  
ニ至リ少シク右旋シ卷積雲滿天ヲ覆ヘリ

十三日風向南西ニシテ其力少シク増加ス天少シク晴ル昨正午ヨリ南方ヘ  
ノ海流二十三哩ナルヲ驗ス蓋シ大部分ハ水程儀ノ誤示ナランカ午後六時  
二十六分ガスコイン泊地ニ投錨ス司令官旗艦ヲ橋立ニ移ス

ガスコイン泊地及カーナボン記事

泊地 ガスコイン泊地ハシャーク灣北口ノ東岸ニ在リガスコイン河口ナ  
リ錨地ハ遠ク海岸ヲ離レ三四哩ノ所トス而シテ東方陸岸ノ低地ヲ除ケハ  
三方共一ノ遮蔽物ナク一度風起レハ即チ波浪生ス而シテ距岸四哩故ニ其

通行ヲ止ムルコト多シトス

風 碇泊中ハ常ニ南ヨリ南東ノ風アリ其力二乃至四

石炭 少量ヲモ得ルコト能ハス

市街 カーナボンハ此地方重ナル「シツプ、ステーション」ニシテガスコイン

河口ニ於ケル三角洲ナルバツベージ島ト河ヲ距テ、南方ニ在リ人口三四  
百ナリト云フ

糧食 極メテ少量ヲ得ル望アリ

此附近ニ於ケル海圖ノ差違

地形 英版海圖七一二號ニ於ケルカーナボン南西方ニ於ケル木造棧橋ハ  
現今大破シテ其用ヲ爲サス僅ニ痕跡ヲ存スルノミ現今ハ附圖ニ示スカ如  
クバツベージ島北西端ヨリ海圖上「プロボースド、ゼツチー」ト記スル所約四  
分三哩海中ニ斗出シ其端ニ紅色不動燈ヲ設ク此棧橋ト市街トノ間ニ鐵道  
馬車ヲ設ケ棧橋端ト燈臺及市街トノ間ニ電話ヲ通ス故ニ棧橋端ニ上陸シ



テ電話ニテ馬車ヲ請求スル時ハ直ニ之ヲ送ル棧橋ノ上面北側ニ別ニ羊ノ  
通行路ヲ設クガスコイン河ノ兩河口ハ全ク圖上ノモノト其形狀水深ヲ異  
ニセリ此ノ變化ハ出水ノアル毎ニ生スルモノナリト云フ

十六

燈臺 パツページ島燈臺ハ海圖上白及紅ノ明暗燈ト記載シアレトモ實見

セル所ニ依レハ該燈火中ノ白ハ不動燈ナリ紅ハ多分其儘ナラン棧橋端ニ  
在ル紅燈ハ其光遠距離ヲ詳ニセスト雖碇泊所ヨリ見ルトキハ肉眼ニテ見  
ル能ハス双眼鏡ニヨリ見ルヲ得ルヨリ察スレハ三哩内外ナラン

水 本艦ノ此地ニ回航セルハ嚴島ト相會スル爲ナリト雖其大目的ハ淡水  
ヲ得ルニ在ルヲ以テ專ラ淡水ノ補給ニ盡力セリ之ヲ記スルニハ第一此地  
方ニ於ケル清水ノ狀況ヲ記スルヲ要ス

濠洲西岸(重ニ低緯度ノ地)ハ陸岸卑低ニシテ樹木少ナク殆ント沙地ナラサ  
ルハナク少シク内地ニ入レハ沙漠トナル故ニ至ル所水ナクオンスローニ  
エキスマウスニ皆然ラサルハナシ此地ニ於テモ之ト同シクガスコイン河

大ナリト雖一年一二回ノ洪水アルノミニシテ現時ハ少量ノ流水モナシ此  
地市民ノ飲水ハ遠ク河ヲ遡ルコト三哩ノ地ニアル一大井ノ水ヲ用ユ其側  
ニ二千ガロン入ノ鐵罐二個ヲ備ヘ風車機ニヨリ絶ヘス井水ヲ之ニ滿タシ  
メ之ヨリ三吋ノ鐵管ニテ市街ニ導キ三千ガロン入ノタンクヲ設ケ此タン  
クヨリ一時位ノ鐵管ニテ各戸ニ通スルナリ此鐵管ノ一條河口ニ出ツ之レ  
小形船舶ニ給水スル爲メナリト云フ他ニ淡水ナシ今之ヲ本艦ニ搭載セン  
トスルニ一ノ水船ナク又之ニ代用セントスル小艇モナキヲ以テ勢本艦備  
付ケノ端艇ヲ使用セサルヘカラス而シテ前記ノ如ク偏南風常ニ吹キ來リ  
距離四哩餘其業亦困難ナリト云フヘシ依リテ市長ト協議ノ上左ノ如クナ  
セリ

市街ノタンクヨリ他ノ水罐陸上ニ在ルモノ二噸入一個、一噸入一個、半噸入  
一個ノミニ水ヲ移シ鐵道馬車ニテ棧橋端迄運搬シ本艦ノ大艇及二隻ノ「カ  
ツター」ニテ本艦ニ運搬スルコト、天候平穩ナルトキハ端艇ハ河口ニ入り給

水管ヨリ取ルコト

右ノ如キ方法ヲ定メタリト雖前記ノ「タンク」ヨリ他ノ水罐ニ水ヲ移スニ二時間乃至三時間ヲ要シ運搬ニ四十分ヲ要ス而シテ棧橋ヨリ端艇ニ移スニ本艦用移動唧筒ヲ用ユ其量ノ少ナキ又已ムヲ得サルナリ今碇泊中補給セ  
ル水壘ヲ示ス

十四日二噸 $\frac{1}{2}$

十五日六噸 $\frac{1}{2}$

十六日六噸半

合計十五噸半ナリ一噸價七志ナリ

十七日軍艦殿島フリーマントルヨリ炭水ヲ搭載シテ回航直ニ之カ取入ラ  
ナシ水七十噸石炭八十噸ヲ得

自ガスコイン泊地至フリーマントル港 吃水

前十七呎三吋  
後二十二呎七吋

四月十九日出艦午後三時ナチユラリスト水道ヲ通過シテ印度洋ニ出ツ  
二十日午前八時海水ノ濁ルヲ視ル依リテ之ヲ汲ミ驗セシニ魚類ノ卵ノ如  
キモノニシテ「イカ」ノ子ノ如キモノ多數生活セルヲ發見セリ之ヨリ午後ニ

至ル間如此海水ニ出會スル事數度ナリシナチユラリスト水道ヲ出テ、ヨ  
リ本日正午ニ至ル間偏南海流十三哩風向午前ハ東北東ナリシモ午後ニ至  
リ偏南ノ輕風トナル

二十一日終日變向ノ輕風アリ正午偏南海流十二哩ヲ驗ス午後十時九分フ  
リーマントル港外ニ假泊ス此時猛烈ナル驟風雨來襲シ雷鳴電閃アリ

時辰ヲ西濠洲ノ標準時トナス(東經百二十度)

二十二日午前十時錨地ヲ港内ニ移シ其南東側ニ横付ケトナス(ピクトリア、  
ケ)

目標 ガスコイン泊地出發以來目標トナスニ足ルモノ左ノ如シ

東經百十三度四十六分南緯二十六度五十三分ニ在ル一、〇〇〇呎山ハ顯著  
ナル凸部ナシト雖此近傍最高點ナルヲ以テ直ニ知ルヲ得ヘシ

デラルトン北方約十八哩ナルキングステーブル、ヒル

ムーア、ポイント燈臺

自ガスコイン泊地至フリーマントル港

マウント、レザル  
南北ハンモック

ロツトネスト島ノ二燈臺及ウードマン角燈臺

本艦ノ航路ハ大陸西岸トホー下マン列岩ノ中央ジールピンク、チャネル  
ナリシモ該列岩ハ途ニ~~ニ~~發見セサリシ  
此航路ニ沿ヒタル大陸沿岸ハ海圖上 Conspicuous Sand Patch ト記セルモノ多數  
アリ海方ヨリ之ヲ望ムトギハ白色ヲ呈シ誠ニ顯著ナリト雖其數多ク且ツ  
面積廣大ナルヲ以テ或ル一二ヲ除ケハ目標トスルニ足ラス猶彼此混同ス  
ルノ恐アリ  
海流 海流ハ水路誌ニ記スル所ニ依レハ極メテ少ナリ流行風ノ爲メニ左  
右セラレテ恐ルヘキ結果ヲ生スト言ヘリ然レトモ此航海ハ極メテ天候平  
穩ニシテ之カ實驗ヲナスヲ得サリシ二十日二十一日兩日ノ偏南海流ハ恐  
ラクハ實際海流ニアラスシテ水程儀示針ノ誤リナラン

フリーマントル記事

西濠洲ノ首府ナルバースノ入口ニシテスワン河ノ兩側ニ在リ汽車及汽船  
ノ便アリテバースト往來最モ便利ナリ

錨地 ゲージロードニ於ケル錨地ハ宜シカラス又海底ノ質惡シ然レトモ

フリーマントル港内ニ在リテハ最モ安全ナリ本艦ハ其南東岸棧橋ビクト  
リア、ケー、棧橋ニ横付シ殿島ハ北西岸ニ横付シ橋立ハ中港ノ浮標ニ繫泊セ  
リ海水ノ干満極メテ少ナキヲ以テ最モ好都合ナリシ英版海圖一七〇〇號  
ニ記セル浚渫三十呎ノ所ハ概シテ之ヨリ深シ本艦ノ繫止セル所ニテ毎日  
水深ヲ測リ最淺三十五呎ヲ得タリ尙現時モ浚渫船港内ニ在リテ絶エス浚  
渫スルヲ見タリ

水先 此港ハ出入共ニ水先ヲ要ス入港ニ當リテハロツトネスト島ニ於テ  
之ヲ港務局ニ通シ港務局ニ於テ直ニ水先案内ヲ送ル軍艦ハ港内ニ入ルヲ  
得ス又必要アリテ入港スルトキハ水先案内料ヲ要セス然レトモ今回ハ彼

フリーマントル

ノ厚意ヲ以テ特ニ入港セルナリ案内料ハ出入共厚意ヲ謝スル爲メニ「ボン」宛ヲ送レリ

天候 概シテ平穩ニシテ時々「スコール」ノ來ルノミ一回輕キ北西「ゲール」ノ來レルコトアリ其他天候表ノ如シ

石炭 「アデレード」汽船會社ノ石炭船ヲ横付ケニナシ石炭ノ「デリック」ヲ使用シ約四分一噸入りノ「バスケット」ヲ用ヒテ二箇所ヨリ搭載ス搭載炭量約四百噸時ヲ要スルコト一日半炭質ニ「ユ」カツスル「價格」每噸二十六志半先キニ「ガス」コインニテ殿島ヨリ搭載セル石炭ハ五十噸袋入トナシ價格每噸三十八志エキスマウス灣ニ於テ汽船「サラデイン」ヨリ搭載セル石炭ハ五十噸三池炭ニシテ價每噸八十志ナリシハ蓋シ一日ト半日ヲ要セシ損料ヲ科セシナラン

水 水質宜シカラス「罐水」トシテハ差支ナシト雖飲料水トシテハ適當ナラス依リテ飲料水ハ「パイプ」スヨリ取寄セタレトモ之亦同質ノモノナルヲ以テ

凡テ此地ノモノヲ取レリ水道鐵管ハ棧橋ヲ通シテ導通シアルヲ以テ日曜日ヲ除キ毎日午前九時頃ヨリ夕刻迄ノ間ニ於テハ常ニ之ヲ得ヘシ即チ所要ノ時ハ棧橋ニアル水番ニ旨ヲ通スル時ハ直ニ「ボーズ」ヲ取付ケ之ヲ導ク取付口ニ「ケーシ」アリ以テ其量ヲ示ス凡テ政府ノ事業ナリト云フ其價格次ノ如シ

一日間ニ取ル量百四十噸迄ハ一噸一志之ヨリ以上二百二十噸迄ハ一噸四分三志之ヨリ以上ハ一噸七五片ナリ然シテ碇泊場ニ在リテハ一噸三志ナリ而シテ其遞減法ハ聞クヲ得サリシ

生糧品 肉類生魚果物野菜類共饒多ニ得ヘシ然レトモ其價又甚貴シ

生牛肉	一斤	七片
生魚肉		六片
馬鈴薯		四分三片
茄別		二片

フリーマントル

鶏卵	一志十片半
青菜	半片
玉葱	一片
蕪	半片
豆	四片

如此ヲ以テ概シテ物價廉ナラス洗濯物ノ如キ夏服上衣一枚九片下衣六片「シャツ」六片ナリ

**報時球** アーサー、ヘッドニ在リ通常ノモノナリ西濠標準時(東經百二十度)午後一時ノ五分前ニ揚ケ一時ニ落下ス而シテ天文臺ハバースニ在リテ報時球ニ對スル電鐘ハバースニテ使用スト云フ最モ精確ナルカ如シ

**禮砲** 答砲所ナキヲ以テ發砲セス  
**本邦人** 此附近在留ノ日本人ハ極メテ少數ニシテ多クハ白人ニ使役サル、モノナリ然レトモカールグリー、金鑽地々方迄包括スル時ハ三四百人ニ

及フト云フ

**航路標識**

ロツトネスト島燈臺アーサー、ヘッド燈臺燈質ノ變化及ヒウイドマン、ポイントノ燈臺新設等アリト雖何レモ西濠洲水路告示ニ在ルヲ以テ之カ記載ヲ省ク

**自フリーマントル至ポイント、アデレード**

吃水 前二十呎十時 後二十二呎三時半

四月三十日午前九時棧橋ヲ離レグーシロードニ投錨ス嚴島已ニ在リ十時四十五分橋立ノ出港スルヲ見ル十時五十五分拔錨單縱陣ニテ進ミロツトネスト島東方ヨリ南方ヲ廻リ其西方ニ出ツ午後二時半ヨリ解列各艦自差測定ヲ始ム四時測定ヲ終リ再ヒ列ヲ作り南航ス南ヨリ東ノ輕風アリ夜ニ入り南風其力ニ乃至三トナルロツトネスト島ヲ替リテ大洋ニ出テ、ヨリ南西ノ長濤連リニ來リ荒天ノ餘波ノ如シ蓋シ二十八日アデレードヨリ入港セル「ビー、オー」會社汽船「チャイナ」ハケープ、ブルーウイン附近ニ於テ北西ゲールノ強猛ナルニ相會セリトノ事ナレハ該荒天ノ餘波ナランカ

五月一日前夜來ノ偏南風大ニ衰ヘタレトモ長濤少シモ衰ヘス天候快晴ニシテ晴雨計益高シ午前ケープルーウインヲ廻リテ南東ニ航ス  
 三日天候晴東偏セル北風來リ其力ニ然レトモ南西ノ長濤依然トシテ已マ  
 ス晴雨計又降下セス本日正午ハアルパニーノ南方ニ在リ  
 四日天候變セス風向少シク右廻セリ  
 五日風力三ニ達シ亂雲飛行ス  
 六日午前風力衰ヘ漸時無風トナリ午後ニ至リ偏東ノ微風來リ長濤大ニ衰  
 フ而シテ晴雨計少シク降下ス  
 七日午前零時二十分サウス、ネブチューンノ燈光ヲ左舷艦首ニ發見シ一時  
 四十分ケープ、ボーグノ燈光ヲ右舷艦首ニ、三時五分アルノーブ島燈光ヲ左  
 舷艦首ニ發見ス六時ボーグ燈臺ヲ右横十五哩ニ見テインベスチゲートル  
 海峡ニ入ル之ヨリシント、ビンセント灣内ニ入リアデレードニ向テ航ス午  
 後五時四十二分セマホア錨地ニ投錨ス

艦位

ウオンガ、シヨールノ廻轉燈  
 セマホア、セツチーノ導燈  
 水深七尋底質細沙

南 南東ニ南

此航海ハ極メテ平穩無事ナル航海ニシテ荒天ノ終リタル後ナリシヲ以テ  
 唯其長濤ヲ受クルノミ次テ起ルヘキ偏西風ニモ出會セヌ日々北風ノ爲メ  
 ニ起ルヘキ偏南海流ノ爲メ少許ノ流壓アリテ全ク水路誌若クハ海圖ニ記  
 セル記事ト相合セリ而シテ天候最良ナル爲メ八日間ニ於ケル天測ハ日夜  
 共一回モ妨害ヲ受ケサリシ

インベスチゲートル海峡ニ入りテヨリ陸地ノ光景ハ西濠沿岸ノ如ク依然  
 低地ノミニシテ一ノ目標トスルモノナク從テ物體ノ方位ニヨリテ艦位ヲ  
 確定スルコト能ハス信スヘキモノハ唯燈臺ノミナリシ

アデレード港記事

南濠洲南岸シント、ビンセント灣ノ東岸ニ在リ其東ハ本陸ニヨリ西ハヨ  
 ク半島南ハカンガル島ニヨリ遮蔽サレ其出入口ハインベスチゲートル

アデレード港

海峽トバツクステアア海峽トニヨルノミ北方ハ深ク内地ニ突入ス右ノ如ク四方悉ク隠蔽ナル、モ灣内極メテ廣濶ナルニ加フルニ四圍ノ陸岸皆低地ニシテ大陸ニ於ケルマウンツ、ロフテイノ他一ノ目標トモナル能ハス一度風起レハ波浪直ニ起ルノ虞アリポート、アデレードハ同名ノ河ノ東岸ニ在リ河口ヨリ八哩半海岸ニ至ル直路一哩半鐵道アリテ海岸及アデレード市街ト行通スルヲ得此鐵道ハメルボルン、シドニー及プリズベント相通シ毎日二回ノ直通列車ヲ通ス當時ハビクトリア洲ニストライキアル爲メ通セスアデレード市ハ南濠洲ノ首府ニシテ總督所在ノ地ナリ

天候 碇泊中ハ概ネ晴天ニシテ極メテ平穩ナリシ

風 當時ハ既ニ西風ノ季節ナレトモ一日モ西風ノ來リシコトナク一日南ノ疾風アリシ他ハ概ネ變向至輕風ノミナリシ

泊地 ポート、アデレードノ西面ヲラルグス灣ト稱シ其泊地ヲセマホア錨地ト云フ重吃水ノ船舶ハ皆此地ニ泊ス本艦泊地ハポート、アデレード燈臺

ヲ正南ニセマホア棧橋ノ指導燈ヲ南東ニ南ニ見ル所五尋界線外ニ在リ距岸約二哩碇泊中幸ニ風浪ナキヲ以テ交通ヲ欠クコトナカリシモ西風起ラハ蓋シ其不便甚シカラン吃水二十五呎位迄ノ船ハ皆河ヲ溯リテポート、アデレード泊地ニ行クヲ常トスト云フ

ポート、アデレード河ハ河口ヨリ能ク之ヲ浚渫シ春秋最大潮時ノ低潮ニ於テ二十三呎通常ノ高潮ニ於テハ三十一呎乃至三十二呎アリ其幅最狹部二百五十呎スギーバー、ポイントニ於テハ五百呎アリ港内ニ於ケル棧橋ハ延長二哩半ニ及ヒ其水深ハ二十八呎ヨリ三十呎ニ達ス今猶不絶浚渫中ナリ水道ハ能ク指導標整備シ此棧橋ニ横付ケスルトキハ最モ安全ナリトス

石炭 各種ノ石炭ヲ得ヘシ本艦ニテハ搭載セサルヲ以テ其方法ヲ詳ニセスト雖多分フリーマンツルト同様ナルヘシ

水 水質全ク宜シカラス港内棧橋ニテハ直ニ之ヨリ得ヘシセマホア錨地ニ在リテハ之ヲ水船ヨリ搭載ス水船ハ其數ヲ詳ニセスト雖本艦ニテ搭載

セハ約二百噸入位ノ鐵製蒸氣唧筒付キノ水船ナリシ價三十五噸迄ハ每噸四志以上ハ三志ナリ

棧橋 セマホア錨地ノ海岸ニ二箇ノ棧橋アリ一ヲ「セマホア」ト稱シ他ヲ「ラ」ルグス」ト稱ス皆木製ニシテラルグス、ゼツチーニハ鐵道ヲ通シ「ステー」シヨ」ラ設ク

水先 水先人ハ常ニセマホア、ゼツチーノ東西二湮附近ニ在リ河ニ入ルモノハ之ヲ雇フモセマホア錨地ニ入ルモノハ之ヲ雇フヲ要セス

報時球 報時球ハセマホア信號所ニ在リ通常裝置ヲ以テ標準時(一八九七年水路誌記載ノモノト異ナリ東經百四十二度三十分ノ平時ヲ用ユ)午後一時ニ之ヲ落トス

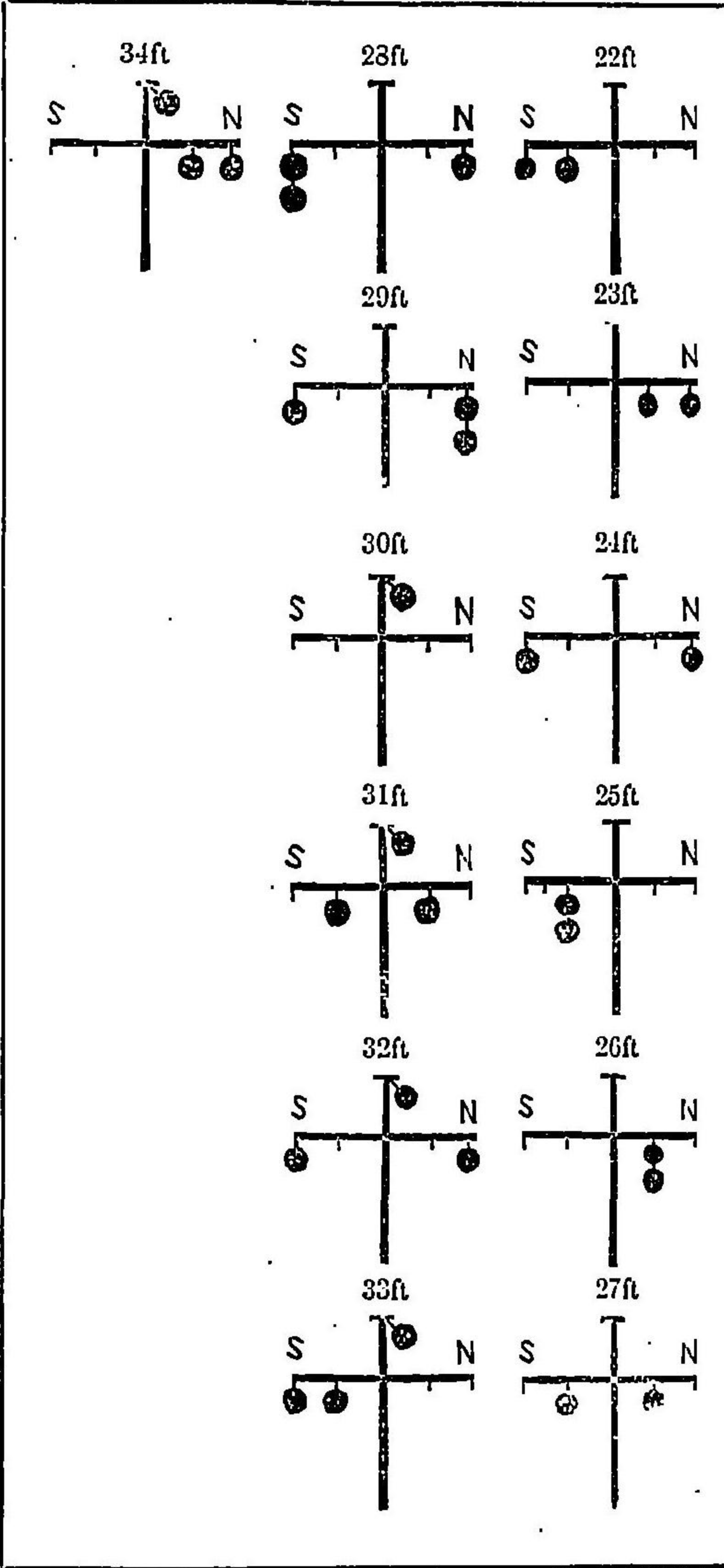
生糧品 潤澤ニ得ヘシ其價又貴シ

生魚	一斤	五片
牛肉	一斤	四片半
麵麩	百斤	十一志

野菜 百斤 六志半

禮砲 橋立ヨリ英國旗ニ對スル禮砲ハラルグス、ホートヨリ答砲セリ又橋立ヨリ總督ニ對シ十七發瑞典領事ニ對シ七發ノ禮砲ヲナスヲ見タリ

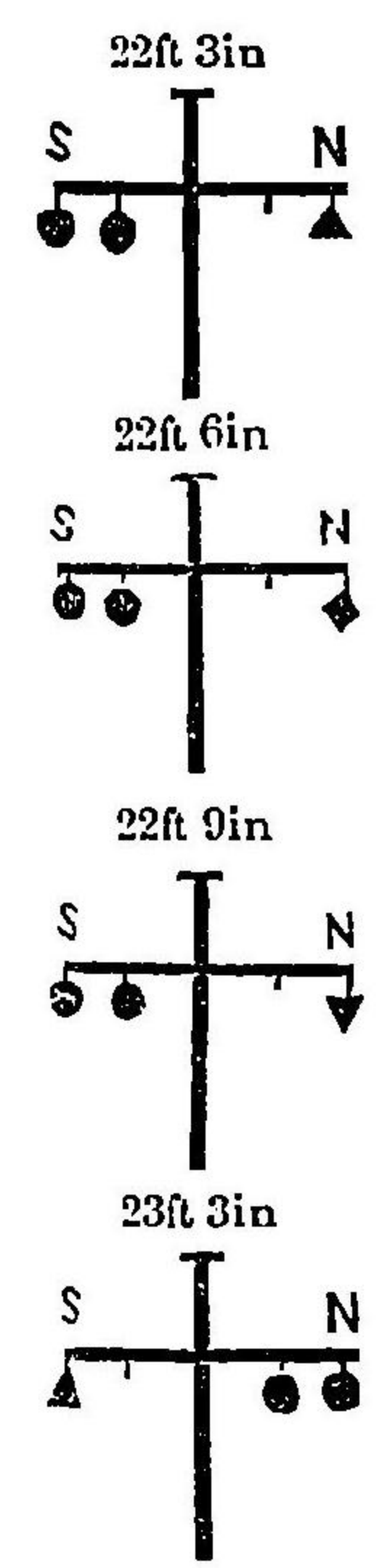
水深及潮信 「セマホア、シグナル、スタフ」ニ於テナス水深(河中)信號次ノ如シ



アテレー下港



然シテ時ノ端數ハ三時毎ニ左ノ方法ニヨリテ示ス今一二ノ例ヲ示ス



又潮信ハ何レノ「ヤード」ヲ問ハス球ノ在ル方ノ「ヤード」ノ球ノ下ニ  
白旗ヲ掲ケタル場合ハ高潮ニシテ紅旗ヲ掲ケタル場合ハ低潮ナリ若シニ  
十四呎ノ場合ノ如ク兩端ニ球アルトキハ檣頭ニ掲クルモノトス  
航路標識 現行海圖ノモノト差アルハインベスチゲートル海峡外ニ於テ  
サウス、ネブチューン島ニ燈臺アリポート、アデレード燈臺ハ河口ヨリ撤去  
シウオング、シヨールノ外端水深十八呎ノ所ニ新設サレ河口ニ於ケル紅色  
浮標ハ白色明暗燈ヲ有スル挂燈浮標トナレリ

自アデレード至メルボルン 吃水 前十八尺六吋 後二十二尺十吋半

五月十三日午前十時五十六分出艦單縱陣ヲ作り南一七度西ノ針路ニテ進  
ム午後六時半ケーブ、チャービス燈臺ニ並ヒテバックステア海峡ニ入り  
ケーブ、シントアルバン、トヤタラ礁ノ間ヲ通過シ七時四十五分ウイロービ  
ー燈光ヲ南四五度西三ノ深ニ見テ南四三度東ニ定針外洋ニ出ツ此時南方  
ヨリノ長濤來リ少シク動搖ヲ感ス天候曇風力輕微ナリシカ夜ニ入り北東  
風起リ其力ニ乃至三ニ達シ晴天トナル  
十四日午前六時左舷艦首ニマーガレット、プロック燈光ヲ發見シ艦位少シ  
ク左ニ偏スルヲ知ル午前九時ヨリ艦砲射撃ノ爲メ速力針路共ニ不定トナ  
ル午後六時天測ニヨリ艦位ヲ確定シ南五三度東ニ定針同四十五分カーペ  
ンター、ロツク燈光ヲ發見ス同八時南六八度東ニ變針ス八時三十二分ノ  
ザンパーランド燈光ヲ左舷艦首ニ發見ス  
十五日午前二時二十五分ネルソン燈光ヲ發見ス四時南八二度東ニ變針五  
時五分同燈光ヲ左横五ノ深ニ見テ通過ス午前八時ヨリ射撃開始針路速力

自アデレード至メルボルン

不定トナル午後四時四十五分射撃中止前針路ヲ續航ス午後七時ケーブ、オ  
 ドゥエー燈光ヲ發見シ艦位ヲ確定ス十時同燈光ヲ正北八哩ニ見テ北四三  
 度東ニ變針シポート、ヒリツプ港口ニ向フ  
 十六日午前一時十五分イーグル、ネスト燈光ヲ發見ス三時十分同燈光ヲ左  
 横ニ見ル四時十八分ロンスデル燈光ヲ右舷艦首ニ發見ス前夜變針以來  
 東風漸ク強猛トナリシ爲メ左ニ流壓ヲ受ケタルナリ四時半南五二度東ニ  
 變針港口ニ向フ五時舵機故障アリ列外ニ出ツ二艦前進シ去ル七時舵機修  
 理成リ水先人又乗艦セシヲ以テ前進港口ニ向フ原速十哩トナス午前八時  
 港口通過此時落潮ノ初期ニシテ逆潮約六哩加フルニ東風其力四波浪甚シ  
 ク艦ノ操縦甚困難ナリシ九時三十六分パイル燈臺ヲ通過シ同五十六分十  
 五番浮標ヲ廻リ北五度西ニ定針ス  
 十六日午後零時五十七分投錨

艦位

ウイリヤムス、タウン、ガス、ブイ  
 ブレーク、ウオーター、ピアー、エンド、ライト  
 ライトシツブ  
 水深五尋底質泥

十六度  
百三度

アデレード出發以來曇天多クシント、ビンセント灣内ニ於ケル自差測定ヲ  
 ナスコト十四日ニハ天測ヲナスヲ得タレトモ十六日ニハ行フコト能ハス  
 季節風ノ西風ハ來ラス常ニ北ヨリ東ノ風アリ陸岸ハ皆低地ニシテ目標ト  
 ナルモノナシ然レトモ各燈臺ハ皆正確ニシテ充分信用スルノ價値アリ海  
 流ハ一モ感スル所ナカリシ十四、十五兩日共南方ヨリノ長濤アリ動搖甚シ  
 ク横動最大十度ニ達セリ

メルボルン港記事

濠洲ビクトリアノ首府ニシテ且ツ聯邦政府ノアル所ナリ此地ノ記事ハ前  
 年來ノ航海報告ニ在ルヲ以テ詳記セス

天候 今回碇泊中ハ概ネ晴天ナリシ然レトモポート、ヒリツブへ入りシヨ

不定トナル午後四時四十五分射擊中止前針路ヲ續航ス午後七時クープ、オ  
 トウエー燈光ヲ發見シ艦位ヲ確定ス十時同燈光ヲ正北八哩ニ見テ北四三  
 度東ニ變針シボート、ロリツツブ港口ニ向フ  
 十六日午前一時十五分イーグル、ネスト燈光ヲ發見ス三時十分同燈光ヲ左  
 横ニ見ル四時十八分ロンスデール燈光ヲ右舷艦首ニ發見ス前夜變針以來  
 東風漸ク強猛トナリシ爲メ左ニ流壓ヲ受ケタルナリ四時半南五二度東ニ  
 變針港口ニ向フ五時舵機故障アリ列外ニ出ツ二艦前進シ去ル七時舵機修  
 理成リ水先人又乘艦セシヲ以テ前進港口ニ向フ原速十哩トナス午前八時  
 港口通過此時落潮ノ初期ニシテ逆潮約六哩加フルニ東風其力四波浪甚シ  
 ク艦ノ操縦甚困難ナリシ九時三十六分バイル燈臺ヲ通過シ同五十六分十  
 五番浮標ヲ廻リ北五度西ニ定針ス  
 十六日午後零時五十七分投錨

艦位

ウイリヤムス、タウン、ガス、ブイ、  
 プレック、ウオーター、ピアー、エンド、ライト  
 ライトシツブ  
 水深五尋底質泥

十六度  
百三度

アデレード出發以來曇天多クシント、ビンセント灣内ニ於ケル自差測定ヲ  
 ナスコト十四日ニハ天測ヲナスヲ得タレトモ十六日ニハ行フコト能ハス  
 季節風ノ西風ハ來ラス常ニ北ヨリ東ノ風アリ陸岸ハ皆低地ニシテ目標ト  
 ナルモノナシ然レトモ各燈臺ハ皆正確ニシテ充分信用スルノ價値アリ海  
 流ハ一モ感スル所ナカリシ十四、十五兩日共南方ヨリノ長濤アリ動搖甚シ  
 ク横動最大十度ニ達セリ

メルボルン港記事

濠洲ビクトリアノ首府ニシテ且ツ聯邦政府ノアル所ナリ此地ノ記事ハ前  
 年來ノ航海報告ニ在ルヲ以テ詳記セス

天候 今回碇泊中ハ概ネ晴天ナリシ然レトモボート、セリツツブヘ入リシヨ

リ晴雨計低ク二十日ノ如キハ午前ヨリ漸時下降シ夜ニ入り二九七四ニ至  
レリ蓋シ西岸ガスコイン出發後始メテ三〇〇〇以下ニ降レルナリ  
風候 此地ニ着シテヨリ始メテ多少ノ西風ヲ感シ概シテ北ト西トノ間ニ  
在リ然レトモ其力三以上ニ至ラス

泊地 旅艦橋立ハポルトメルボルンニ於ケル兩棧橋ノ中間ニ繫留セルモ  
本艦及嚴島ハウイヤムスタウン沖五尋ノ所ニ碇泊セリ

石炭 「マカーカン」商會ヨリ「サウス」炭二百五十噸ヲ搭載ス價一噸二十志ニ  
シテ積込費一噸六片ナリ時ヲ要スルコト十六時間方法ハフリーマントル  
ニ大同小異ナリ

水 水質善良「コールソンベ」商會ヨリ購入ス價一噸六志方法ハアデレー  
ドニ同シ

水先 アデレードヨリ報知シ置タルヲ以テ豫定ノ如ク港外ニテ乘艦セリ  
水先料ハ登簿噸數一噸ニ付キ一片ナリ一五六二五五噸ニテ六十圓此後入

港スルモノハ雇フノ必要ナキカ如シ出港ニハ之ヲ用ヒサリシ

報時球 ウイリアムスタウンノ東端ニアリ標準時ノ午後一時ニ落下ス正  
確ナリ

生糧品 多量ニ得ヘシ  
禮砲 橋立ヨリ之ヲ爲セリ

領事 古澤外務書記生及名譽領事マツケーカン

水道 ポート、ヒリツブ入口ニ在ルコーセーア、ロツク及ロンスデール、ロツ  
クハ現今破壞シツ、アリト云フ南水道ニ於ケル「バイル、ライト」ノ水深信號  
ハ現時之ヲ爲サスロンスデール、ポイントト共ニ潮信信號ノミヲナスト云  
フ而シテ此附近ニ於ケル最淺水深ハ三十三呎ナリ水道東部ニ於テ水深二  
十四呎ノ所アリ未タ海圖ニ記入ナシ概位一番浮標トフランクリン角ノ一  
線内ニシテ浮標ヨリ三分一位ノ距離ニアリ故ニ此附近ヲ通行スルニハ「バ  
イル、ライト」「ト、イースター、ライト」ノ一線ナル指導線ヨリ南方ニ偏シ陸岸

メルボルン

附近ニ航セリ入口ニ於ケル潮流ハ甚強ク本艦ノ通航セルトキハ干潮セコ  
ンド、コーターナリシモ潮流ノ速力ハ五乃至六湮ナリシ  
航路標識 湊内數多ノ浮標等ハ皆正確ナルカ如シ、ゲリブランド、ライト、シ  
ツブハ圓形ニシテ、バイル、ライトノ如ク、ライト、シツブノ形状少シモナシ大  
ニ注意ヲ要ス本艦ハ此燈船ニ近ク碇泊セシモ投錨後旗竿ノ位置ノ變化ニ  
ヨリ漸ク其燈船タルヲ確認スルヲ得タリ

自メルボルン至ホバート

吃水

前十九呎八吋  
後二十二呎六吋

五月二十四日午前十時出艦三艦單縦陣ヲ以テ進ム南ヨリ南西ノ疾風來リ  
時々雨ヲ伴ヒ荒夫ノ模様アリ之ヨリ南水道ヲ通過シテ入口内側ニ至ルニ  
天候益不良ナルヲ以テ入口ノ東側、コランテン、ステーション、北方ニ假泊ス  
夜ニ入ルモ天候變セス

二十五日天候依然タリ命ニ依リ出艦延引

二十六日天候昨日ノ如シ午後四時四十五分出港次テ港口ヲ出テ外洋ニ出

ス風力五乃至六波浪強大ナリ針路ヲ南五九度西ニ定メバンククス海峡ニ向  
フ

二十七日午前中ハ偏南ノ疾風甚シキモ雨ヲ伴フ事ナシ午後ニ至リ風力大  
ニ衰フ午後七時二十五分グリス島燈光ヲ南七〇度東ニ發見ス九時半同燈  
光ヲ左横四湮ニ見テバンククス海峡ニ入ル十一時十分スリン島燈光ヲ發見ス  
二十八日午前零時五十分スリン燈光ヲ右横ニ見ル一時二十五分エツデー  
ストーン燈光ヲ發見ス三時五分同燈光ヲ南々西十四湮ニ見テ南一三度東  
ニ定針タスマニアノ東岸ニ沿フテ南下ス午後ニ至リ風止ム氣温大ニ降下  
ス午後四時十五分自差測定ヲ爲ス

二十九日午前零時四十分タスマン島ヲ廻リテ南七三度西ニ變針之ヨリ針  
路適宜ホバートニ向フ午前八時二十分ホバート港ニ投錨ス

艦位  
ホバート河右角  
新橋橋端  
砲臺角南角

四〇度二〇分  
四八度二〇分

吃水  
前十八呎四吋  
後二十二呎五吋

水深十三尋 底質泥 錨鎖四節

天候 出發以來天候概シテ不良ニシテ二日間港口ニ假泊シ二十七日ニハ天測ヲ行フヲ得タレトモ二十八日ニハ終日曇天夜ニ入りテ漸ク夜測ヲ爲スヲ得シノミ氣温大ニ降下シ入港ノ當日マウントウエリントン山頂ハ白雪皚々タルヲ見ル

風候 メルボルン碇泊中二十一日晴雨計大ニ下降セルモ其當時西風起ラス二十三日夜ヨリ西風起リ五六兩日ハ大ニ其威ヲ振ヒ二十七日ニハ偏南トナリタスマニアノ東岸ニ於テ微弱ナル南風トナリ遂ニ息ム之ニ依リテ見ルトキハ當時起リ易キウエスターンゲールナルモ其位置東ニ偏セルヲ以テ稍其方向ヲ異ニセシモノナランカ而シテ其南風ニテ終レルヲ以テタスマニア南岸ニ非常ナル寒氣ヲ來セシナラン

海流 風向偏南ナリシヲ以テバツスストレートニ於テハ大ナル流潮ヲ認メス二十七日午前ウイルンシフロモントリ南方ニ於テ右舷ヨリ疾風來

ルモ少シモ風壓ヲ感セサリシハ其漲潮ニヨリ西方ニ壓セラレシナラン故ニ午後ニ於テハ落潮ト風壓トニヨリ大ニ東ニ壓流セラレ、ヲ感セリバンクス海峡ノ西口ニ於テハ大ニ其落潮流ヲ感セシモ其東口ニ於テハ落潮ノ終リシト南風トノ爲メ一モ潮流ノ感ヲ見スタスマニアノ東岸ニ於テハ二十八日午前南風強吹セル間ハ風壓ト共ニ大ニ北東ニ偏セラレ、ヲ測リシモ午後風息ムト同時ニ感セサルニ至レリ

目標 タスマニアノ東岸ハ高山奇峯屹立シ目標ニ苦シマスト雖海圖ノ尺度小ナルヲ以テ從テ精ナラス之ヲ判定スルニ困難ナリ此航路ニ使用セルモノハマウント、ビクトリア、マウントニコラス及其東方ノ高峯フレシネツト、ベニンシユラノ高峯(二、〇一四呎)及マクア島ノマクア山(二、三二九呎)ニ止マレリ之ヨリ以南ハ夜ニ入りシヲ以テ詳カナラス  
諸燈臺ハ皆正確ナリ

ホバート港記事

自メルボルン至ホバート

クスマニアノ首府ニシテ島ノ南端ダーウエント河口ニ在リ  
 天候 當時ハ一年中最好ノ天候ノ季節ナリシヲ以テ常ニ晴天ナリシ  
 風候 碇泊中ハ殆ント變向至輕風ノミ  
 泊地 「フェーア、ウエー」ノ直ク外方ニ投錨シ水深底質共ニ良好ナリ  
 水 水質極メテ善良棧橋ニ在リテハ無量ニ取り得ヘシ沖合ニ在リテハ供給充分ナラス蓋シ水船ノ設備不完全ナルニヨリテナリ然レトモ通常艦船ハ棧橋ニ横付ケニナスヲ以テ平時水船ノ要ナキカ今回水ヲ取リシハ此一隻ノ水船ニ依レリ此水船ハ蒸氣唧筒ヲ備ヘタル約七八噸ノ汽船ノ上甲板ニ鐵製「タンク」七個ヲ搭載セルモノニシテ其量合計十一噸ニ過キス此全量ヲ本艦ニ搭載シ終リ再ヒ來ル迄約一時間ヲ要ス故ニ終日往復スルモ百四五十噸ニ過キサレナリ價毎噸三志  
 水先 水先人ハアイロンボットノ反側パーソン、ポイントニ在レトモ必要ナキヲ以テ之ヲ雇ハサリシ

報時球 精確ナラサル記事アルヲ以テ之ヲ用ヒス

生糧品 多量ニ得ヘシ

禮砲 橋立ヨリナセル禮砲ハクインズ砲臺ニ於テ之ヲ受ケタリ  
 ダーウエント河水流汚穢ニシテ之カ爲メ錨地附近ヨリ遠クアイロンボット附近ニ至ル迄海水黄色ヲ帶フ之レ水源地附近ニハ多ク羊ノ牧場アルヨリ自然此ノ結果ニ至ルカランセストンニ於ケルエスク、リバーニ於テモ此現象ヲ見ル錨地附近ニ於ケル潮流ハ多クハ南流ナルカ如シ  
 濠洲大陸トノ郵便交通ハランセストンヲ經テメルボルンニ出テ之ヨリ各其方面ニ輸送ス

自ホバート至シドニー 吃水 前十八呎 後二十二呎十吋

六月二日午前七時五十七分拔錨出艦十一時四十八分ケーブロールヲ廻リテ東ニ航ス午後一時タスマン島ヲ廻リテ北東ニ定針次テ本艦々砲射撃ノ爲メ各艦列ヲ解ク四時射撃終結北九度東ニ定針八時二十三分テールフア

一島ヲ左横十湮ニ見テ北二度東ニ變針ガボアイランド燈臺ノ東十湮ノ地點ニ向フ  
 六月三日夜明ルト同時ニ左舷遙ニバンクス海峽兩岸ノ諸山脈ヲ見ル天測正午位置ニヨリ艦位少シク左ニ偏スルヲ知ル午後三時北五度東ニ變針日没頃ヨリ晴雨計少シク下降ス  
 四日午前三時四十五分ガボ燈光ヲ左舷艦首一點ニ發見ス四時四十五分艦位少シク左ニ偏スルヲ以テ北一三度東ニ變針之ヨリ沿岸航海トナル夜ニ入リ西風大ニ起ル其力四乃至五ニ達ス  
 五日午前十時ポートジャクソン港口ニ達シ十一時四十分港内軍艦泊地第五浮標ニ繫留ス  
 天候 概ネ晴天四日ノミ午前及正午ノ天測ヲ缺ク  
 風候 此季節ニ於ケル流行風ハ南又ハ南東ナルヘキニ今回感セルモノハ北又ハ北西ノ微風ニシテ四日午後雲晴ル、ト同時ニ偏西風起リ入港時ニ

至ル迄速吹セリ

海流 ケープ、ハウヨリ濠洲東岸ニ於テハ逆流ノ勢甚強カルヘキ豫定ナリシモ平均毎時一湮弱ナルヲ驗セリ

目標 濠洲南東岸ニ於ケル諸高山ハ皆大ニ目標トナスニ足ル今四日中ニ實見セシモノヲ列擧スルトキハハウ、レンジ、マウン、イムレー、マツセー、ピーク、マウン、タウ、セン、ド、ピーク、アロン、マウン、テ、ユロ、メ、ダ、リー、等ナリトスクークス、ビデ、ヨン、ハウスハ實見スル能ハサリシ

シドニー港記事

此港ニ關スル記事ハ從來多キヲ以テ之ヲ畧ス  
 當時永瀧久吉氏領事タリ

石炭 代價ノ廉ナルト必要トニヨリ滿載ス即チ新城炭四百七十三噸ウエスト、ポート炭九十六噸ニシテ前者ハ一噸二十志後者ハ三十七志ナリ蓋シ後者ハ試験用ナリ



水 一噸一志ニシテ充分ナル供給アリ  
塵芥船 甚高價ニシテ一回毎ニ五十志ノ割合ナリ

水先 出入港共水先ヲ雇ハス

錨場 フアーム、コーブニ於ケル軍艦錨地ニシテ悉ク浮標ニ繫留セリ即チ  
マツクリー上陸場最近ナル第一浮標ニ英旗艦「ローヤル、アーサー」アリ之ヨ  
リ「ガーデン」島ニ至ル一線内ニ在ル四、五、六ノ浮標ニ我艦隊ハ其番號ニ從テ  
旗艦橋立ハ四番ニ本艦ハ五番ニ嚴島ハ六番ニ繫留セリ其他ノ英艦ハ皆其  
南東方ニ泊セリ蓋シ豫メ準備セルモノ、如シ

自シドニー至タウンズビル 吃水 前二十二呎一時  
後二十二呎十一時

六月十四日午前九時練習艦隊シドニー拔錨先之海岸水先人キーテン乘艦  
ス午前十時港外ニ出テ北三一度東ニ定針風向南々西ニシテ其力三乃至四  
時々雨ヲ伴ヒ遂ニ天測ヲ行フヲ得ス午後七時十五分ステフエン角燈光ヲ  
左横七之湮ニ見ル午後十時九分シユエーガー、ローフ角燈光ヲ左横六湮ニ見

テ北八度東ニ變針

十五日午前五時半タツキング角燈光ヲ北七五度西二湮九鏈ニ見ル九時三  
十四分スモーキー角燈臺ヲ左横三湮ニ見テ所要ノ針路ニ變針五時五十分  
北ソリタリー島ヲ左横ニ見テ適宜ニ變針ス

十六日午前四時十五分ケーブ、バイロン燈光ヲ左横二湮ニ見テ北七度西ニ  
變針之ヨリ南流ニ向テ航シグレート、サンデュー、ケーブニ至ル風向南西ニ  
シテ大ニ航路ヲ益ス午後風力大ニ衰フ

十七日未明ヨリ南東恒風ニ入り晴雨計漸次上昇シ氣温漸ク高シ午後二時  
半南緯二十四度二十七分東經百五十三度二十七分ノ地ニ於テ北五三度西  
ニ定針シカブニコーン水道ニ入ル夜ニ入リレデュー、エリオット燈光ヲ見  
ス蓋シ光射窗外ニ在リシナリ

十八日午前五時十分ノース、リーフ燈光ヲ左横六湮ニ見ル之ヨリ「バーリー」  
リーフ内水道ニ入ル南々東ノ風其力二乃至三此附近ニ於テハ破浪礁ノ報

自シドニー至タウンズビル

告多キヲ以テ見張リヲ嚴ニセシモ遂ニ異狀ヲ認メス午後四時五十分ハイ  
 ビークアイランドヲ左横ニ見テ北五五度西ニ變針ス八時ベルシー群  
 島中北東島南東角ヲ左横ニ見テ北六五度西ニ變針パインビークス  
 ファインクスニ島ノ間ニ入ル  
 十九日午前四時二十五分ピースアイランドヲ右横ニ見テヒルスボル  
 海峡ニ入ル天氣密濛時々驟風雨ノ來襲アリ之ヨリ針路適宜ホワイトサ  
 ンデイー海峡ニ入ル正午同海峡ヲ通過シ各艦自差測定ヲ行フ午後五時四  
 十五分艦位ヲ定メ南六二度西ニ定針ス  
 十九日午前一時半ケーブボーリンググリーン燈光ヲ左横五哩半ニ見テ北  
 八四度西トナス同五時三十分ケーブクレベランド燈光ヲ左横二哩ニ見テ  
 南七一度西トナシタウンスビル錨地ニ向フ午前五時半右舷錨ヲ投ス

艦位  
 フリーマー角ノ東角 五二度五〇分  
 フリーマー角ノ西角 六四度四二分  
 吃水 前二十呎三時  
 後二十二呎四時  
 ホーキング角

水深六ノ尋底質沙泥

海流

ケーブハウヨリグレートサンデイーケーブニ至ル間ニ於テハ大陸  
 ニ沿フテ南下スル海流アリ而シテ濠洲最東端ケーブパイロン以南ニ於テ  
 ハ其流域遠ク海岸ヲ距レ從テ沿岸附近ニ於テハカウンターカレントア  
 リテ大ニ北行ノ船舶ヲ扶クルモノナリ然レトモ其方向及流程ニヨリ細心  
 注意ヲ要スヘキハ論ヲ俟タス今回ノ實見ヲ記シテ他日ノ參考ニ供セント  
 スシドニー出發以來本艦隊ノ航路ハ専ラ之ヲ利用セルモノナリ即チ十四  
 日正午ヨリ十五日正午ニ至ル一晝夜間百八十五哩二五ノ航路ニ對シ直路  
 二百三哩ヲ得次ノ一晝夜ニ於テハ百七十一哩ニ對シ百七十五哩半ヲ得タ  
 リ而シテ其最盛ナル處ハ最モ危險多キソタリ島附近ナリトス即チ十  
 五日午前五時半タツキング角ニ並ヒテヨリハ常ニ左舷ニ流壓ヲ受ケ南ソ  
 リタリー島ニ並フニ至ル迄約十時間ニ於テ北二六度西六哩ノ流潮ヲ感  
 セリ之ヲ以テ午後四時半頃同島ヲ左横三哩ニ見ル豫定ナリシモ三時九分

自シドニー至タウンスビル

同島ヲ殆ント艦首即チ北七度西三漚ニ見テ北一三度東ニ變針スルノ已ムヲ得サルニ至レリ故ニ夜中ニ於テ此附近ヲ航スルモノハ大ニ注意ヲ要ス」グレートサンデー、ケーブ以北ニ於テハ南流全ク消滅シ唯漲落兩潮流ヲ感セルノミ而シテ南東恒風時ニ於ケル此潮流ハ全ク水路誌記載ノモノト同一ニシテ落潮流ハ常ニ増大セラレ漲潮流ハ大ニ減少セラル故ニ北航ノ船舶ニ對シテハ大ニ利アリトス

タウンスピル記事

明治三十三年軍艦比叡金剛兩艦航海記事ニ詳ナルヲ以テ其異ナル點ノミヲ記ス

錨地ハマグネチツク島東方五尋界線附近ニシテ陸岸ヲ去ルコト五漚餘上陸等一層ノ不便ヲ感セリ而シテ當時南東信風期ニシテ碇泊中二十三四兩日ノ外凡テ信風力二乃至四ナリシ水ハ其質宜シカラス到底飲料ニ適セス然レトモ本艦ハ之ヨリ北航シテ何

レニ至リ取り得ルノ望ナキヲ以テ滿載セリ價一噸九志水船ハ二十三噸入リト十三噸半入りノ二隻ノ水船アルモ陸上トノ距離遠キト且ツ艦隊三隻ナルヲ以テ日夜ノ事業ニテ漸ク之ヲ取ルヲ得タリ其料罐水百五十噸飲水約六十噸

石炭 本邦出發ニ際シ横濱、ストローム商會ニ約シ當地ニテ石炭搭載ニ決セリ該商會ノ代理店ハメルボルン名譽領事マカーカンナルヲ以テメルボルンニ於テ同人ト協議ノ上同人ハ「バーンス、ヒリツブ」會社ニ命シ同會社ハ汽船「アルバーニ」約八百噸ヲ雇ヒニユー、カツスルヨリ同所炭八百噸ヲ搭載シタウンスピルニ回航セシメ二十三日正子迄ニ我艦隊ニ供給スルノ順序ヲ取レリ然ルニ艦隊入港ノ後石炭搭載ヲ爲サントセシニ我錨地ニテハ波濤高ク搭載スルコト能ハス汽船ノ方ニ於テハ西水道ニ於テ爲ス考ナリシモ艦隊ノ吃水ハ之ヲ許サス依リテ協議ノ上橋立及本艦ハ「バーム島ナルチヤレンヂャー」灣ニ回航シ此所ニテ搭載ヲナシ嚴島ハ搭載ヲ見合スコト、

タウンスピル

ナシ二十三日子ヨリハ二十四時間ニ對シ三十磅ノ費用ヲ假リニ支拂フ  
ノ約ニテ該汽船ハ嚴島ニ搭載スルノ分量ハタウンスピルニテ陸揚シ終テ  
同灣ニ回航橋立ハ二十三日バーム島ニ回航シ搭載ヲナシ本艦ハ二十五日  
午後出艦同日夕刻チャレンヂヤ一灣ニ着シ即夜七時半頃ヨリ搭載ヲ始メ  
二十六日午前十時頃迄ニ二百七十八噸ヲ搭載シ終リシナリ價額一噸三十  
三志三片附記スタウンスピル西水道ニ在ル石炭船ハ「アデレード」ステイ  
ム、シツブ、コンパニーニ屬スルモノナリト云フ

供給品ハ充分ノ如クナリト雖往復不便ニシテ時間精確ナラス

領事田結柳三郎氏

報時球ナシ蓋シ設備アルモ錨地ヨリハ見難カラシカ

チャレンヂヤ一灣記事

マグネチック島ノ北西方約三十哩南緯十八度四十三分東經百四十六度三  
十三分ニアリバーム群島中ニ在ル南東信風中ノ好錨地ナリ東方ハ大バ

ム島ノ高峯能ク風ヲ防キ南方ニハエクリツプス島フワルコン島プリスク  
島、エスク島アリ高カラスト雖能ク「ブレーク」ツォーターノ用ヲナス其本島  
トエクリツプス島トノ間ステイマー、バツセージハ大船ノ通路トスルニ  
足リ本艦モ此航路ヲ取レリ此水道及其南方ニ於テハ諸所變色セル所アリ  
シモ一モ危險ヲ認メサリシ灣ノ西方ハ廣クシテフワントーム島トエスク  
島トノ間三哩アリ北方ハフワントーム島及カラコア島アリ此間ノ水道ヲ  
カラコア水道ト稱シ其幅約一哩ノ深水道ナリカラコア水道ノ右ヲカリヲ  
フ水道ト云フ深ナレトモ其幅廣カラス灣内ニ於ケル潮流ハ約一哩半底  
質沙殻ニシテ能ク錨爪ヲ容ル本艦錨地ハ灣ノ南東ニシテ水深七尋距濱二  
哩乃チ一、二、三呎峯ノ北七、八度西二哩ノ所ナリシ此濱ニ二三土人ノ住居  
アリ又一人ノ白人アリ多少ノ供給品ヲ得ヘシ本艦ニテハ生魚及豚ノ少量  
並ニ多量ノ甘蔗ヲ得タリ全島樹木多ク從テ淡水ヲ得ル望アリ橋立及本艦  
トモ稍之ヲ得タリ然レトモ濱岸珊瑚礁ナルヲ以テ高潮時ニアラサレハ之